

工 種	補強土壁工(帯鋼補強土壁, アンカー補強土壁, ジオ テキスタイル補強土壁)
-----	---

改 正 理 由	一部改正	改 正 現 行																																																	
現 行		改 正	備 考																																																
3－5 まき出し・敷均し，締固め (1) 条件区分 条件区分は，次表を標準とする。 表3. 6 まき出し・敷均し，締固め 積算条件区分一覧 (積算単位：m3) <table><tr><td>工法区分</td></tr><tr><td>帯鋼補強土壁</td></tr><tr><td>アンカー補強土壁</td></tr><tr><td>ジオテキスタイル補強土壁（二重壁タイプ）</td></tr></table> (注) 1. 上表は，補強土壁工（帯鋼補強土壁・アンカー補強土壁・ジオテキスタイル補強土壁（二重壁タイプ））のまき出し，敷均し，締固めの他，振動ローラ（舗装用・ハンドガイド式），タンバの運転経費等の費用等，その施工に必要な全ての機械・労務・材料費（損料等を含む）を含む。 2. 施工量の範囲は，壁面上端までと補強材後部までの盛土を対象とする（参考図参照）。 3. 現場条件により表3. 7に示す代表機械の規格により難しい場合は，別途考慮する。 (2) 代表機労材規格 下表機労材は，当該施工パッケージで使用されている機労材の代表的な規格である。 表3. 7 まき出し・敷均し，締固め 代表機労材規格一覧 <table><tr><th colspan="2">項目</th><th>代表機労材規格</th><th>備考</th></tr><tr><td rowspan="3">機 械</td><td>K 1</td><td>バックホウ（クローラ型）[標準型・クレーン機能付・排出ガス対策型(2014年規制)]山積0.5m3(平積0.4m3) 吊能力2.9t</td><td>賃料</td></tr><tr><td>K 2</td><td>振動ローラ（舗装用）[搭乗・コンバインド式・排出ガス対策型(第3次基準値)] 運転質量3～4t</td><td>賃料</td></tr><tr><td>K 3</td><td>—</td><td></td></tr><tr><td rowspan="4">労 務</td><td>R 1</td><td>運転手（特殊）</td><td></td></tr><tr><td>R 2</td><td>普通作業員</td><td></td></tr><tr><td>R 3</td><td>特殊作業員</td><td></td></tr><tr><td>R 4</td><td>土木一般世話役</td><td></td></tr><tr><td rowspan="4">材 料</td><td>Z 1</td><td>軽油 バトロール給油</td><td></td></tr><tr><td>Z 2</td><td>—</td><td></td></tr><tr><td>Z 3</td><td>—</td><td></td></tr><tr><td>Z 4</td><td>—</td><td></td></tr><tr><td>市場単価</td><td>S</td><td>—</td><td></td></tr></table> 3－6 排水管敷設工 排水管敷設工を施工する場合は，「第Ⅱ編第2章㊦－1排水構造物工」暗渠排水管により別途計上する。 Ⅱ-2-㊦-6		工法区分	帯鋼補強土壁	アンカー補強土壁	ジオテキスタイル補強土壁（二重壁タイプ）	項目		代表機労材規格	備考	機 械	K 1	バックホウ（クローラ型）[標準型・クレーン機能付・排出ガス対策型(2014年規制)]山積0.5m3(平積0.4m3) 吊能力2.9t	賃料	K 2	振動ローラ（舗装用）[搭乗・コンバインド式・排出ガス対策型(第3次基準値)] 運転質量3～4t	賃料	K 3	—		労 務	R 1	運転手（特殊）		R 2	普通作業員		R 3	特殊作業員		R 4	土木一般世話役		材 料	Z 1	軽油 バトロール給油		Z 2	—		Z 3	—		Z 4	—		市場単価	S	—		現行どおり 現行どおり	(注) 1. 上表は，補強土壁工（帯鋼補強土壁・アンカー補強土壁・ジオテキスタイル補強土壁（二重壁タイプ））のまき出し，敷均し，締固め，盛土内の浸透水の排除を目的とする水平排水層の設置の他，振動ローラ（舗装用・ハンドガイド式），タンバの運転経費等の費用等，その施工に必要な全ての機械・労務・材料費（損料等を含む）を含む。ただし，水平排水層の材料費は含まない。 2. 水平排水層の設置の有無にかかわらず適用できる。 3. 水平排水層に使用する材料費（砕石や透水マット等の水平排水材）は，必要量を別途計上する。 4. 施工量の範囲は，壁面上端までと補強材後部までの盛土を対象とする（参考図参照）。 5. 現場条件により表3. 7に示す代表機械の規格により難しい場合は，別途考慮する。 記載の修正・削除 (歩掛改定に伴う)
工法区分																																																			
帯鋼補強土壁																																																			
アンカー補強土壁																																																			
ジオテキスタイル補強土壁（二重壁タイプ）																																																			
項目		代表機労材規格	備考																																																
機 械	K 1	バックホウ（クローラ型）[標準型・クレーン機能付・排出ガス対策型(2014年規制)]山積0.5m3(平積0.4m3) 吊能力2.9t	賃料																																																
	K 2	振動ローラ（舗装用）[搭乗・コンバインド式・排出ガス対策型(第3次基準値)] 運転質量3～4t	賃料																																																
	K 3	—																																																	
労 務	R 1	運転手（特殊）																																																	
	R 2	普通作業員																																																	
	R 3	特殊作業員																																																	
	R 4	土木一般世話役																																																	
材 料	Z 1	軽油 バトロール給油																																																	
	Z 2	—																																																	
	Z 3	—																																																	
	Z 4	—																																																	
市場単価	S	—																																																	
積算上の注意事項			(控え頁) 1／1																																																

工 種	補強盛土工(旧ジオテキスタイル)
-----	------------------

改 正 理 由		一部改正		改 正		現 行		備 考																																			
現 行				改 正				備 考																																			
3－4 まき出し・敷均し、締固め (1) 条件区分 まき出し・敷均し、締固めに積算条件区分はない。 積算単位は、m3 とする。 (注) 1. ジオテキスタイルを用いた補強土壁工及び補強盛土工のまき出し、敷均し・締固め、水平排水材、層厚管理材の設置の他、振動ローラ（ハンドガイド式）、タンバ及びランマの運転経費等、その施工に要する全ての費用を含む。ただし、水平排水材、層厚管理材及び盛土材の材料費は含まない。 2. 水平排水材、層厚管理材の材料費は別途計上する。 3. ジオテキスタイル工1段当りのまき出し厚さ及び締固め回数に関係なく適用する。 4. 補強盛土工範囲（図3－1 参考図参照）の盛土材については、必要に応じて別途計上する。 5. 現場発生土の粒径処理等が必要な場合は、別途計上する。 (2) 代表機労材規格 下表機労材は、当該施工パッケージで使用されている機労材の代表的な規格である。 <table><tr><th colspan="3">表3. 4 まき出し・敷均し、締固め 代表機労材規格一覧</th></tr><tr><th>項目</th><th>代表機労材規格</th><th>備考</th></tr><tr><td rowspan="3">機械</td><td>K1 バックホウ（クローラ型）〔標準型・排出ガス対策型（2011 年規制）〕 山積 0.5m3（平積 0.4m3）</td><td>賃料</td></tr><tr><td>K2 振動ローラ（舗装用）〔搭乗・コンバインド式・排出ガス対策型（第3 次基準値）〕運転質量 3～4 t</td><td>賃料</td></tr><tr><td>K3 －</td><td></td></tr><tr><td rowspan="4">労務</td><td>R1 運転手（特殊）</td><td></td></tr><tr><td>R2 普通作業員</td><td></td></tr><tr><td>R3 特殊作業員</td><td></td></tr><tr><td>R4 土木一般世話役</td><td></td></tr><tr><td rowspan="4">材料</td><td>Z1 軽油 バトロール給油</td><td></td></tr><tr><td>Z2 －</td><td></td></tr><tr><td>Z3 －</td><td></td></tr><tr><td>Z4 －</td><td></td></tr><tr><td>市場単価</td><td>S －</td><td></td></tr></table> 3－5 ジオテキスタイル（材料費） (1) 条件区分 ジオテキスタイル（材料費）に積算条件区分はない。 積算単位は、m2 とする。 (注) 施工量は、巻込み部、重ね合わせ等を含んだジオテキスタイル必要面積を計上する。 3－6 排水管敷設工 排水管敷設工を施工する場合は、「第Ⅱ編第2 章⑩－1 排水構造物工」暗渠排水管により別途計上する。 Ⅱ-2-⑧-4				表3. 4 まき出し・敷均し、締固め 代表機労材規格一覧			項目	代表機労材規格	備考	機械	K1 バックホウ（クローラ型）〔標準型・排出ガス対策型（2011 年規制）〕 山積 0.5m3（平積 0.4m3）	賃料	K2 振動ローラ（舗装用）〔搭乗・コンバインド式・排出ガス対策型（第3 次基準値）〕運転質量 3～4 t	賃料	K3 －		労務	R1 運転手（特殊）		R2 普通作業員		R3 特殊作業員		R4 土木一般世話役		材料	Z1 軽油 バトロール給油		Z2 －		Z3 －		Z4 －		市場単価	S －		現行どおり (注) 1. ジオテキスタイルを用いた補強土壁工及び補強盛土工のまき出し、敷均し・締固め、盛土内の浸透水の排除を目的とする水平排水層の設置の他、振動ローラ（ハンドガイド式）、タンバ及びランマの運転経費等、その施工に要する全ての費用を含む。ただし、水平排水層及び盛土材の材料費は含まない。 2. 水平排水層の設置の有無にかかわらず適用できる。 3. 水平排水層に使用する材料費（砕石や透水マット等の水平排水材）は、必要量を別途計上する。 4. ジオテキスタイル工1 段当りのまき出し厚さ及び締固め回数に関係なく適用する。 5. 補強盛土工範囲（図3－1 参考図参照）の盛土材については、必要に応じて別途計上する。 6. 現場発生土の粒径処理等が必要な場合は、別途計上する。 現行どおり				記載の変更	
表3. 4 まき出し・敷均し、締固め 代表機労材規格一覧																																											
項目	代表機労材規格	備考																																									
機械	K1 バックホウ（クローラ型）〔標準型・排出ガス対策型（2011 年規制）〕 山積 0.5m3（平積 0.4m3）	賃料																																									
	K2 振動ローラ（舗装用）〔搭乗・コンバインド式・排出ガス対策型（第3 次基準値）〕運転質量 3～4 t	賃料																																									
	K3 －																																										
労務	R1 運転手（特殊）																																										
	R2 普通作業員																																										
	R3 特殊作業員																																										
	R4 土木一般世話役																																										
材料	Z1 軽油 バトロール給油																																										
	Z2 －																																										
	Z3 －																																										
	Z4 －																																										
市場単価	S －																																										
積算上の注意事項								(控え頁) 1／1																																			

工 種	構造物補修工(ひび割れ補修工(充てん工法))
-----	------------------------

改 正 理 由	一 部 改 正	改 正	備 考
		現 行	
	⑨ー1 構造物補修工(ひび割れ補修工(充てん工法)) 1. 適用範囲 本資料は、コンクリート構造物のひび割れ補修における1構造物当りの充てん作業に適用する。 なお、以下の条件は適用範囲外とする。 ・水中部 ・道路トンネル（覆道、道路ボックスカルバート等含む） （注）1 構造物とは、1 橋梁や1 樋門等の全体を指し、構造物の規模や橋梁の上部・下部の区分、樋門等の連数による区分は設けない。 2. 施工概要 施工フローは、下記を標準とする。 足 場 設 置 ↓ ひび割れ面のカット ↓ ひび割れ部の清掃 ↓ プライマー塗布 ↓ 充てん材の充てん ↓ 仕 上 げ ↓ 足 場 撤 去 締切排水（設置） ← コンクリート殻 積込み・運搬・処分 ← 締切排水（撤去） （注）1. 本歩掛で対応しているのは、実線部分のみである。 2. 仕上げには養生を含む。 ただし、現場条件により特殊な養生が必要な場合は、別途考慮する。 図2ー1 施工フロー II-2-⑨-1	現行どおり ・道路トンネル（シエッド、大型カルバート等含む^①） 現行どおり	記載の変更
積算上の注意事項			（控え頁） 1／1

工 種	構造物補修工(ひび割れ補修工(低圧注入工法))
-----	-------------------------

改 正 理 由	一部改正	改 正 現 行	
現 行		改 正	備 考
⑨ー2 構造物補修工(ひび割れ補修工(低圧注入工法)) 1. 適 用 範 囲 本資料は、コンクリート構造物のひび割れ補修における1構造物当りの低圧注入作業（圧縮空気、ゴムやパネの復元力などを利用して加圧できる専用器具を用いて注入を行うもの）に適用する。 なお、以下の条件は適用範囲外とする。 ・グリースポンプ等の手動ポンプを用いて手動で注入を行う場合 ・足踏みポンプや電動ポンプ等の機械を用いて注入を行う場合 ・水中部 ・道路トンネル（覆道、道路ボックスカルバート等含む） （注）1 構造物とは、1 橋梁や1 樋門等の全体を指し、構造物の規模や橋梁の上部・下部の区分、樋門等の連数による区分は設けない。 2. 施 工 概 要 施工フローは、下記を標準とする。 足 場 設 置 縮 切 排 水 （ 設 置 ） ひ び 割 れ 部 の 清 掃 注 入 孔 の 設 置 シー ル 材 塗 布 及 び 注 入 器 具 取 付 注 入 材 の 注 入 （ 追 加 注 入 含 む ） シー ル 材 及 び 注 入 器 具 撤 去 仕 上 げ 足 場 撤 去 縮 切 排 水 （ 撤 去 ） （注） 1．本歩掛で対応しているのは、実線部分のみである。 2．注入器具の種類によって作業の順序が前後する場合も適用することが出来る。 図2ー1 施工フロー II-2-⑨-4		現行どおり ・道路トンネル（シエッド、大型カルバート等含む） 現行どおり	記載の変更
積算上の注意事項			（控え頁） 1／1

工 種	構造物補修工(断面修復工(左官工法))
-----	---------------------

改 正 理 由	一 部 改 正	改 正	
		現 行	備 考
	現 行	改 正	
	⑨ー3 構造物補修工(断面修復工(左官工法)) 1. 適用範囲 本資料は、コンクリート構造物の断面修復における1構造物当りの左官作業に適用する。 なお、以下の条件は適用範囲外とする。 ・水中部 ・道路トンネル（覆道、道路ボックスカルバート等含む） (注) 1 構造物とは、1 橋梁や1 樋門等の全体を指し、構造物の規模や橋梁の上部・下部の区分、樋門等の連数による区分は設けない。 2. 施工概要 施工フローは、下記を標準とする。 足場設置 配筋状況確認 (鉄筋探査等) コンクリートはつり (カッター工含む) 鉄筋ケレン・鉄筋防錆処理 (必要に応じ計上) 断面修復(左官) (プライマー含む) 仕上げ 足場撤去 縮切排水(設置) コンクリート殻 積込・運搬 縮切排水(撤去) (注) 1. 本歩掛で対応しているのは、実線部分のみである。 2. 仕上げには養生を含む。 ただし、現場条件により特殊な養生が必要な場合は、別途考慮する。 図2ー1 施工フロー II-2-⑨-8	⑨ー3 構造物補修工(断面修復工(左官工法)) 1. 適用範囲 1ー1 断面修復工(左官工法) 本資料は、コンクリート構造物の断面修復における1構造物当りの左官作業に適用する。 なお、以下の条件は適用範囲外とする。 ・水中部 ・道路トンネル（シェッド、大型カルバート等含む） ・移動足場（高所作業車、橋梁点検車等含む）を使用した施工 (注) 1 構造物とは、1 橋梁や1 樋門等の全体を指し、構造物の規模や橋梁の上部・下部の区分、樋門等の連数による区分は設けない。 1ー2 コンクリート殻積込・運搬(断面修復工) 断面修復工(左官工法)により発生したコンクリート殻の人力による積込及び運搬に適用する。 なお、運搬距離が60kmを超える場合、自動車専用道路を使用する場合は適用範囲外とする。 2. 施工概要 施工フローは、下記を標準とする。 足場設置 配筋状況確認 (鉄筋探査等) コンクリートはつり (カッター工含む) 鉄筋ケレン・鉄筋防錆処理 (必要に応じ計上) 断面修復(左官) (プライマー含む) 仕上げ 足場撤去 縮切排水(設置) コンクリート殻 積込・運搬・処分 縮切排水(撤去) (注) 1. 本歩掛で対応しているのは、実線部分のみである。 2. 仕上げには養生を含む。 ただし、現場条件により特殊な養生が必要な場合は、別途考慮する。 3. コンクリートはつりには、コンクリート殻の集積場所までの現場内小運搬を含む。 4. 処分費は別途計上とする。 図2ー1 施工フロー	記載の修正・削除 (歩掛改定に伴う) 記載の修正・削除 (歩掛改定に伴う) 記載の修正・削除 (歩掛改定に伴う) 記載の修正・削除 (歩掛改定に伴う)
積算上の注意事項			(控え頁) 1／7

工 種	構造物補修工(断面修復工(左官工法))
-----	---------------------

改 正 理 由		一 部 改 正		改 正		現 行		備 考																									
現 行 無 し				3. 機 種 の 選 定 コンクリート製の運搬機械・規格は、次表を標準とする。				記載の修正・削除 (歩掛改定に伴う)																									
3. 施 工 歩 掛 3-1 断面修復工(左官工法)(鉄筋ケレン・鉄筋防錆処理を含む) コンクリートはつり(カッター工含む)、鉄筋ケレン・鉄筋防錆処理、左官(プライマー含む)、仕上げの歩掛は、次表を標準とする。				表3.1 機種の選定				記載の修正・削除 (歩掛改定に伴う)																									
表3.1 断面修復工(左官工法)(鉄筋ケレン・鉄筋防錆処理を含む) [1構造物当り修復延べ体積 0.1m ² 未満]の場合				表3.1 機種の選定				記載の修正・削除 (歩掛改定に伴う)																									
<table><tr><th>名 称</th><th>単位</th><th>数量 (D1) (1 構造物当り)</th></tr><tr><td>土 木 一 般 世 話 役</td><td>人</td><td>2.3</td></tr><tr><td>特 殊 作 業 員</td><td>人</td><td>3.8</td></tr><tr><td>普 通 作 業 員</td><td>人</td><td>2.5</td></tr></table>				名 称	単位	数量 (D1) (1 構造物当り)	土 木 一 般 世 話 役	人	2.3	特 殊 作 業 員	人	3.8	普 通 作 業 員	人	2.5	<table><tr><th>作業種別</th><th>名称</th><th>規格</th><th>単位</th><th>数量</th><th>摘要</th></tr><tr><td>積込み及び運搬</td><td>ダンプトラック</td><td>オンロード・ディーゼル・4t 積級</td><td>台</td><td>1</td><td></td></tr></table>				作業種別	名称	規格	単位	数量	摘要	積込み及び運搬	ダンプトラック	オンロード・ディーゼル・4t 積級	台	1			
名 称	単位	数量 (D1) (1 構造物当り)																															
土 木 一 般 世 話 役	人	2.3																															
特 殊 作 業 員	人	3.8																															
普 通 作 業 員	人	2.5																															
作業種別	名称	規格	単位	数量	摘要																												
積込み及び運搬	ダンプトラック	オンロード・ディーゼル・4t 積級	台	1																													
表3.2 断面修復工(左官工法)(鉄筋ケレン・鉄筋防錆処理を含む) [1構造物当り修復延べ体積 0.1m ² 以上]の場合				表34.1 断面修復工(左官工法)(鉄筋ケレン・鉄筋防錆処理を含む) [1構造物当り修復延べ体積 0.1m3未満]の場合				記載の修正・削除 (歩掛改定に伴う)																									
<table><tr><th>名 称</th><th>単位</th><th>数量 (D2) (0.1m²当り)</th></tr><tr><td>土 木 一 般 世 話 役</td><td>人</td><td>2.3</td></tr><tr><td>特 殊 作 業 員</td><td>人</td><td>3.8</td></tr><tr><td>普 通 作 業 員</td><td>人</td><td>2.5</td></tr></table>				名 称	単位	数量 (D2) (0.1m ² 当り)	土 木 一 般 世 話 役	人	2.3	特 殊 作 業 員	人	3.8	普 通 作 業 員	人	2.5	<table><tr><th>名 称</th><th>単位</th><th>数量 (D1) (1 構造物当り)</th></tr><tr><td>土 木 一 般 世 話 役</td><td>人</td><td>2.3 2.8</td></tr><tr><td>特 殊 作 業 員</td><td>人</td><td>3.8 5.3</td></tr><tr><td>普 通 作 業 員</td><td>人</td><td>2.5 2.8</td></tr></table>				名 称	単位	数量 (D1) (1 構造物当り)	土 木 一 般 世 話 役	人	2.3 2.8	特 殊 作 業 員	人	3.8 5.3	普 通 作 業 員	人	2.5 2.8		
名 称	単位	数量 (D2) (0.1m ² 当り)																															
土 木 一 般 世 話 役	人	2.3																															
特 殊 作 業 員	人	3.8																															
普 通 作 業 員	人	2.5																															
名 称	単位	数量 (D1) (1 構造物当り)																															
土 木 一 般 世 話 役	人	2.3 2.8																															
特 殊 作 業 員	人	3.8 5.3																															
普 通 作 業 員	人	2.5 2.8																															
(注) 1. 歩掛は、全ての施工方向に適用出来る。 2. 現場条件により特殊な養生が必要な場合は、別途考慮する。 3. コンクリート製の積込み・運搬及び処分費は、別途計上する。 4. 仮締切・排水・足場等については、現場条件を考慮の上、別途計上する。				表34.2 断面修復工(左官工法)(鉄筋ケレン・鉄筋防錆処理を含む) [1構造物当り修復延べ体積 0.1m3以上]の場合																													
<table><tr><th>名 称</th><th>単位</th><th>数量 (D2) (0.1m3当り)</th></tr><tr><td>土 木 一 般 世 話 役</td><td>人</td><td>2.3 2.8</td></tr><tr><td>特 殊 作 業 員</td><td>人</td><td>3.8 5.3</td></tr><tr><td>普 通 作 業 員</td><td>人</td><td>2.5 2.8</td></tr></table>				名 称	単位	数量 (D2) (0.1m3当り)	土 木 一 般 世 話 役	人	2.3 2.8	特 殊 作 業 員	人	3.8 5.3	普 通 作 業 員	人	2.5 2.8	<table><tr><th>名 称</th><th>単位</th><th>数量 (D3) (1 構造物当り)</th></tr><tr><td>土 木 一 般 世 話 役</td><td>人</td><td>1.9</td></tr><tr><td>特 殊 作 業 員</td><td>人</td><td>3.2</td></tr><tr><td>普 通 作 業 員</td><td>人</td><td>2.1</td></tr></table>				名 称	単位	数量 (D3) (1 構造物当り)	土 木 一 般 世 話 役	人	1.9	特 殊 作 業 員	人	3.2	普 通 作 業 員	人	2.1		
名 称	単位	数量 (D2) (0.1m3当り)																															
土 木 一 般 世 話 役	人	2.3 2.8																															
特 殊 作 業 員	人	3.8 5.3																															
普 通 作 業 員	人	2.5 2.8																															
名 称	単位	数量 (D3) (1 構造物当り)																															
土 木 一 般 世 話 役	人	1.9																															
特 殊 作 業 員	人	3.2																															
普 通 作 業 員	人	2.1																															
3-2 断面修復工(左官工法)(鉄筋ケレン・鉄筋防錆処理を含まない) コンクリートはつり(カッター工含む)、左官(プライマー含む)、仕上げの歩掛は、次表を標準とする。				表34.3 断面修復工(左官工法)(鉄筋ケレン・鉄筋防錆処理を含まない) [1構造物当り修復延べ体積 0.1m3未満]の場合																													
表3.3 断面修復工(左官工法)(鉄筋ケレン・鉄筋防錆処理を含まない) [1構造物当り修復延べ体積 0.1m ² 未満]の場合				表34.3 断面修復工(左官工法)(鉄筋ケレン・鉄筋防錆処理を含まない) [1構造物当り修復延べ体積 0.1m3未満]の場合																													
<table><tr><th>名 称</th><th>単位</th><th>数量 (D3) (1 構造物当り)</th></tr><tr><td>土 木 一 般 世 話 役</td><td>人</td><td>1.9</td></tr><tr><td>特 殊 作 業 員</td><td>人</td><td>3.2</td></tr><tr><td>普 通 作 業 員</td><td>人</td><td>2.1</td></tr></table>				名 称	単位	数量 (D3) (1 構造物当り)	土 木 一 般 世 話 役	人	1.9	特 殊 作 業 員	人	3.2	普 通 作 業 員	人	2.1	<table><tr><th>名 称</th><th>単位</th><th>数量 (D3) (1 構造物当り)</th></tr><tr><td>土 木 一 般 世 話 役</td><td>人</td><td>1.9 2.4</td></tr><tr><td>特 殊 作 業 員</td><td>人</td><td>3.2 4.5</td></tr><tr><td>普 通 作 業 員</td><td>人</td><td>2.1 2.3</td></tr></table>				名 称	単位	数量 (D3) (1 構造物当り)	土 木 一 般 世 話 役	人	1.9 2.4	特 殊 作 業 員	人	3.2 4.5	普 通 作 業 員	人	2.1 2.3		
名 称	単位	数量 (D3) (1 構造物当り)																															
土 木 一 般 世 話 役	人	1.9																															
特 殊 作 業 員	人	3.2																															
普 通 作 業 員	人	2.1																															
名 称	単位	数量 (D3) (1 構造物当り)																															
土 木 一 般 世 話 役	人	1.9 2.4																															
特 殊 作 業 員	人	3.2 4.5																															
普 通 作 業 員	人	2.1 2.3																															
表3.4 断面修復工(左官工法)(鉄筋ケレン・鉄筋防錆処理を含まない) [1構造物当り修復延べ体積 0.1m ² 以上]の場合				表34.3 断面修復工(左官工法)(鉄筋ケレン・鉄筋防錆処理を含まない) [1構造物当り修復延べ体積 0.1m3未満]の場合																													
<table><tr><th>名 称</th><th>単位</th><th>数量 (D4) (0.1m³当り)</th></tr><tr><td>土 木 一 般 世 話 役</td><td>人</td><td>1.9</td></tr><tr><td>特 殊 作 業 員</td><td>人</td><td>3.2</td></tr><tr><td>普 通 作 業 員</td><td>人</td><td>2.1</td></tr></table>				名 称	単位	数量 (D4) (0.1m ³ 当り)	土 木 一 般 世 話 役	人	1.9	特 殊 作 業 員	人	3.2	普 通 作 業 員	人	2.1	<table><tr><th>名 称</th><th>単位</th><th>数量 (D3) (1 構造物当り)</th></tr><tr><td>土 木 一 般 世 話 役</td><td>人</td><td>1.9 2.4</td></tr><tr><td>特 殊 作 業 員</td><td>人</td><td>3.2 4.5</td></tr><tr><td>普 通 作 業 員</td><td>人</td><td>2.1 2.3</td></tr></table>				名 称	単位	数量 (D3) (1 構造物当り)	土 木 一 般 世 話 役	人	1.9 2.4	特 殊 作 業 員	人	3.2 4.5	普 通 作 業 員	人	2.1 2.3		
名 称	単位	数量 (D4) (0.1m ³ 当り)																															
土 木 一 般 世 話 役	人	1.9																															
特 殊 作 業 員	人	3.2																															
普 通 作 業 員	人	2.1																															
名 称	単位	数量 (D3) (1 構造物当り)																															
土 木 一 般 世 話 役	人	1.9 2.4																															
特 殊 作 業 員	人	3.2 4.5																															
普 通 作 業 員	人	2.1 2.3																															
(注) 1. 歩掛は、全ての施工方向に適用出来る。 2. 現場条件により特殊な養生が必要な場合は、別途考慮する。 3. コンクリート製の積込み・運搬及び処分費は、別途計上する。 4. 仮締切・排水・足場等については、現場条件を考慮の上、別途計上する。				次頁へ移動																													
II-2-⑨-9																																	
積算上の注意事項								(控え頁) 2/7																									

工 種	構造物補修工(断面修復工(左官工法))
-----	---------------------

改 正 理 由	一部改正	改 正																																																																																		
	現 行	現 行																																																																																		
現 行		改 正	備 考																																																																																	
前頁から移動		表34. 4 断面修復工(左官工法)(鉄筋ケレン・鉄筋防錆処理を含まない) [1構造物当たり修復延べ体積 0.1m3 以上]の場合 <table><tr><th>名 称</th><th>単位</th><th>数量 (D4) (0.1m3 当り)</th></tr><tr><td>土 木 一 般 世 話 役</td><td>人</td><td>1.9 2.4</td></tr><tr><td>特 殊 作 業 員</td><td>"</td><td>3.2 4.5</td></tr><tr><td>普 通 作 業 員</td><td>"</td><td>2.1 2.3</td></tr></table> (注) 1. 上記歩掛は、全ての施工方向に適用出来る。 2. 現場条件により特殊な養生が必要な場合は、別途考慮する。 3. コンクリート殻の集積場所までの現場内小運搬 (120mまで) を含む。 4. 仮締切・排水・足場等については、現場条件を考慮の上、別途計上する。 4-3 コンクリート殻積込 (断面修復工) (1) 日当り編成人員 コンクリート殻積込の日当り編成人員は、次表を標準とする。 <table><tr><th>名 称</th><th>単位</th><th>数量</th></tr><tr><td>普 通 作 業 員</td><td>人</td><td>1</td></tr></table> (2) 日当り施工量 コンクリート殻積込の日当り施工量は、次表を標準とする。 <table><tr><th>作業種別</th><th>単位</th><th>数量</th></tr><tr><td>人 力 積 込 み</td><td>m3</td><td>7.7</td></tr></table>	名 称	単位	数量 (D4) (0.1m3 当り)	土 木 一 般 世 話 役	人	1.9 2.4	特 殊 作 業 員	"	3.2 4.5	普 通 作 業 員	"	2.1 2.3	名 称	単位	数量	普 通 作 業 員	人	1	作業種別	単位	数量	人 力 積 込 み	m3	7.7	記載の修正・削除 (歩掛改定に伴う)																																																									
名 称	単位	数量 (D4) (0.1m3 当り)																																																																																		
土 木 一 般 世 話 役	人	1.9 2.4																																																																																		
特 殊 作 業 員	"	3.2 4.5																																																																																		
普 通 作 業 員	"	2.1 2.3																																																																																		
名 称	単位	数量																																																																																		
普 通 作 業 員	人	1																																																																																		
作業種別	単位	数量																																																																																		
人 力 積 込 み	m3	7.7																																																																																		
現行なし		4-4 コンクリート殻運搬 (断面修復工) (1) 運搬日数 ダンプトラック (オンロード・ディーゼル4t 積級) による 10m3 当り運搬日数は、次表による。 <table><tr><th colspan="9">表4. 7 殻運搬日数 (10m3 当り)</th></tr><tr><th>運搬機種・規格</th><th colspan="8">ダンプトラック オンロード・ディーゼル 4t 積級</th></tr><tr><td></td><th colspan="8">D1D区間：無し</th></tr><tr><td>運搬距離(km)</td><td>1.0 以下</td><td>2.0 以下</td><td>3.0 以下</td><td>4.5 以下</td><td>6.0 以下</td><td>7.5 以下</td><td>9.5 以下</td><td>11.5 以下</td></tr><tr><td>運搬日数(日)</td><td>0.09</td><td>0.18</td><td>0.28</td><td>0.41</td><td>0.55</td><td>0.69</td><td>0.87</td><td>1.06</td></tr><tr><td>運搬距離(km)</td><td>14 以下</td><td>16.5 以下</td><td>19 以下</td><td>22 以下</td><td>25 以下</td><td>29 以下</td><td>33 以下</td><td>37.5 以下</td></tr><tr><td>運搬日数(日)</td><td>1.28</td><td>1.51</td><td>1.74</td><td>2.02</td><td>2.29</td><td>2.66</td><td>3.03</td><td>3.44</td></tr><tr><td>運搬距離(km)</td><td>42.5 以下</td><td>48 以下</td><td>54 以下</td><td>60 以下</td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr><tr><td>運搬日数(日)</td><td>3.90</td><td>4.40</td><td>4.95</td><td>5.50</td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr></table>	表4. 7 殻運搬日数 (10m3 当り)									運搬機種・規格	ダンプトラック オンロード・ディーゼル 4t 積級									D1D区間：無し								運搬距離(km)	1.0 以下	2.0 以下	3.0 以下	4.5 以下	6.0 以下	7.5 以下	9.5 以下	11.5 以下	運搬日数(日)	0.09	0.18	0.28	0.41	0.55	0.69	0.87	1.06	運搬距離(km)	14 以下	16.5 以下	19 以下	22 以下	25 以下	29 以下	33 以下	37.5 以下	運搬日数(日)	1.28	1.51	1.74	2.02	2.29	2.66	3.03	3.44	運搬距離(km)	42.5 以下	48 以下	54 以下	60 以下					運搬日数(日)	3.90	4.40	4.95	5.50					記載の修正・削除 (歩掛改定に伴う)
表4. 7 殻運搬日数 (10m3 当り)																																																																																				
運搬機種・規格	ダンプトラック オンロード・ディーゼル 4t 積級																																																																																			
	D1D区間：無し																																																																																			
運搬距離(km)	1.0 以下	2.0 以下	3.0 以下	4.5 以下	6.0 以下	7.5 以下	9.5 以下	11.5 以下																																																																												
運搬日数(日)	0.09	0.18	0.28	0.41	0.55	0.69	0.87	1.06																																																																												
運搬距離(km)	14 以下	16.5 以下	19 以下	22 以下	25 以下	29 以下	33 以下	37.5 以下																																																																												
運搬日数(日)	1.28	1.51	1.74	2.02	2.29	2.66	3.03	3.44																																																																												
運搬距離(km)	42.5 以下	48 以下	54 以下	60 以下																																																																																
運搬日数(日)	3.90	4.40	4.95	5.50																																																																																
積算上の注意事項			(控え頁) 3／7																																																																																	

工 種	構造物補修工(断面修復工(左官工法))
-----	---------------------

改正理由	一部改正	改正		備考																																																																								
		現行																																																																										
現行		改正		備考																																																																								
3-3 材料の使用数量 断面修復材の使用数量は、次式による。 使用数量 (m³) =設計数量 (m³) × (1+K) ……式 3. 1 K：ロス率		表4. 8 般運搬日数 (10m3 当り) <table><tr><td>運搬機種・規格</td><td colspan="8">ダンプトラック オンロード・ディーゼル 4t 積級</td></tr><tr><td colspan="9">D I D 区間：有り</td></tr><tr><td>運搬距離(km)</td><td>1.0 以下</td><td>2.0 以下</td><td>3.0 以下</td><td>4.0 以下</td><td>5.5 以下</td><td>7.0 以下</td><td>8.5 以下</td><td>10 以下</td></tr><tr><td>運搬日数(日)</td><td>0.11</td><td>0.22</td><td>0.33</td><td>0.44</td><td>0.61</td><td>0.78</td><td>0.94</td><td>1.11</td></tr><tr><td>運搬距離(km)</td><td>12 以下</td><td>14 以下</td><td>16.5 以下</td><td>19 以下</td><td>22 以下</td><td>25 以下</td><td>28.5 以下</td><td>32 以下</td></tr><tr><td>運搬日数(日)</td><td>1.33</td><td>1.56</td><td>1.83</td><td>2.11</td><td>2.44</td><td>2.78</td><td>3.17</td><td>3.56</td></tr><tr><td>運搬距離(km)</td><td>36 以下</td><td>40.5 以下</td><td>45.5 以下</td><td>51 以下</td><td>57 以下</td><td>60 以下</td><td></td><td></td></tr><tr><td>運搬日数(日)</td><td>4.00</td><td>4.50</td><td>5.06</td><td>5.67</td><td>6.33</td><td>6.67</td><td></td><td></td></tr></table> (注) 1. 運搬距離は片道であり、往路と復路が異なるときは、平均値とする。 2. D I D (人口集中地区) は、総務省統計局の国勢調査報告書資料添付の人口集中地区境界図によるものとする。 3. 運搬距離が 60km を超える場合は、別途考慮する。 4. 自動車専用道路を利用する場合は、別途考慮する。			運搬機種・規格	ダンプトラック オンロード・ディーゼル 4t 積級								D I D 区間：有り									運搬距離(km)	1.0 以下	2.0 以下	3.0 以下	4.0 以下	5.5 以下	7.0 以下	8.5 以下	10 以下	運搬日数(日)	0.11	0.22	0.33	0.44	0.61	0.78	0.94	1.11	運搬距離(km)	12 以下	14 以下	16.5 以下	19 以下	22 以下	25 以下	28.5 以下	32 以下	運搬日数(日)	1.33	1.56	1.83	2.11	2.44	2.78	3.17	3.56	運搬距離(km)	36 以下	40.5 以下	45.5 以下	51 以下	57 以下	60 以下			運搬日数(日)	4.00	4.50	5.06	5.67	6.33	6.67		
運搬機種・規格	ダンプトラック オンロード・ディーゼル 4t 積級																																																																											
D I D 区間：有り																																																																												
運搬距離(km)	1.0 以下	2.0 以下	3.0 以下	4.0 以下	5.5 以下	7.0 以下	8.5 以下	10 以下																																																																				
運搬日数(日)	0.11	0.22	0.33	0.44	0.61	0.78	0.94	1.11																																																																				
運搬距離(km)	12 以下	14 以下	16.5 以下	19 以下	22 以下	25 以下	28.5 以下	32 以下																																																																				
運搬日数(日)	1.33	1.56	1.83	2.11	2.44	2.78	3.17	3.56																																																																				
運搬距離(km)	36 以下	40.5 以下	45.5 以下	51 以下	57 以下	60 以下																																																																						
運搬日数(日)	4.00	4.50	5.06	5.67	6.33	6.67																																																																						
3-4 諸雑費 諸雑費は、カッター、はつり及び鉄筋ケレン作業に必要な器具（電動ビック、ディスクサンダー、替え刃等）、防錆処理・プライマー塗布作業に必要な器具（ディスクサンダー等）及び材料、左官作業に必要な器具（金コテ、ハンドミキサー等）、電力に関する経費等の費用であり、労務費の合計額に次表の率を乗じた額を上限として計上する。		-3-4-5 材料の使用数量 断面修復材の使用数量は、次式による。 使用数量 (m3) =設計数量 (m3) × (1+K) ……式-3-4. 1 K：ロス率 表-64. 9 ロス率(K) <table><tr><td>ロス率</td><td>+0.18</td></tr></table>		ロス率	+0.18																																																																							
ロス率	+0.18																																																																											
4. 単 価 表 (1) 断面修復工 (左官工法) (鉄筋ケレン・鉄筋防錆処理を含む) 1 構造物当り単価表 修復延べ体積 0.1m³未満の場合 <table><tr><td colspan="2">施工歩掛コード</td><td colspan="3">WB229210</td></tr><tr><td>名 称</td><td>規 格</td><td>単位</td><td>数量</td><td>摘 要</td></tr><tr><td>土 木 一 般 世 話 役</td><td></td><td>人</td><td>D1</td><td>表3.1</td></tr><tr><td>特 殊 作 業 員</td><td></td><td>〃</td><td>〃</td><td>〃</td></tr><tr><td>普 通 作 業 員</td><td></td><td>〃</td><td>〃</td><td>〃</td></tr><tr><td>断 面 修 復 材</td><td></td><td>m³</td><td></td><td>式3.1</td></tr><tr><td>諸 雑 費</td><td></td><td>式</td><td>1</td><td>表3.6</td></tr><tr><td>計</td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr></table> (注) D1：1 構造物当り施工数量		施工歩掛コード		WB229210			名 称	規 格	単位	数量	摘 要	土 木 一 般 世 話 役		人	D1	表3.1	特 殊 作 業 員		〃	〃	〃	普 通 作 業 員		〃	〃	〃	断 面 修 復 材		m³		式3.1	諸 雑 費		式	1	表3.6	計					-3-4-6 諸雑費 諸雑費は、カッター、はつり及び鉄筋ケレン作業に必要な器具（電動ビック、ディスクサンダ、替え刃、集塵機、ほうき等）、防錆処理・プライマー塗布作業に必要な器具（刷毛、ハンドミキサー等 ディスクサンダー等 ）及び材料、左官作業に必要な器具（金コテ、ハンドミキサー等）、電力に関する経費等の費用であり、労務費の合計額に次表の率を乗じた額を上限として計上する。 表-64. 10 諸雑費率 (%) <table><tr><td>条 件</td><td>1 構造物当り修復延べ体積</td><td>諸雑費率</td></tr><tr><td rowspan="2">鉄筋ケレン・鉄筋防錆処理を含む</td><td>0.1m3 未満の場合</td><td>11 8</td></tr><tr><td>0.1m3 以上の場合</td><td>11 8</td></tr><tr><td rowspan="2">鉄筋ケレン・鉄筋防錆処理を含まない</td><td>0.1m3 未満の場合</td><td>9 6</td></tr><tr><td>0.1m3 以上の場合</td><td>9 6</td></tr></table> 次頁へ移動		条 件	1 構造物当り修復延べ体積	諸雑費率	鉄筋ケレン・鉄筋防錆処理を含む	0.1m3 未満の場合	11 8	0.1m3 以上の場合	11 8	鉄筋ケレン・鉄筋防錆処理を含まない	0.1m3 未満の場合	9 6	0.1m3 以上の場合	9 6																				
施工歩掛コード		WB229210																																																																										
名 称	規 格	単位	数量	摘 要																																																																								
土 木 一 般 世 話 役		人	D1	表3.1																																																																								
特 殊 作 業 員		〃	〃	〃																																																																								
普 通 作 業 員		〃	〃	〃																																																																								
断 面 修 復 材		m³		式3.1																																																																								
諸 雑 費		式	1	表3.6																																																																								
計																																																																												
条 件	1 構造物当り修復延べ体積	諸雑費率																																																																										
鉄筋ケレン・鉄筋防錆処理を含む	0.1m3 未満の場合	11 8																																																																										
	0.1m3 以上の場合	11 8																																																																										
鉄筋ケレン・鉄筋防錆処理を含まない	0.1m3 未満の場合	9 6																																																																										
	0.1m3 以上の場合	9 6																																																																										
II-2-⑨-10																																																																												

積算上の注意事項	(控え頁) 4／7
----------	--------------

工 種	構造物補修工(断面修復工(左官工法))
-----	---------------------

改 正 理 由		一部改正		改 正 現 行																																																																																																																																																																																																																																																			
現 行				改 正		備 考																																																																																																																																																																																																																																																	
前頁から移動 (2) 断面修復工（左官工法）（鉄筋ケレン・鉄筋防錆処理を含む） 1 構造物当り単価表 修復延べ体積 0.1m³ 以上の場合 <table><tr><td colspan="2">施工歩掛コード</td><td colspan="3">WB229210</td></tr><tr><td>名 称</td><td>規 格</td><td>単位</td><td>数量</td><td>摘 要</td></tr><tr><td>土 木 一 般 世 話 役</td><td></td><td>人</td><td>V/0.1×D2</td><td>表3.2</td></tr><tr><td>特 殊 作 業 員</td><td></td><td>〃</td><td>〃</td><td>〃</td></tr><tr><td>普 通 作 業 員</td><td></td><td>〃</td><td>〃</td><td>〃</td></tr><tr><td>断 面 修 復 材</td><td></td><td>m³</td><td></td><td>式3.1</td></tr><tr><td>諸 雑 費</td><td></td><td>式</td><td>1</td><td>表3.6</td></tr><tr><td>計</td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr></table> (注) 1. V：1 構造物当り修復延べ体積(m²) 2. D2：0.1 m当りの施工数量 (3) 断面修復工（左官工法）（鉄筋ケレン・鉄筋防錆処理を含まない） 1 構造物当り単価表 修復延べ体積 0.1m³未満の場合 <table><tr><td colspan="2">施工歩掛コード</td><td colspan="3">WB229210</td></tr><tr><td>名 称</td><td>規 格</td><td>単位</td><td>数量</td><td>摘 要</td></tr><tr><td>土 木 一 般 世 話 役</td><td></td><td>人</td><td>D3</td><td>表3.3</td></tr><tr><td>特 殊 作 業 員</td><td></td><td>〃</td><td>〃</td><td>〃</td></tr><tr><td>普 通 作 業 員</td><td></td><td>〃</td><td>〃</td><td>〃</td></tr><tr><td>断 面 修 復 材</td><td></td><td>m³</td><td></td><td>式3.1</td></tr><tr><td>諸 雑 費</td><td></td><td>式</td><td>1</td><td>表3.6</td></tr><tr><td>計</td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr></table> (注) D3：1 構造物当り施工数量 (4) 断面修復工（左官工法）（鉄筋ケレン・鉄筋防錆処理を含まない） 1 構造物当り単価表 修復延べ体積 0.1m³ 以上の場合 <table><tr><td colspan="2">施工歩掛コード</td><td colspan="3">WB229210</td></tr><tr><td>名 称</td><td>規 格</td><td>単位</td><td>数量</td><td>摘 要</td></tr><tr><td>土 木 一 般 世 話 役</td><td></td><td>人</td><td>V/0.1×D4</td><td>表3.4</td></tr><tr><td>特 殊 作 業 員</td><td></td><td>〃</td><td>〃</td><td>〃</td></tr><tr><td>普 通 作 業 員</td><td></td><td>〃</td><td>〃</td><td>〃</td></tr><tr><td>断 面 修 復 材</td><td></td><td>m³</td><td></td><td>式3.1</td></tr><tr><td>諸 雑 費</td><td></td><td>式</td><td>1</td><td>表3.6</td></tr><tr><td>計</td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr></table> (注) 1. V：1 構造物当り修復延べ体積(m²) 2. D4：0.1 m当りの施工数量 Ⅱ-2-⑨-11				施工歩掛コード		WB229210			名 称	規 格	単位	数量	摘 要	土 木 一 般 世 話 役		人	V/0.1×D2	表3.2	特 殊 作 業 員		〃	〃	〃	普 通 作 業 員		〃	〃	〃	断 面 修 復 材		m³		式3.1	諸 雑 費		式	1	表3.6	計					施工歩掛コード		WB229210			名 称	規 格	単位	数量	摘 要	土 木 一 般 世 話 役		人	D3	表3.3	特 殊 作 業 員		〃	〃	〃	普 通 作 業 員		〃	〃	〃	断 面 修 復 材		m³		式3.1	諸 雑 費		式	1	表3.6	計					施工歩掛コード		WB229210			名 称	規 格	単位	数量	摘 要	土 木 一 般 世 話 役		人	V/0.1×D4	表3.4	特 殊 作 業 員		〃	〃	〃	普 通 作 業 員		〃	〃	〃	断 面 修 復 材		m³		式3.1	諸 雑 費		式	1	表3.6	計					4 5. 単 価 表 (1) 断面修復工（左官工法）（鉄筋ケレン・鉄筋防錆処理を含む） 1 構造物当り単価表 修復延べ体積 0.1m3 未満の場合 <table><tr><td colspan="2">施工歩掛コード</td><td colspan="3">WB229210</td></tr><tr><td>名 称</td><td>規 格</td><td>単位</td><td>数量</td><td>摘 要</td></tr><tr><td>土 木 一 般 世 話 役</td><td></td><td>人</td><td>D1</td><td>表3.24.1</td></tr><tr><td>特 殊 作 業 員</td><td></td><td>〃</td><td>〃</td><td>〃</td></tr><tr><td>普 通 作 業 員</td><td></td><td>〃</td><td>〃</td><td>〃</td></tr><tr><td>断 面 修 復 材</td><td></td><td>m3</td><td></td><td>式3.14.1</td></tr><tr><td>諸 雑 費</td><td></td><td>式</td><td>1</td><td>表3.64.10</td></tr><tr><td>計</td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr></table> (注) D1：1 構造物当り施工数量 (2) 断面修復工（左官工法）（鉄筋ケレン・鉄筋防錆処理を含むr） 1 構造物当り単価表 修復延べ体積 0.1m3 以上の場合 <table><tr><td colspan="2">施工歩掛コード</td><td colspan="3">WB229210</td></tr><tr><td>名 称</td><td>規 格</td><td>単位</td><td>数量</td><td>摘 要</td></tr><tr><td>土 木 一 般 世 話 役</td><td></td><td>人</td><td>V/0.1×D2</td><td>表3.24.2</td></tr><tr><td>特 殊 作 業 員</td><td></td><td>〃</td><td>〃</td><td>〃</td></tr><tr><td>普 通 作 業 員</td><td></td><td>〃</td><td>〃</td><td>〃</td></tr><tr><td>断 面 修 復 材</td><td></td><td>m3</td><td></td><td>式3.14.1</td></tr><tr><td>諸 雑 費</td><td></td><td>式</td><td>1</td><td>表3.64.10</td></tr><tr><td>計</td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr></table> (注) 1. V：1 構造物当り修復延べ体積(m3) 2. D2：0.1m3 当りの施工数量 (3) 断面修復工（左官工法）（鉄筋ケレン・鉄筋防錆処理を含まない） 1 構造物当り単価表 修復延べ体積 0.1m3 未満の場合 <table><tr><td colspan="2">施工歩掛コード</td><td colspan="3">WB229210</td></tr><tr><td>名 称</td><td>規 格</td><td>単位</td><td>数量</td><td>摘 要</td></tr><tr><td>土 木 一 般 世 話 役</td><td></td><td>人</td><td>D3</td><td>表3.34.3</td></tr><tr><td>特 殊 作 業 員</td><td></td><td>〃</td><td>〃</td><td>〃</td></tr><tr><td>普 通 作 業 員</td><td></td><td>〃</td><td>〃</td><td>〃</td></tr><tr><td>断 面 修 復 材</td><td></td><td>m3</td><td></td><td>式3.14.1</td></tr><tr><td>諸 雑 費</td><td></td><td>式</td><td>1</td><td>表3.64.10</td></tr><tr><td>計</td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr></table> (注) D3：1 構造物当り施工数量 次頁へ移動		施工歩掛コード		WB229210			名 称	規 格	単位	数量	摘 要	土 木 一 般 世 話 役		人	D1	表 3.2 4.1	特 殊 作 業 員		〃	〃	〃	普 通 作 業 員		〃	〃	〃	断 面 修 復 材		m3		式 3.1 4.1	諸 雑 費		式	1	表 3.6 4.10	計					施工歩掛コード		WB229210			名 称	規 格	単位	数量	摘 要	土 木 一 般 世 話 役		人	V/0.1×D2	表 3.2 4.2	特 殊 作 業 員		〃	〃	〃	普 通 作 業 員		〃	〃	〃	断 面 修 復 材		m3		式 3.1 4.1	諸 雑 費		式	1	表 3.6 4.10	計					施工歩掛コード		WB229210			名 称	規 格	単位	数量	摘 要	土 木 一 般 世 話 役		人	D3	表 3.3 4.3	特 殊 作 業 員		〃	〃	〃	普 通 作 業 員		〃	〃	〃	断 面 修 復 材		m3		式 3.1 4.1	諸 雑 費		式	1	表 3.6 4.10	計					記載の修正・削除 (歩掛改定に伴う)	記載の修正・削除 (歩掛改定に伴う)
施工歩掛コード		WB229210																																																																																																																																																																																																																																																					
名 称	規 格	単位	数量	摘 要																																																																																																																																																																																																																																																			
土 木 一 般 世 話 役		人	V/0.1×D2	表3.2																																																																																																																																																																																																																																																			
特 殊 作 業 員		〃	〃	〃																																																																																																																																																																																																																																																			
普 通 作 業 員		〃	〃	〃																																																																																																																																																																																																																																																			
断 面 修 復 材		m³		式3.1																																																																																																																																																																																																																																																			
諸 雑 費		式	1	表3.6																																																																																																																																																																																																																																																			
計																																																																																																																																																																																																																																																							
施工歩掛コード		WB229210																																																																																																																																																																																																																																																					
名 称	規 格	単位	数量	摘 要																																																																																																																																																																																																																																																			
土 木 一 般 世 話 役		人	D3	表3.3																																																																																																																																																																																																																																																			
特 殊 作 業 員		〃	〃	〃																																																																																																																																																																																																																																																			
普 通 作 業 員		〃	〃	〃																																																																																																																																																																																																																																																			
断 面 修 復 材		m³		式3.1																																																																																																																																																																																																																																																			
諸 雑 費		式	1	表3.6																																																																																																																																																																																																																																																			
計																																																																																																																																																																																																																																																							
施工歩掛コード		WB229210																																																																																																																																																																																																																																																					
名 称	規 格	単位	数量	摘 要																																																																																																																																																																																																																																																			
土 木 一 般 世 話 役		人	V/0.1×D4	表3.4																																																																																																																																																																																																																																																			
特 殊 作 業 員		〃	〃	〃																																																																																																																																																																																																																																																			
普 通 作 業 員		〃	〃	〃																																																																																																																																																																																																																																																			
断 面 修 復 材		m³		式3.1																																																																																																																																																																																																																																																			
諸 雑 費		式	1	表3.6																																																																																																																																																																																																																																																			
計																																																																																																																																																																																																																																																							
施工歩掛コード		WB229210																																																																																																																																																																																																																																																					
名 称	規 格	単位	数量	摘 要																																																																																																																																																																																																																																																			
土 木 一 般 世 話 役		人	D1	表 3.2 4.1																																																																																																																																																																																																																																																			
特 殊 作 業 員		〃	〃	〃																																																																																																																																																																																																																																																			
普 通 作 業 員		〃	〃	〃																																																																																																																																																																																																																																																			
断 面 修 復 材		m3		式 3.1 4.1																																																																																																																																																																																																																																																			
諸 雑 費		式	1	表 3.6 4.10																																																																																																																																																																																																																																																			
計																																																																																																																																																																																																																																																							
施工歩掛コード		WB229210																																																																																																																																																																																																																																																					
名 称	規 格	単位	数量	摘 要																																																																																																																																																																																																																																																			
土 木 一 般 世 話 役		人	V/0.1×D2	表 3.2 4.2																																																																																																																																																																																																																																																			
特 殊 作 業 員		〃	〃	〃																																																																																																																																																																																																																																																			
普 通 作 業 員		〃	〃	〃																																																																																																																																																																																																																																																			
断 面 修 復 材		m3		式 3.1 4.1																																																																																																																																																																																																																																																			
諸 雑 費		式	1	表 3.6 4.10																																																																																																																																																																																																																																																			
計																																																																																																																																																																																																																																																							
施工歩掛コード		WB229210																																																																																																																																																																																																																																																					
名 称	規 格	単位	数量	摘 要																																																																																																																																																																																																																																																			
土 木 一 般 世 話 役		人	D3	表 3.3 4.3																																																																																																																																																																																																																																																			
特 殊 作 業 員		〃	〃	〃																																																																																																																																																																																																																																																			
普 通 作 業 員		〃	〃	〃																																																																																																																																																																																																																																																			
断 面 修 復 材		m3		式 3.1 4.1																																																																																																																																																																																																																																																			
諸 雑 費		式	1	表 3.6 4.10																																																																																																																																																																																																																																																			
計																																																																																																																																																																																																																																																							
積算上の注意事項						(控え頁) 5／7																																																																																																																																																																																																																																																	

工 種	構造物補修工(断面修復工(左官工法))
-----	---------------------

改 正 理 由		一部改正			改 正																																																																																																									
		現 行		現 行																																																																																																										
現				改 正				備 考																																																																																																						
前頁から移動 現行なし 5. 施工単価入力基準表 (1) 断面修復工（左官工法） <table><tr><td>施工歩掛コード</td><td>WB229210</td><td>施工単位</td><td>構造物</td></tr><tr><td>施 工 区 分</td><td colspan="3">入 力 条 件</td></tr><tr><td rowspan="3">各 種</td><td>J 1</td><td>J 2</td><td>J 3</td></tr><tr><td>鉄筋ケレン・ 鉄筋防錆処理の有無</td><td>1 構造物当り 修復延べ体積区分</td><td>1 構造物当り 修復延べ体積</td></tr><tr><td>①有り ②無し</td><td>①0.1m3未満 ②0.1m3以上</td><td>(m3) (実数入力)</td></tr></table> (注) 1. J 3 条件は1 構造物当りの延べ施工量 (m3/構造物) を入力する。 2. 本コードは、ロス率を含む。 3. 断面修復材単価(Y-0800003) [円/m3] を単価登録すること。 4. 構造物で鉄筋ケレン・鉄筋防錆処理を含む作業と含まない作業が混在する場合、別途考慮する。 【参考】 1 構造物について（橋梁） <table><tr><td>1 構造物と考える場合（例）</td><td>1 構造物と考える場合（例）</td></tr><tr><td>上部工又は下部工が分離しているが、一体として橋梁の構造を形成している場合は、1 構造物と考える。</td><td>上り線、下り線等、上部工と下部工が分離した構造の場合は、2 構造物と考える。</td></tr><tr><td> 上部工 下部工 </td><td> 上部工 下部工 </td></tr></table> II-2-⑨-12				施工歩掛コード	WB229210	施工単位	構造物	施 工 区 分	入 力 条 件			各 種	J 1	J 2	J 3	鉄筋ケレン・ 鉄筋防錆処理の有無	1 構造物当り 修復延べ体積区分	1 構造物当り 修復延べ体積	①有り ②無し	①0.1m3未満 ②0.1m3以上	(m3) (実数入力)	1 構造物と考える場合（例）	1 構造物と考える場合（例）	上部工又は下部工が分離しているが、一体として橋梁の構造を形成している場合は、1 構造物と考える。	上り線、下り線等、上部工と下部工が分離した構造の場合は、2 構造物と考える。	上部工 下部工	上部工 下部工	(4) 断面修復工（左官工法）（鉄筋ケレン・鉄筋防錆処理を含まない） 1 構造物当り単価表 修復延べ体積 0.1m3 以上の場合 <table><tr><td colspan="2"></td><td colspan="2">施工歩掛コード</td><td>WB229210</td></tr><tr><td>名 称</td><td>規 格</td><td>単位</td><td>数量</td><td>摘 要</td></tr><tr><td>土 木 一 般 世 話 役</td><td></td><td>人</td><td>V/0.1×D4</td><td>表3.4.4</td></tr><tr><td>特 殊 作 業 員</td><td></td><td>〃</td><td>〃</td><td>〃</td></tr><tr><td>普 通 作 業 員</td><td></td><td>〃</td><td>〃</td><td>〃</td></tr><tr><td>断 面 修 復 材</td><td></td><td>m3</td><td></td><td>式3.4.1</td></tr><tr><td>諸 雑 費</td><td></td><td>式</td><td>1</td><td>表3.4.4.10</td></tr><tr><td>計</td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr></table> (注) 1. V：1 構造物当り修復延べ体積(m3) 2. D4：0.1m3 当りの施工数量 (5) コンクリート設備込・運搬（断面修復工）10m3 当り単価表 <table><tr><td colspan="2"></td><td colspan="2">施工歩掛コード</td><td>WB229220</td></tr><tr><td>名 称</td><td>規 格</td><td>単位</td><td>数量</td><td>摘 要</td></tr><tr><td>普 通 作 業 員</td><td></td><td>人</td><td>1×10/D</td><td>表4.5、表4.6</td></tr><tr><td>ダンプトラック運転</td><td>オンロード・オフロード 4t積載</td><td>日</td><td></td><td>表3.1、表4.7～表4.8</td></tr><tr><td>諸 雑 費</td><td></td><td>式</td><td>1</td><td></td></tr><tr><td>計</td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr></table> (注) D：日当り施工量 (6) 機械運転単価表 <table><tr><td>機 械 名</td><td>規 格</td><td>適用単価表</td><td>指定事項</td></tr><tr><td>ダンプトラック</td><td>オンロード・オフロード 4t積載</td><td>機-22</td><td>運転労務数量→0.89 燃料消費量→19.20 機械損料数量→1.02</td></tr></table> 5. 6. 施工単価入力基準表 現行どおり 次頁へ移動						施工歩掛コード		WB229210	名 称	規 格	単位	数量	摘 要	土 木 一 般 世 話 役		人	V/0.1×D4	表 3.4.4	特 殊 作 業 員		〃	〃	〃	普 通 作 業 員		〃	〃	〃	断 面 修 復 材		m3		式 3.4.1	諸 雑 費		式	1	表 3.4.4.10	計							施工歩掛コード		WB229220	名 称	規 格	単位	数量	摘 要	普 通 作 業 員		人	1×10/D	表4.5、表4.6	ダンプトラック運転	オンロード・オフロード 4t積載	日		表3.1、表4.7～表4.8	諸 雑 費		式	1		計					機 械 名	規 格	適用単価表	指定事項	ダンプトラック	オンロード・オフロード 4t積載	機-22	運転労務数量→0.89 燃料消費量→19.20 機械損料数量→1.02	記載の修正・削除 (歩掛改定に伴う) 記載の修正・削除 (歩掛改定に伴う)
				施工歩掛コード	WB229210	施工単位	構造物																																																																																																							
				施 工 区 分	入 力 条 件																																																																																																									
				各 種	J 1	J 2	J 3																																																																																																							
					鉄筋ケレン・ 鉄筋防錆処理の有無	1 構造物当り 修復延べ体積区分	1 構造物当り 修復延べ体積																																																																																																							
①有り ②無し	①0.1m3未満 ②0.1m3以上	(m3) (実数入力)																																																																																																												
1 構造物と考える場合（例）	1 構造物と考える場合（例）																																																																																																													
上部工又は下部工が分離しているが、一体として橋梁の構造を形成している場合は、1 構造物と考える。	上り線、下り線等、上部工と下部工が分離した構造の場合は、2 構造物と考える。																																																																																																													
上部工 下部工	上部工 下部工																																																																																																													
		施工歩掛コード		WB229210																																																																																																										
名 称	規 格	単位	数量	摘 要																																																																																																										
土 木 一 般 世 話 役		人	V/0.1×D4	表 3.4.4																																																																																																										
特 殊 作 業 員		〃	〃	〃																																																																																																										
普 通 作 業 員		〃	〃	〃																																																																																																										
断 面 修 復 材		m3		式 3.4.1																																																																																																										
諸 雑 費		式	1	表 3.4.4.10																																																																																																										
計																																																																																																														
		施工歩掛コード		WB229220																																																																																																										
名 称	規 格	単位	数量	摘 要																																																																																																										
普 通 作 業 員		人	1×10/D	表4.5、表4.6																																																																																																										
ダンプトラック運転	オンロード・オフロード 4t積載	日		表3.1、表4.7～表4.8																																																																																																										
諸 雑 費		式	1																																																																																																											
計																																																																																																														
機 械 名	規 格	適用単価表	指定事項																																																																																																											
ダンプトラック	オンロード・オフロード 4t積載	機-22	運転労務数量→0.89 燃料消費量→19.20 機械損料数量→1.02																																																																																																											
積算上の注意事項		(控え頁) 6／7																																																																																																												

工 種	構造物補修工(断面修復工(左官工法))
-----	---------------------

改 正 理 由	一部改正	改 正		備 考																																																																																																																																																																		
		現 行																																																																																																																																																																				
現 行		改 正		備 考																																																																																																																																																																		
現行なし		(2) コンクリート装積込・運搬（断面修復工） <table><tr><td>施工歩掛コード</td><td>WB229220</td><td>施工単位</td><td>m3</td></tr><tr><td>施 工 区 分</td><td colspan="3">入 力 条 件</td></tr><tr><td rowspan="3">各 種</td><td>J 1</td><td>J 2～3</td><td>J 4</td></tr><tr><td>DID区間の有無</td><td>運搬距離</td><td>ダンプトラック タイヤ損耗費</td></tr><tr><td>①無し ②有り</td><td>(表6.1)</td><td>①普通 ②良好 ③不良</td></tr></table> 表6.1 運搬距離 <table><tr><td>運搬機種・規格</td><td colspan="8">ダンプトラック オンロード・ディーゼル 4t 積級</td></tr><tr><td colspan="9">J 2 (D I D区間：無し)</td></tr><tr><td>運搬距離(km)</td><td>1.0 以下</td><td>2.0 以下</td><td>3.0 以下</td><td>4.5 以下</td><td>6.0 以下</td><td>7.5 以下</td><td>9.5 以下</td><td>11.5 以下</td></tr><tr><td>入力番号</td><td>①</td><td>②</td><td>③</td><td>④</td><td>⑤</td><td>⑥</td><td>⑦</td><td>⑧</td></tr><tr><td>運搬距離(km)</td><td>14 以下</td><td>16.5 以下</td><td>19 以下</td><td>22 以下</td><td>25 以下</td><td>29 以下</td><td>33 以下</td><td>37.5 以下</td></tr><tr><td>入力番号</td><td>⑨</td><td>⑩</td><td>⑪</td><td>⑫</td><td>⑬</td><td>⑭</td><td>⑮</td><td>⑯</td></tr><tr><td>運搬距離(km)</td><td>42.5 以下</td><td>48 以下</td><td>54 以下</td><td>60 以下</td><td colspan="4"></td></tr><tr><td>入力番号</td><td>⑰</td><td>⑱</td><td>⑲</td><td>⑳</td><td colspan="4"></td></tr><tr><td>運搬機種・規格</td><td colspan="8">ダンプトラック オンロード・ディーゼル 4t 積級</td></tr><tr><td colspan="9">J 3 (D I D区間：有り)</td></tr><tr><td>運搬距離(km)</td><td>1.0 以下</td><td>2.0 以下</td><td>3.0 以下</td><td>4.0 以下</td><td>5.5 以下</td><td>7.0 以下</td><td>8.5 以下</td><td>10 以下</td></tr><tr><td>入力番号</td><td>①</td><td>②</td><td>③</td><td>④</td><td>⑤</td><td>⑥</td><td>⑦</td><td>⑧</td></tr><tr><td>運搬距離(km)</td><td>12 以下</td><td>14 以下</td><td>16.5 以下</td><td>19 以下</td><td>22 以下</td><td>25 以下</td><td>28.5 以下</td><td>32 以下</td></tr><tr><td>入力番号</td><td>⑨</td><td>⑩</td><td>⑪</td><td>⑫</td><td>⑬</td><td>⑭</td><td>⑮</td><td>⑯</td></tr><tr><td>運搬距離(km)</td><td>36 以下</td><td>40.5 以下</td><td>45.5 以下</td><td>51 以下</td><td>57 以下</td><td>60 以下</td><td colspan="2"></td></tr><tr><td>入力番号</td><td>⑰</td><td>⑱</td><td>⑲</td><td>⑳</td><td>㉑</td><td>㉒</td><td colspan="2"></td></tr></table> (注) 運搬距離は片道であり、往路と復路が異なるときは、平均値とする。			施工歩掛コード	WB229220	施工単位	m3	施 工 区 分	入 力 条 件			各 種	J 1	J 2～3	J 4	DID区間の有無	運搬距離	ダンプトラック タイヤ損耗費	①無し ②有り	(表6.1)	①普通 ②良好 ③不良	運搬機種・規格	ダンプトラック オンロード・ディーゼル 4t 積級								J 2 (D I D区間：無し)									運搬距離(km)	1.0 以下	2.0 以下	3.0 以下	4.5 以下	6.0 以下	7.5 以下	9.5 以下	11.5 以下	入力番号	①	②	③	④	⑤	⑥	⑦	⑧	運搬距離(km)	14 以下	16.5 以下	19 以下	22 以下	25 以下	29 以下	33 以下	37.5 以下	入力番号	⑨	⑩	⑪	⑫	⑬	⑭	⑮	⑯	運搬距離(km)	42.5 以下	48 以下	54 以下	60 以下					入力番号	⑰	⑱	⑲	⑳					運搬機種・規格	ダンプトラック オンロード・ディーゼル 4t 積級								J 3 (D I D区間：有り)									運搬距離(km)	1.0 以下	2.0 以下	3.0 以下	4.0 以下	5.5 以下	7.0 以下	8.5 以下	10 以下	入力番号	①	②	③	④	⑤	⑥	⑦	⑧	運搬距離(km)	12 以下	14 以下	16.5 以下	19 以下	22 以下	25 以下	28.5 以下	32 以下	入力番号	⑨	⑩	⑪	⑫	⑬	⑭	⑮	⑯	運搬距離(km)	36 以下	40.5 以下	45.5 以下	51 以下	57 以下	60 以下			入力番号	⑰	⑱	⑲	⑳	㉑	㉒		
施工歩掛コード	WB229220	施工単位	m3																																																																																																																																																																			
施 工 区 分	入 力 条 件																																																																																																																																																																					
各 種	J 1	J 2～3	J 4																																																																																																																																																																			
	DID区間の有無	運搬距離	ダンプトラック タイヤ損耗費																																																																																																																																																																			
	①無し ②有り	(表6.1)	①普通 ②良好 ③不良																																																																																																																																																																			
運搬機種・規格	ダンプトラック オンロード・ディーゼル 4t 積級																																																																																																																																																																					
J 2 (D I D区間：無し)																																																																																																																																																																						
運搬距離(km)	1.0 以下	2.0 以下	3.0 以下	4.5 以下	6.0 以下	7.5 以下	9.5 以下	11.5 以下																																																																																																																																																														
入力番号	①	②	③	④	⑤	⑥	⑦	⑧																																																																																																																																																														
運搬距離(km)	14 以下	16.5 以下	19 以下	22 以下	25 以下	29 以下	33 以下	37.5 以下																																																																																																																																																														
入力番号	⑨	⑩	⑪	⑫	⑬	⑭	⑮	⑯																																																																																																																																																														
運搬距離(km)	42.5 以下	48 以下	54 以下	60 以下																																																																																																																																																																		
入力番号	⑰	⑱	⑲	⑳																																																																																																																																																																		
運搬機種・規格	ダンプトラック オンロード・ディーゼル 4t 積級																																																																																																																																																																					
J 3 (D I D区間：有り)																																																																																																																																																																						
運搬距離(km)	1.0 以下	2.0 以下	3.0 以下	4.0 以下	5.5 以下	7.0 以下	8.5 以下	10 以下																																																																																																																																																														
入力番号	①	②	③	④	⑤	⑥	⑦	⑧																																																																																																																																																														
運搬距離(km)	12 以下	14 以下	16.5 以下	19 以下	22 以下	25 以下	28.5 以下	32 以下																																																																																																																																																														
入力番号	⑨	⑩	⑪	⑫	⑬	⑭	⑮	⑯																																																																																																																																																														
運搬距離(km)	36 以下	40.5 以下	45.5 以下	51 以下	57 以下	60 以下																																																																																																																																																																
入力番号	⑰	⑱	⑲	⑳	㉑	㉒																																																																																																																																																																
【参考】1 構造物について（橋梁）		現行どおり																																																																																																																																																																				
<table><tr><td>1 構造物と考える場合（例）</td><td>1 構造物と考えない場合（例）</td></tr><tr><td>上部工又は下部工が分離しているが、一体として橋梁の構造を形成している場合は、1 構造物と考える。 上部工 下部工 上部工 上部工 下部工 </td><td>上り線、下り線等、上部工と下部工が分離した構造の場合は、2 構造物と考える。 上部工 下部工 上部工 下部工 </td></tr></table>		1 構造物と考える場合（例）	1 構造物と考えない場合（例）		上部工又は下部工が分離しているが、一体として橋梁の構造を形成している場合は、1 構造物と考える。 上部工 下部工 上部工 上部工 下部工	上り線、下り線等、上部工と下部工が分離した構造の場合は、2 構造物と考える。 上部工 下部工 上部工 下部工																																																																																																																																																																
1 構造物と考える場合（例）	1 構造物と考えない場合（例）																																																																																																																																																																					
上部工又は下部工が分離しているが、一体として橋梁の構造を形成している場合は、1 構造物と考える。 上部工 下部工 上部工 上部工 下部工	上り線、下り線等、上部工と下部工が分離した構造の場合は、2 構造物と考える。 上部工 下部工 上部工 下部工																																																																																																																																																																					
積算上の注意事項				(控え頁) 7 / 7																																																																																																																																																																		

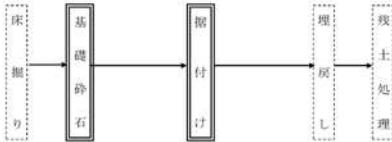
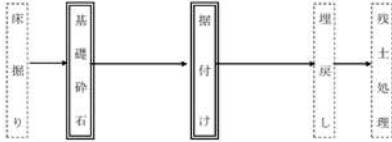
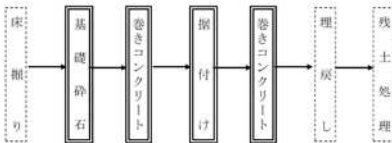
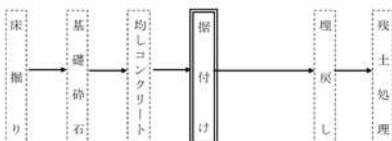
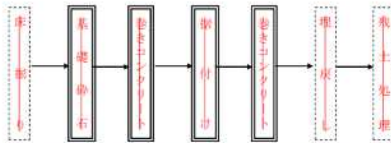
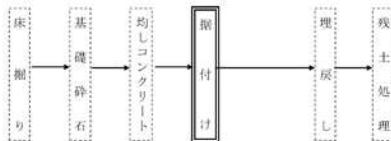
工 種	排水構造物工
-----	--------

改 正 理 由		一部改正		改 正		現 行		備 考					
現 行				改 正				備 考					
⑩ 排水構造物工 ⑩-1 排水構造物工 1. 適 用 範 囲 本資料は、プレキャスト製排水構造物の据付け、撤去、据付け・撤去作業に適用する。 1-1 適用出来る範囲 1-1-1 ヒューム管（B形管） (1) ヒューム管、B形管（ソケット管）の据付け、撤去、据付け・撤去の場合 (2) ヒューム管、B形管（ソケット管）を仮設に使用する場合 1-1-2 ボックスカルバート (1) 1ブロックを1部材で構成するプレキャスト製ボックスカルバート（内空断面が台形タイプの物を含む）の据付け、撤去、据付け・撤去の場合 1-1-3 暗渠排水管 (1) 硬質塩化ビニル管、ポリエチレン管等の有孔・無孔管の据付け、撤去、据付け・撤去の場合 1-1-4 フィルター材 (1) 暗渠排水管の敷設に伴うフィルター材（クラッシュラン・単粒度砕石等）の敷設の場合 1-1-5 管（函）渠型側溝 (1) 車道部、歩道部等の側溝を兼ねた排水構造物の据付け、撤去、据付け・撤去の場合 (2) 製品長が2 m／個以下かつ内径又は内空幅が200mm 以上 400mm 以下の場合 (3) 製品長が2 m／個かつ内径又は内空幅が400mm を超え 600mm 以下の場合 1-1-6 プレキャスト集水桝 (1) プレキャスト製集水桝の据付け、撤去、据付け・撤去の場合 (2) プレキャスト製集水桝の質量（蓋版除く）が50kg／基以上 2,800kg／基以下の場合 1-1-7 鉄筋コンクリート台付管 (1) 管断面の内側の形状が円形又は卵形であって、かつ、管断面の外側の下部もしくは上下部の一部がフラットになっている（管断面の外側の形状が方形もしくは六角形になっているものを含む）プレキャスト製鉄筋コンクリート台付管の据付け、撤去、据付け・撤去の場合 1-1-8 プレキャストL形側溝 (1) プレキャスト製L形側溝の据付け、撤去、据付け・撤去の場合 1-1-9 プレキャストマンホール (1) プレキャスト製マンホールの据付け、撤去、据付け・撤去の場合 (2) プレキャスト製マンホールの内径が1,500mm 以下の場合 1-1-10 P C管 (1) P C管の据付け、撤去、据付け・撤去の場合 (2) P C管を仮設に使用する場合 1-1-11 コルゲートパイプ (1) コルゲートパイプの据付け、撤去、据付け・撤去の場合 (2) コルゲートパイプを仮設に使用する場合 (3) 規格が「フランジ型円形」,「ラップ型円形」の場合 1-1-12 コルゲートフリューム (1) コルゲートフリュームの据付け、撤去、据付け・撤去の場合 (2) コルゲートフリュームを仮設に使用する場合 (3) 規格が「A形」の場合 II-2-⑩-1				現行どおり 1-1-1 ヒューム管（B形管） (1) ヒューム管→（B形管（ソケット管））の据付、撤去、据付・撤去の場合 (2) ヒューム管→（B形管（ソケット管））を仮設に使用する場合 現行どおり 1-1-4 フィルター材 (1) 暗渠排水管の据付に伴うフィルター材（クラッシュラン・単粒度砕石等）の敷設の場合 現行どおり 1-1-7 鉄筋コンクリート台付管 (1) 管断面の内側の形状が円形又は卵形であって、かつ、管断面の外側の下部もしくは上下部の一部が平坦になっている（管断面の外側の形状が方形もしくは六角形になっているものを含む）プレキャスト製鉄筋コンクリート台付管の据付、撤去、据付・撤去の場合 現行どおり 1-1-10 P C管 →(1) P C管の据付け、撤去、据付け・撤去の場合 →(2) P C管を仮設に使用する場合 1-1-10 コルゲートパイプ (1) コルゲートパイプの据付、撤去、据付・撤去の場合 (2) コルゲートパイプを仮設に使用する場合 (3) 規格が「フランジ型円形」,「ラップ型円形」の場合 1-1-11 コルゲートフリューム (1) コルゲートフリュームの据付、撤去、据付・撤去の場合 (2) コルゲートフリュームを仮設に使用する場合 (3) 規格が「A形」の場合				記載の変更 記載の変更 記載の変更 歩掛の廃止					
				積算上の注意事項								(控え頁) 1／19	

工 種	排水構造物工
-----	--------

改 正 理 由		一部改正		改 正		現 行		備 考	
現 行				改 正				備 考	
1-2 適用出来ない範囲 1-2-1 ヒューム管（B形管） （1）巻きコンクリート（固定基礎）を含む撤去、据付け・撤去の場合 1-2-2 ボックスカルバート （1）グラウトを使用しないPCアンボンドケーブル等による施工の場合 （2）製品長 1.0m／個で縦締めを行う場合 （3）曲線部における縦締め施工の場合 （4）コンクリート養生で、特殊な養生を必要とする場合 1-2-3 暗渠排水管 （1）持上げ高が2 m以上の場合 （2）埋設を行わない地上露出配管の敷設の場合 1-2-4 フィルター材 （1）暗渠排水管の敷設を行わない場合 1-2-5 管（函）渠型側溝 （1）土中に全体埋設される場合 （2）内径又は内空幅が 200mm 未満又は 600mm を超える場合 （3）製品長が 2 mを超える場合 1-2-6 プレキャスト集水樹 （1）プレキャスト製集水樹の質量（蓋版除く）が 50kg／基未満及び 2,800kg／基を超える場合 （2）組立式プレキャスト製集水樹の場合 1-2-7 プレキャストマンホール （1）円形断面以外の基礎碎石の場合 1-2-8 PC管 （1）巻きコンクリート（固定基礎）を含む撤去、据付・撤去の場合 （2）管径 1,800mm を超える PC 管の据付、据付・撤去の場合 1-2-9 コルゲートパイプ （1）持上げ高が 2 m以上の場合 （2）規格が「フランジ型円形」、「ラップ型円形」以外の場合 （3）さや管工法（既設管路内設置）を行う場合 1-2-10 コルゲートフリューム （1）持上げ高が 2 m以上の場合 （2）規格が「A形」以外の場合 Ⅱ-2-⑩-2				現行どおり 1-2-2 ボックスカルバート （1）グラウトを使用しないPCアンボンドケーブル等による施工の場合 （2）製品長 1-0m／個で縦締めを行う場合 （3）曲線部における縦締め施工の場合 （4）コンクリート養生で、特殊な養生を必要とする場合 1-2-3 暗渠排水管 （1）人力施工で持上げ高が2 m以上の場合 （2）直管の呼び径 50mm 未満及び 400mm を超える据付、撤去、据付・撤去の場合 （3）波状管の呼び径 50mm 未満及び 1,500mm を超える据付、撤去、据付・撤去の場合 （4）網状管の呼び径 50mm 未満及び 400mm を超える据付、撤去、据付・撤去の場合 （5）埋設を行わない地上露出配管の据付、撤去の場合 1-2-4 フィルター材 （1）暗渠排水管の据付に伴う現場発生土の敷設の場合 （2）暗渠排水管の据付を行わない場合 1-2-5 管（函）渠型側溝 （1）土中に全体埋設される場合 （2）内径又は内空幅が 200mm 未満又は 600mm を超える場合 （3）製品長が 2 m／個を超える場合 1-2-6 プレキャスト集水樹 （1）プレキャスト製集水樹の質量（蓋版除く）が 50kg／基未満及び 2,800kg／基を超える場合 （2）組立式プレキャスト製集水樹の場合 1-2-7 プレキャストマンホール （1）円形断面以外の基礎碎石の場合 1-2-8 PC管 （1）巻きコンクリート（固定基礎）を含む撤去、据付・撤去の場合 （2）管径 1,800mm を超える PC 管の据付、据付・撤去の場合 1-2-8 コルゲートパイプ （1）持上げ高が 2 m以上の場合 （2）規格が「フランジ型円形」、「ラップ型円形」以外の場合 （3）さや管工法（既設管路内設置）を行う場合 1-2-9 コルゲートフリューム （1）持上げ高が 2 m以上の場合 （2）規格が「A形」以外の場合 1-2-10 現場打ちの排水構造物 （1）現場打ちの排水構造物の据付作業の場合				記載の修正・削除 （歩掛改定に伴う）	
積算上の注意事項								（控え頁） 2／19	

工 種	排水構造物工
-----	--------

改 正 理 由	一部改正	改 正		備 考
		現 行	改 正	
	(4) 管 (図) 渠型側溝、プレキャスト集水溝、プレキャストL形側溝、プレキャストマンホール  (注) 1. 本施工パッケージで対応しているのは、二重基礎部分のみである。 2. 基礎砕石は、必要に応じて計上する。 3. プレキャスト集水溝は、蓋版の有無にかかわらず、本施工パッケージを適用出来る。 (5) 鉄筋コンクリート台付管  (注) 1. 本施工パッケージで対応しているのは、二重基礎部分のみである。 2. 基礎砕石の有無にかかわらず、本施工パッケージを適用出来る。 (6) PC管  (注) 1. 本施工パッケージで対応しているのは、二重基礎部分のみである。 2. 巻きコンクリートは、必要に応じて計上する。 3. 基礎砕石の有無にかかわらず、本施工パッケージを適用出来る。 (7) コルゲートパイプ、コルゲートフリューム  (注) 1. 本施工パッケージで対応しているのは、二重基礎部分のみである。 2. 基礎砕石、均しコンクリートは、必要に応じて計上する。 II-2-⑩-4	現行どおり (6) PC管  (注) 1. 本施工パッケージで対応しているのは、二重基礎部分のみである。 2. 巻きコンクリートは、必要に応じて計上する。 3. 基礎砕石の有無にかかわらず、本施工パッケージを適用出来る。 (6) コルゲートパイプ、コルゲートフリューム  (注) 1. 本施工パッケージで対応しているのは、二重基礎部分のみである。 2. 基礎砕石、均しコンクリートは、必要に応じて計上する。	歩掛の廃止 (控え頁) 3 / 19	
積算上の注意事項				

改 正 理 由		一部改正		改 正 現 行		備 考																																																																											
現 行				改 正		備 考																																																																											
(2) 代表機労材規格 下表機労材は、当該施工パッケージで使用されている機労材の代表的な規格である。 <table><tr><th colspan="3">表3.10 ボックスカルバート 代表機労材規格一覧</th></tr><tr><th colspan="2">項目</th><th>備考</th></tr><tr><td rowspan="4">機械</td><td>K 1</td><td>ラフテレーンクレーン〔油圧伸縮ジブ型・低騒音型・排出ガス対策型（2011 年規制）〕 25 t 吊 ・賃料 ・内空高 2.5m 以下の場合 ラフテレーンクレーン〔油圧伸縮ジブ型・低騒音型・排出ガス対策型（第 1 次基準値）〕 50 t 吊 ・賃料 ・内空高 2.5m 超の場合</td></tr><tr><td>K 2</td><td>—</td></tr><tr><td>K 3</td><td>—</td></tr><tr><td colspan="2">労務</td></tr><tr><td>R 1</td><td>普通作業員</td><td></td></tr><tr><td>R 2</td><td>土木一般世話役</td><td></td></tr><tr><td>R 3</td><td>特殊作業員</td><td></td></tr><tr><td>R 4</td><td>—</td><td></td></tr><tr><td rowspan="13">材料</td><td rowspan="13">Z 1</td><td>ボックスカルバート R C B1500×H1500×L1000 T-25 土被り 0.2～3.0m</td><td>作業区分が据付又は据付・撤去で、製品長が1.0m/個で、内空幅・内空高が1.25m<B≤2.5m, 1.25m≤H≤2.5mの場合</td></tr><tr><td>ボックスカルバート R C B3000×H2000×L1000 T-25 土被り 0.2～3.0m</td><td>作業区分が据付又は据付・撤去で、製品長が1.0m/個で、内空幅・内空高が2.5m<B≤3.75m, 1.25m<H≤2.5mの場合</td></tr><tr><td>ボックスカルバート R C B1500×H1000×L1500 T-25 土被り 0.2～3.0m</td><td>作業区分が据付又は据付・撤去で、製品長が1.5m/個で、内空幅・内空高が1.25m<B≤2.5m, 0m<H≤1.25mの場合</td></tr><tr><td>ボックスカルバート R C B1500×H1500×L1500 T-25 土被り 0.2～3.0m</td><td>作業区分が据付又は据付・撤去で、製品長が1.5m/個で、内空幅・内空高が1.25m<B≤2.5m, 1.25m<H≤2.5mの場合</td></tr><tr><td>ボックスカルバート R C B3000×H2000×L1500 T-25 土被り 0.2～3.0m</td><td>作業区分が据付又は据付・撤去で、製品長が1.5m/個で、内空幅・内空高が2.5m<B≤3.75m, 1.25m≤H≤2.5mの場合</td></tr><tr><td>ボックスカルバート R C B3000×H3000×L1500 T-25 土被り 0.2～3.0m</td><td>作業区分が据付又は据付・撤去で、製品長が1.5m/個で、内空幅・内空高が2.5m≤B≤3.75m, 2.5m<H≤3.75mの場合</td></tr><tr><td>ボックスカルバート R C B600×H600×L2000 T-25 土被り 0.2～3.0m</td><td>作業区分が据付又は据付・撤去で、製品長が2.0m/個で、内空幅・内空高が0m<B≤1.25m, 0m<H≤1.25mの場合</td></tr><tr><td>ボックスカルバート R C B1500×H1000×L2000 T-25 土被り 0.2～3.0m</td><td>作業区分が据付又は据付・撤去で、製品長が2.0m/個で、内空幅・内空高が1.25m<B≤2.5m, 0m<H≤1.25mの場合</td></tr><tr><td>ボックスカルバート R C B1000×H1500×L2000 T-25 土被り 0.2～3.0m</td><td>作業区分が据付又は据付・撤去で、製品長が2.0m/個で、内空幅・内空高が0m<B≤1.25m, 1.25m<H≤2.5mの場合</td></tr><tr><td>ボックスカルバート R C B1500×H1500×L2000 T-25 土被り 0.2～3.0m</td><td>作業区分が据付又は据付・撤去で、製品長が2.0m/個で、内空幅・内空高が1.25m<B≤2.5m, 1.25m<H≤2.5mの場合</td></tr><tr><td>Z 2</td><td>—</td><td></td></tr><tr><td>Z 3</td><td>—</td><td></td></tr><tr><td>Z 4</td><td>—</td><td></td></tr><tr><td>市場単価</td><td>S</td><td>—</td><td></td></tr></table> II-2-⑩-11				表3.10 ボックスカルバート 代表機労材規格一覧			項目		備考	機械	K 1	ラフテレーンクレーン〔油圧伸縮ジブ型・低騒音型・排出ガス対策型（2011 年規制）〕 25 t 吊 ・賃料 ・内空高 2.5m 以下の場合 ラフテレーンクレーン〔油圧伸縮ジブ型・低騒音型・排出ガス対策型（第 1 次基準値）〕 50 t 吊 ・賃料 ・内空高 2.5m 超の場合	K 2	—	K 3	—	労務		R 1	普通作業員		R 2	土木一般世話役		R 3	特殊作業員		R 4	—		材料	Z 1	ボックスカルバート R C B1500×H1500×L1000 T-25 土被り 0.2～3.0m	作業区分が据付又は据付・撤去で、製品長が1.0m/個で、内空幅・内空高が1.25m<B≤2.5m, 1.25m≤H≤2.5mの場合	ボックスカルバート R C B3000×H2000×L1000 T-25 土被り 0.2～3.0m	作業区分が据付又は据付・撤去で、製品長が1.0m/個で、内空幅・内空高が2.5m<B≤3.75m, 1.25m<H≤2.5mの場合	ボックスカルバート R C B1500×H1000×L1500 T-25 土被り 0.2～3.0m	作業区分が据付又は据付・撤去で、製品長が1.5m/個で、内空幅・内空高が1.25m<B≤2.5m, 0m<H≤1.25mの場合	ボックスカルバート R C B1500×H1500×L1500 T-25 土被り 0.2～3.0m	作業区分が据付又は据付・撤去で、製品長が1.5m/個で、内空幅・内空高が1.25m<B≤2.5m, 1.25m<H≤2.5mの場合	ボックスカルバート R C B3000×H2000×L1500 T-25 土被り 0.2～3.0m	作業区分が据付又は据付・撤去で、製品長が1.5m/個で、内空幅・内空高が2.5m<B≤3.75m, 1.25m≤H≤2.5mの場合	ボックスカルバート R C B3000×H3000×L1500 T-25 土被り 0.2～3.0m	作業区分が据付又は据付・撤去で、製品長が1.5m/個で、内空幅・内空高が2.5m≤B≤3.75m, 2.5m<H≤3.75mの場合	ボックスカルバート R C B600×H600×L2000 T-25 土被り 0.2～3.0m	作業区分が据付又は据付・撤去で、製品長が2.0m/個で、内空幅・内空高が0m<B≤1.25m, 0m<H≤1.25mの場合	ボックスカルバート R C B1500×H1000×L2000 T-25 土被り 0.2～3.0m	作業区分が据付又は据付・撤去で、製品長が2.0m/個で、内空幅・内空高が1.25m<B≤2.5m, 0m<H≤1.25mの場合	ボックスカルバート R C B1000×H1500×L2000 T-25 土被り 0.2～3.0m	作業区分が据付又は据付・撤去で、製品長が2.0m/個で、内空幅・内空高が0m<B≤1.25m, 1.25m<H≤2.5mの場合	ボックスカルバート R C B1500×H1500×L2000 T-25 土被り 0.2～3.0m	作業区分が据付又は据付・撤去で、製品長が2.0m/個で、内空幅・内空高が1.25m<B≤2.5m, 1.25m<H≤2.5mの場合	Z 2	—		Z 3	—		Z 4	—		市場単価	S	—		(2) 代表機労材規格 下表機労材は、当該施工パッケージで使用されている機労材の代表的な規格である。 <table><tr><th colspan="3">表3.10 ボックスカルバート 代表機労材規格一覧</th></tr><tr><th colspan="2">項目</th><th>備考</th></tr><tr><td rowspan="4">機械</td><td>K 1</td><td>ラフテレーンクレーン〔油圧伸縮ジブ型・低騒音型・排出ガス対策型（2014 年規制）〕 25 t 吊 ・賃料 ・内空高 2.5m 以下の場合 ラフテレーンクレーン〔油圧伸縮ジブ型・低騒音型・排出ガス対策型（2011 年規制）〕 50 t 吊 ・賃料 ・内空高 2.5m 超の場合</td></tr><tr><td>K 2</td><td>—</td></tr><tr><td>K 3</td><td>—</td></tr></table> 現行どおり		表3.10 ボックスカルバート 代表機労材規格一覧			項目		備考	機械	K 1	ラフテレーンクレーン〔油圧伸縮ジブ型・低騒音型・排出ガス対策型（2014 年規制）〕 25 t 吊 ・賃料 ・内空高 2.5m 以下の場合 ラフテレーンクレーン〔油圧伸縮ジブ型・低騒音型・排出ガス対策型（2011 年規制）〕 50 t 吊 ・賃料 ・内空高 2.5m 超の場合	K 2	—	K 3	—	記載の修正・削除 (歩掛改定に伴う)
表3.10 ボックスカルバート 代表機労材規格一覧																																																																																	
項目		備考																																																																															
機械	K 1	ラフテレーンクレーン〔油圧伸縮ジブ型・低騒音型・排出ガス対策型（2011 年規制）〕 25 t 吊 ・賃料 ・内空高 2.5m 以下の場合 ラフテレーンクレーン〔油圧伸縮ジブ型・低騒音型・排出ガス対策型（第 1 次基準値）〕 50 t 吊 ・賃料 ・内空高 2.5m 超の場合																																																																															
	K 2	—																																																																															
	K 3	—																																																																															
	労務																																																																																
R 1	普通作業員																																																																																
R 2	土木一般世話役																																																																																
R 3	特殊作業員																																																																																
R 4	—																																																																																
材料	Z 1	ボックスカルバート R C B1500×H1500×L1000 T-25 土被り 0.2～3.0m	作業区分が据付又は据付・撤去で、製品長が1.0m/個で、内空幅・内空高が1.25m<B≤2.5m, 1.25m≤H≤2.5mの場合																																																																														
		ボックスカルバート R C B3000×H2000×L1000 T-25 土被り 0.2～3.0m	作業区分が据付又は据付・撤去で、製品長が1.0m/個で、内空幅・内空高が2.5m<B≤3.75m, 1.25m<H≤2.5mの場合																																																																														
		ボックスカルバート R C B1500×H1000×L1500 T-25 土被り 0.2～3.0m	作業区分が据付又は据付・撤去で、製品長が1.5m/個で、内空幅・内空高が1.25m<B≤2.5m, 0m<H≤1.25mの場合																																																																														
		ボックスカルバート R C B1500×H1500×L1500 T-25 土被り 0.2～3.0m	作業区分が据付又は据付・撤去で、製品長が1.5m/個で、内空幅・内空高が1.25m<B≤2.5m, 1.25m<H≤2.5mの場合																																																																														
		ボックスカルバート R C B3000×H2000×L1500 T-25 土被り 0.2～3.0m	作業区分が据付又は据付・撤去で、製品長が1.5m/個で、内空幅・内空高が2.5m<B≤3.75m, 1.25m≤H≤2.5mの場合																																																																														
		ボックスカルバート R C B3000×H3000×L1500 T-25 土被り 0.2～3.0m	作業区分が据付又は据付・撤去で、製品長が1.5m/個で、内空幅・内空高が2.5m≤B≤3.75m, 2.5m<H≤3.75mの場合																																																																														
		ボックスカルバート R C B600×H600×L2000 T-25 土被り 0.2～3.0m	作業区分が据付又は据付・撤去で、製品長が2.0m/個で、内空幅・内空高が0m<B≤1.25m, 0m<H≤1.25mの場合																																																																														
		ボックスカルバート R C B1500×H1000×L2000 T-25 土被り 0.2～3.0m	作業区分が据付又は据付・撤去で、製品長が2.0m/個で、内空幅・内空高が1.25m<B≤2.5m, 0m<H≤1.25mの場合																																																																														
		ボックスカルバート R C B1000×H1500×L2000 T-25 土被り 0.2～3.0m	作業区分が据付又は据付・撤去で、製品長が2.0m/個で、内空幅・内空高が0m<B≤1.25m, 1.25m<H≤2.5mの場合																																																																														
		ボックスカルバート R C B1500×H1500×L2000 T-25 土被り 0.2～3.0m	作業区分が据付又は据付・撤去で、製品長が2.0m/個で、内空幅・内空高が1.25m<B≤2.5m, 1.25m<H≤2.5mの場合																																																																														
		Z 2	—																																																																														
		Z 3	—																																																																														
		Z 4	—																																																																														
市場単価	S	—																																																																															
表3.10 ボックスカルバート 代表機労材規格一覧																																																																																	
項目		備考																																																																															
機械	K 1	ラフテレーンクレーン〔油圧伸縮ジブ型・低騒音型・排出ガス対策型（2014 年規制）〕 25 t 吊 ・賃料 ・内空高 2.5m 以下の場合 ラフテレーンクレーン〔油圧伸縮ジブ型・低騒音型・排出ガス対策型（2011 年規制）〕 50 t 吊 ・賃料 ・内空高 2.5m 超の場合																																																																															
	K 2	—																																																																															
	K 3	—																																																																															
	積算上の注意事項				(控え頁) 4／19																																																																												

改 正 理 由		一部改正		改 正		現 行																																																																																																																																			
現 行				改 正				備 考																																																																																																																																	
3－3 暗渠排水管 (1) 条件区分 条件区分は、次表を標準とする。 表3. 11 暗渠排水管 積算条件区分一覧 (積算単位：m) <table><tr><th>作業区分</th><th>管種別</th><th>呼び径</th><th>継手材料費</th></tr><tr><td rowspan="8">据付</td><td rowspan="2">直管</td><td>50 ～ 150mm</td><td rowspan="2">－</td></tr><tr><td>200 ～ 400mm</td></tr><tr><td rowspan="6">波状管及び網状管</td><td>50 ～ 150mm</td><td>要</td></tr><tr><td></td><td>不要</td></tr><tr><td>200 ～ 400mm</td><td>要</td></tr><tr><td></td><td>不要</td></tr><tr><td>450 ～ 600mm</td><td>要</td></tr><tr><td></td><td>不要</td></tr><tr><td rowspan="4">撤去</td><td rowspan="2">直管</td><td>50 ～ 150mm</td><td rowspan="4">－</td></tr><tr><td>200 ～ 400mm</td></tr><tr><td rowspan="2">波状管及び網状管</td><td>50 ～ 150mm</td></tr><tr><td>200 ～ 400mm</td></tr><tr><td rowspan="8">据付・撤去</td><td rowspan="2">直管</td><td>50 ～ 150mm</td><td rowspan="2">－</td></tr><tr><td>200 ～ 400mm</td></tr><tr><td rowspan="6">波状管及び網状管</td><td>50 ～ 150mm</td><td>要</td></tr><tr><td></td><td>不要</td></tr><tr><td>200 ～ 400mm</td><td>要</td></tr><tr><td></td><td>不要</td></tr><tr><td>450 ～ 600mm</td><td>要</td></tr><tr><td></td><td>不要</td></tr></table> (注) 1. 上表は、暗渠排水管（浅層地下排水除去のために行う）の敷設、継手の取付（波状管及び網状管の場合のみ）、運搬距離 100m 程度までの現場内小運搬等、その施工に必要な全ての機械・労務・材料費（損料等を含む）を含む。 2. 暗渠排水管の敷設であり、埋設を行わない地上露出配管の敷設は別途考慮する。 3. 暗渠排水管の切断ロスを含む。（標準ロス率は、＋0. 01） 4. 波状管及び網状管の継手は、形状にかかわらず適用出来る。 5. 継手材料費は継手接合（形状は問わない）の場合であり、継手を必要としない場合及び排水管価格に含む場合は計上しない。 6. 基面整正は含まない。 Ⅱ-2-⑩-12				作業区分	管種別	呼び径	継手材料費	据付	直管	50 ～ 150mm	－	200 ～ 400mm	波状管及び網状管	50 ～ 150mm	要		不要	200 ～ 400mm	要		不要	450 ～ 600mm	要		不要	撤去	直管	50 ～ 150mm	－	200 ～ 400mm	波状管及び網状管	50 ～ 150mm	200 ～ 400mm	据付・撤去	直管	50 ～ 150mm	－	200 ～ 400mm	波状管及び網状管	50 ～ 150mm	要		不要	200 ～ 400mm	要		不要	450 ～ 600mm	要		不要	3－3 暗渠排水管 (1) 条件区分 条件区分は、次表を標準とする。 表3. 11 暗渠排水管 積算条件区分一覧 (積算単位：m) <table><tr><th>作業区分</th><th>管種別</th><th>呼び径</th><th>継手材料費</th></tr><tr><td rowspan="12">据付</td><td rowspan="2">直管</td><td>50 ～ 150mm</td><td rowspan="2">－</td></tr><tr><td>200 ～ 400mm</td></tr><tr><td rowspan="4">波状管及び網状管</td><td>50 ～ 150mm</td><td>要</td></tr><tr><td></td><td>不要</td></tr><tr><td>200 ～ 400mm</td><td>要</td></tr><tr><td></td><td>不要</td></tr><tr><td rowspan="6">波状管</td><td>50 ～ 150mm</td><td>要</td></tr><tr><td></td><td>不要</td></tr><tr><td>200 ～ 400mm</td><td>要</td></tr><tr><td></td><td>不要</td></tr><tr><td>450 ～600mm</td><td>要</td></tr><tr><td></td><td>不要</td></tr><tr><td rowspan="8">撤去</td><td rowspan="2">直管</td><td>50 ～ 150mm</td><td rowspan="8">－</td></tr><tr><td>200 ～ 400mm</td></tr><tr><td rowspan="3">波状管及び網状管</td><td>50 ～ 150mm</td></tr><tr><td></td></tr><tr><td>200 ～ 400mm</td></tr><tr><td rowspan="6">波状管</td><td>50 ～ 150mm</td></tr><tr><td></td></tr><tr><td>200 ～ 400mm</td></tr><tr><td></td></tr><tr><td>450 ～600mm</td></tr><tr><td></td></tr><tr><td rowspan="12">据付・撤去</td><td rowspan="2">直管</td><td>50 ～ 150mm</td><td rowspan="2">－</td></tr><tr><td>200 ～ 400mm</td></tr><tr><td rowspan="3">波状管及び網状管</td><td>50 ～ 150mm</td><td>要</td></tr><tr><td></td><td>不要</td></tr><tr><td>200 ～ 400mm</td><td>要</td></tr><tr><td rowspan="7">波状管</td><td>50 ～ 150mm</td><td>要</td></tr><tr><td></td><td>不要</td></tr><tr><td>200 ～ 400mm</td><td>要</td></tr><tr><td></td><td>不要</td></tr><tr><td>450 ～600mm</td><td>要</td></tr><tr><td></td><td>不要</td></tr><tr><td>700 ～ 1, 000mm</td><td>要</td></tr><tr><td></td><td>不要</td></tr><tr><td>1, 100 ～ 1, 500mm</td><td>要</td></tr><tr><td></td><td>不要</td></tr></table> (注) 1. 上表は、暗渠排水管（浅層地下排水除去のために行う）の据付け、継手の取付け（波状管及び網状管の場合のみ）、運搬距離 60m 程度までの現場内小運搬等、その施工に必要な全ての機械・労務・材料費（損料等を含む）を含む。 2. 暗渠排水管の据付けであり、埋設を行わない地上露出配管の据付けは別途考慮する。 3. 暗渠排水管の切断ロスを含む。（標準ロス率は、＋0. 01） 4. 波状管及び網状管の継手は、形状にかかわらず適用出来る。 5. 継手材料費は継手接合（形状は問わない）の場合であり、継手を必要としない場合及び排水管価格に含む場合は計上しない。 6. 基面整正は含まない。				作業区分	管種別	呼び径	継手材料費	据付	直管	50 ～ 150mm	－	200 ～ 400mm	波状管及び網状管	50 ～ 150mm	要		不要	200 ～ 400mm	要		不要	波状管	50 ～ 150mm	要		不要	200 ～ 400mm	要		不要	450 ～600mm	要		不要	撤去	直管	50 ～ 150mm	－	200 ～ 400mm	波状管及び網状管	50 ～ 150mm		200 ～ 400mm	波状管	50 ～ 150mm		200 ～ 400mm		450 ～600mm		据付・撤去	直管	50 ～ 150mm	－	200 ～ 400mm	波状管及び網状管	50 ～ 150mm	要		不要	200 ～ 400mm	要	波状管	50 ～ 150mm	要		不要	200 ～ 400mm	要		不要	450 ～600mm	要		不要	700 ～ 1, 000mm	要		不要	1, 100 ～ 1, 500mm	要		不要	記載の修正・削除 (歩掛改定に伴う)	
作業区分	管種別	呼び径	継手材料費																																																																																																																																						
据付	直管	50 ～ 150mm	－																																																																																																																																						
		200 ～ 400mm																																																																																																																																							
	波状管及び網状管	50 ～ 150mm	要																																																																																																																																						
			不要																																																																																																																																						
		200 ～ 400mm	要																																																																																																																																						
			不要																																																																																																																																						
		450 ～ 600mm	要																																																																																																																																						
			不要																																																																																																																																						
撤去	直管	50 ～ 150mm	－																																																																																																																																						
		200 ～ 400mm																																																																																																																																							
	波状管及び網状管	50 ～ 150mm																																																																																																																																							
		200 ～ 400mm																																																																																																																																							
据付・撤去	直管	50 ～ 150mm	－																																																																																																																																						
		200 ～ 400mm																																																																																																																																							
	波状管及び網状管	50 ～ 150mm	要																																																																																																																																						
			不要																																																																																																																																						
		200 ～ 400mm	要																																																																																																																																						
			不要																																																																																																																																						
		450 ～ 600mm	要																																																																																																																																						
			不要																																																																																																																																						
作業区分	管種別	呼び径	継手材料費																																																																																																																																						
据付	直管	50 ～ 150mm	－																																																																																																																																						
		200 ～ 400mm																																																																																																																																							
	波状管及び網状管	50 ～ 150mm	要																																																																																																																																						
			不要																																																																																																																																						
		200 ～ 400mm	要																																																																																																																																						
			不要																																																																																																																																						
	波状管	50 ～ 150mm	要																																																																																																																																						
			不要																																																																																																																																						
		200 ～ 400mm	要																																																																																																																																						
			不要																																																																																																																																						
		450 ～600mm	要																																																																																																																																						
			不要																																																																																																																																						
撤去	直管	50 ～ 150mm	－																																																																																																																																						
		200 ～ 400mm																																																																																																																																							
	波状管及び網状管	50 ～ 150mm																																																																																																																																							
		200 ～ 400mm																																																																																																																																							
	波状管	50 ～ 150mm																																																																																																																																							
		200 ～ 400mm																																																																																																																																							
450 ～600mm																																																																																																																																									
据付・撤去	直管	50 ～ 150mm	－																																																																																																																																						
		200 ～ 400mm																																																																																																																																							
	波状管及び網状管	50 ～ 150mm	要																																																																																																																																						
			不要																																																																																																																																						
		200 ～ 400mm	要																																																																																																																																						
	波状管	50 ～ 150mm	要																																																																																																																																						
			不要																																																																																																																																						
		200 ～ 400mm	要																																																																																																																																						
			不要																																																																																																																																						
		450 ～600mm	要																																																																																																																																						
			不要																																																																																																																																						
		700 ～ 1, 000mm	要																																																																																																																																						
	不要																																																																																																																																								
1, 100 ～ 1, 500mm	要																																																																																																																																								
	不要																																																																																																																																								
積算上の注意事項								(控え頁) 5／19																																																																																																																																	

改 正 理 由		一部改正		改 正		現 行		備 考																																																																																																												
(2) 代表機労材規格 下表機労材は、当該施工パッケージで使用されている機労材の代表的な規格である。 表3. 12 暗渠排水管 代表機労材規格一覧 <table><tr><th colspan="2">項目</th><th>代表機労材規格</th><th>備考</th></tr><tr><td rowspan="3">機械</td><td>K 1</td><td>—</td><td></td></tr><tr><td>K 2</td><td>—</td><td></td></tr><tr><td>K 3</td><td>—</td><td></td></tr><tr><td rowspan="4">労務</td><td>R 1</td><td>普通作業員</td><td></td></tr><tr><td>R 2</td><td>土木一般世話役</td><td></td></tr><tr><td>R 3</td><td>—</td><td></td></tr><tr><td>R 4</td><td>—</td><td></td></tr><tr><td rowspan="9">材料</td><td rowspan="2">Z 1</td><td>暗渠排水管 直管 呼び径 75mm ポリエチレン吸水管</td><td>作業区分が据付又は据付・撤去で、管種別が直管、呼び径が 50～150mm の場合</td></tr><tr><td>暗渠排水管 直管 呼び径 300mm ポリエチレン吸水管</td><td>作業区分が据付又は据付・撤去で、管種別が直管、呼び径が 200～400mm の場合</td></tr><tr><td rowspan="3">Z 1</td><td>暗渠排水管 波状管 呼び径 75mm 高密度ポリエチレン管（シングル構造）</td><td>作業区分が据付又は据付・撤去で、管種別が波状管及び網状管、呼び径が 50～150mm の場合</td></tr><tr><td>暗渠排水管 波状管 呼び径 300mm 高密度ポリエチレン管（シングル構造）</td><td>作業区分が据付又は据付・撤去で、管種別が波状管及び網状管、呼び径が 200～400mm の場合</td></tr><tr><td>暗渠排水管 波状管 呼び径 500mm 高密度ポリエチレン管（シングル構造）</td><td>作業区分が据付又は据付・撤去で、管種別が波状管及び網状管、呼び径が 450～600mm の場合</td></tr><tr><td>Z 2</td><td>—</td><td></td></tr><tr><td>Z 3</td><td>—</td><td></td></tr><tr><td>Z 4</td><td>—</td><td></td></tr><tr><td>市場単価</td><td>S</td><td>—</td></tr></table> Ⅱ-2-⑩-13				項目		代表機労材規格	備考	機械	K 1	—		K 2	—		K 3	—		労務	R 1	普通作業員		R 2	土木一般世話役		R 3	—		R 4	—		材料	Z 1	暗渠排水管 直管 呼び径 75mm ポリエチレン吸水管	作業区分が据付又は据付・撤去で、管種別が直管、呼び径が 50～150mm の場合	暗渠排水管 直管 呼び径 300mm ポリエチレン吸水管	作業区分が据付又は据付・撤去で、管種別が直管、呼び径が 200～400mm の場合	Z 1	暗渠排水管 波状管 呼び径 75mm 高密度ポリエチレン管（シングル構造）	作業区分が据付又は据付・撤去で、管種別が波状管及び網状管、呼び径が 50～150mm の場合	暗渠排水管 波状管 呼び径 300mm 高密度ポリエチレン管（シングル構造）	作業区分が据付又は据付・撤去で、管種別が波状管及び網状管、呼び径が 200～400mm の場合	暗渠排水管 波状管 呼び径 500mm 高密度ポリエチレン管（シングル構造）	作業区分が据付又は据付・撤去で、管種別が波状管及び網状管、呼び径が 450～600mm の場合	Z 2	—		Z 3	—		Z 4	—		市場単価	S	—	(2) 代表機労材規格 下表機労材は、当該施工パッケージで使用されている機労材の代表的な規格である。 表3. 12 暗渠排水管 代表機労材規格一覧 <table><tr><th colspan="2">項目</th><th>代表機労材規格</th><th>備考</th></tr><tr><td rowspan="3">機械</td><td>K 1</td><td>バックホウ（クローラ型）〔後方超小旋回型・超低騒音型・クレーン機能付・排出ガス対策型（2014 年規制）〕 山積 0.5m3（平積 0.4m3） 吊能力 2.9t</td><td>管種別が波状管、呼び径が 700～1,500mm の場合</td></tr><tr><td>K 2</td><td>—</td><td></td></tr><tr><td>K 3</td><td>—</td><td></td></tr><tr><td rowspan="4">労務</td><td>R 1</td><td>普通作業員</td><td></td></tr><tr><td>R 2</td><td>土木一般世話役</td><td></td></tr><tr><td>R 3</td><td>特殊作業員</td><td>管種別が波状管、呼び径が 700～1,500mm の場合</td></tr><tr><td>R 4</td><td>運転手（特殊）</td><td>管種別が波状管、呼び径が 700～1,500mm の場合</td></tr><tr><td rowspan="9">材料</td><td rowspan="7">Z 1</td><td>暗渠排水管 直管 呼び径 75mm ポリエチレン吸水管</td><td>作業区分が据付又は据付・撤去で、管種別が直管、呼び径が 50～150mm の場合</td></tr><tr><td>暗渠排水管 直管 呼び径 300mm ポリエチレン吸水管</td><td>作業区分が据付又は据付・撤去で、管種別が直管、呼び径が 200～400mm の場合</td></tr><tr><td>暗渠排水管 波状管 呼び径 75mm 高密度ポリエチレン管（シングル構造）</td><td>作業区分が据付又は据付・撤去で、管種別が波状管及び網状管、呼び径が 50～150mm の場合</td></tr><tr><td>暗渠排水管 波状管 呼び径 300mm 高密度ポリエチレン管（シングル構造）</td><td>作業区分が据付又は据付・撤去で、管種別が波状管及び網状管、呼び径が 200～400mm の場合</td></tr><tr><td>暗渠排水管 波状管 呼び径 500mm 高密度ポリエチレン管（シングル構造）</td><td>作業区分が据付又は据付・撤去で、管種別が波状管及び網状管、呼び径が 450～600mm の場合</td></tr><tr><td>暗渠排水管 波状管 呼び径 800mm 高密度ポリエチレン管（シングル構造）</td><td>作業区分が据付又は据付・撤去で、管種別が波状管、呼び径が 700～1,000mm の場合</td></tr><tr><td>暗渠排水管 波状管 呼び径 1,200mm 高密度ポリエチレン管（ダブル構造）</td><td>作業区分が据付又は据付・撤去で、管種別が波状管、呼び径が 1,100～1,500mm の場合</td></tr><tr><td>Z 2</td><td>軽油 バトロール給油</td><td>管種別が波状管、呼び径が 700～1,500mm の場合</td></tr><tr><td>Z 3</td><td>—</td><td></td></tr><tr><td rowspan="2">市場単価</td><td>Z 4</td><td>—</td><td></td></tr><tr><td>S</td><td>—</td><td></td></tr></table>				項目		代表機労材規格	備考	機械	K 1	バックホウ（クローラ型）〔後方超小旋回型・超低騒音型・クレーン機能付・排出ガス対策型（2014 年規制）〕 山積 0.5m3（平積 0.4m3） 吊能力 2.9t	管種別が波状管、呼び径が 700～1,500mm の場合	K 2	—		K 3	—		労務	R 1	普通作業員		R 2	土木一般世話役		R 3	特殊作業員	管種別が波状管、呼び径が 700～1,500mm の場合	R 4	運転手（特殊）	管種別が波状管、呼び径が 700～1,500mm の場合	材料	Z 1	暗渠排水管 直管 呼び径 75mm ポリエチレン吸水管	作業区分が据付又は据付・撤去で、管種別が直管、呼び径が 50～150mm の場合	暗渠排水管 直管 呼び径 300mm ポリエチレン吸水管	作業区分が据付又は据付・撤去で、管種別が直管、呼び径が 200～400mm の場合	暗渠排水管 波状管 呼び径 75mm 高密度ポリエチレン管（シングル構造）	作業区分が据付又は据付・撤去で、管種別が波状管及び網状管、呼び径が 50～150mm の場合	暗渠排水管 波状管 呼び径 300mm 高密度ポリエチレン管（シングル構造）	作業区分が据付又は据付・撤去で、管種別が波状管及び網状管、呼び径が 200～400mm の場合	暗渠排水管 波状管 呼び径 500mm 高密度ポリエチレン管（シングル構造）	作業区分が据付又は据付・撤去で、管種別が波状管及び網状管、呼び径が 450～600mm の場合	暗渠排水管 波状管 呼び径 800mm 高密度ポリエチレン管（シングル構造）	作業区分が据付又は据付・撤去で、管種別が波状管、呼び径が 700～1,000mm の場合	暗渠排水管 波状管 呼び径 1,200mm 高密度ポリエチレン管（ダブル構造）	作業区分が据付又は据付・撤去で、管種別が波状管、呼び径が 1,100～1,500mm の場合	Z 2	軽油 バトロール給油	管種別が波状管、呼び径が 700～1,500mm の場合	Z 3	—		市場単価	Z 4	—		S	—		記載の修正・削除 (歩掛改定に伴う)
				項目		代表機労材規格	備考																																																																																																													
機械	K 1	—																																																																																																																		
	K 2	—																																																																																																																		
	K 3	—																																																																																																																		
労務	R 1	普通作業員																																																																																																																		
	R 2	土木一般世話役																																																																																																																		
	R 3	—																																																																																																																		
	R 4	—																																																																																																																		
材料	Z 1	暗渠排水管 直管 呼び径 75mm ポリエチレン吸水管	作業区分が据付又は据付・撤去で、管種別が直管、呼び径が 50～150mm の場合																																																																																																																	
		暗渠排水管 直管 呼び径 300mm ポリエチレン吸水管	作業区分が据付又は据付・撤去で、管種別が直管、呼び径が 200～400mm の場合																																																																																																																	
	Z 1	暗渠排水管 波状管 呼び径 75mm 高密度ポリエチレン管（シングル構造）	作業区分が据付又は据付・撤去で、管種別が波状管及び網状管、呼び径が 50～150mm の場合																																																																																																																	
		暗渠排水管 波状管 呼び径 300mm 高密度ポリエチレン管（シングル構造）	作業区分が据付又は据付・撤去で、管種別が波状管及び網状管、呼び径が 200～400mm の場合																																																																																																																	
		暗渠排水管 波状管 呼び径 500mm 高密度ポリエチレン管（シングル構造）	作業区分が据付又は据付・撤去で、管種別が波状管及び網状管、呼び径が 450～600mm の場合																																																																																																																	
	Z 2	—																																																																																																																		
	Z 3	—																																																																																																																		
	Z 4	—																																																																																																																		
	市場単価	S	—																																																																																																																	
項目		代表機労材規格	備考																																																																																																																	
機械	K 1	バックホウ（クローラ型）〔後方超小旋回型・超低騒音型・クレーン機能付・排出ガス対策型（2014 年規制）〕 山積 0.5m3（平積 0.4m3） 吊能力 2.9t	管種別が波状管、呼び径が 700～1,500mm の場合																																																																																																																	
	K 2	—																																																																																																																		
	K 3	—																																																																																																																		
労務	R 1	普通作業員																																																																																																																		
	R 2	土木一般世話役																																																																																																																		
	R 3	特殊作業員	管種別が波状管、呼び径が 700～1,500mm の場合																																																																																																																	
	R 4	運転手（特殊）	管種別が波状管、呼び径が 700～1,500mm の場合																																																																																																																	
材料	Z 1	暗渠排水管 直管 呼び径 75mm ポリエチレン吸水管	作業区分が据付又は据付・撤去で、管種別が直管、呼び径が 50～150mm の場合																																																																																																																	
		暗渠排水管 直管 呼び径 300mm ポリエチレン吸水管	作業区分が据付又は据付・撤去で、管種別が直管、呼び径が 200～400mm の場合																																																																																																																	
		暗渠排水管 波状管 呼び径 75mm 高密度ポリエチレン管（シングル構造）	作業区分が据付又は据付・撤去で、管種別が波状管及び網状管、呼び径が 50～150mm の場合																																																																																																																	
		暗渠排水管 波状管 呼び径 300mm 高密度ポリエチレン管（シングル構造）	作業区分が据付又は据付・撤去で、管種別が波状管及び網状管、呼び径が 200～400mm の場合																																																																																																																	
		暗渠排水管 波状管 呼び径 500mm 高密度ポリエチレン管（シングル構造）	作業区分が据付又は据付・撤去で、管種別が波状管及び網状管、呼び径が 450～600mm の場合																																																																																																																	
		暗渠排水管 波状管 呼び径 800mm 高密度ポリエチレン管（シングル構造）	作業区分が据付又は据付・撤去で、管種別が波状管、呼び径が 700～1,000mm の場合																																																																																																																	
		暗渠排水管 波状管 呼び径 1,200mm 高密度ポリエチレン管（ダブル構造）	作業区分が据付又は据付・撤去で、管種別が波状管、呼び径が 1,100～1,500mm の場合																																																																																																																	
	Z 2	軽油 バトロール給油	管種別が波状管、呼び径が 700～1,500mm の場合																																																																																																																	
	Z 3	—																																																																																																																		
市場単価	Z 4	—																																																																																																																		
	S	—																																																																																																																		
積算上の注意事項				(控え頁) 6／19																																																																																																																

改 正 理 由		一部改正		改 正		現 行		備 考																																																																																									
3－4 フィルター材 (1) 条件区分 条件区分は、次表を標準とする。				3－4 フィルター材 (1) 条件区分 条件区分は、次表を標準とする。				記載の変更																																																																																									
表3. 13 フィルター材 積算条件区分一覧 (積算単位：m3)				表3. 13 フィルター材 積算条件区分一覧 (積算単位：m3)																																																																																													
<table><tr><th colspan="2">フィルター材の種類</th></tr><tr><td>クラッシュラン</td><td>C 80</td></tr><tr><td>〃</td><td>C 40</td></tr><tr><td>〃</td><td>C 30</td></tr><tr><td>粒度調整砕石</td><td>M 40</td></tr><tr><td>〃</td><td>M 30</td></tr><tr><td>〃</td><td>M 25</td></tr><tr><td>コンクリート用骨材 砕石</td><td>40-5</td></tr><tr><td>単粒度砕石 4号</td><td>30-20</td></tr><tr><td>再生クラッシュラン</td><td>RC 80</td></tr><tr><td>〃</td><td>RC 40</td></tr><tr><td>〃</td><td>RC 30</td></tr><tr><td>各 種</td><td></td></tr></table>				フィルター材の種類		クラッシュラン	C 80			〃	C 40	〃	C 30	粒度調整砕石	M 40	〃	M 30	〃	M 25	コンクリート用骨材 砕石	40-5	単粒度砕石 4号	30-20	再生クラッシュラン	RC 80	〃	RC 40	〃	RC 30	各 種		<table><tr><th colspan="2">フィルター材の種類</th></tr><tr><td>クラッシュラン</td><td>C-80</td></tr><tr><td>〃</td><td>C-40</td></tr><tr><td>〃</td><td>C-30</td></tr><tr><td>粒度調整砕石</td><td>M-40</td></tr><tr><td>〃</td><td>M-30</td></tr><tr><td>〃</td><td>M-25</td></tr><tr><td>コンクリート用骨材 砕石</td><td>40-5</td></tr><tr><td>単粒度砕石 4号</td><td>30-20</td></tr><tr><td>再生クラッシュラン</td><td>RC-80</td></tr><tr><td>〃</td><td>RC-40</td></tr><tr><td>〃</td><td>RC-30</td></tr><tr><td>各 種</td><td></td></tr></table>				フィルター材の種類		クラッシュラン	C-80	〃	C-40	〃	C-30	粒度調整砕石	M-40	〃	M-30	〃	M-25	コンクリート用骨材 砕石	40-5	単粒度砕石 4号	30-20	再生クラッシュラン	RC-80	〃	RC-40	〃	RC-30	各 種																																					
フィルター材の種類																																																																																																	
クラッシュラン	C 80																																																																																																
〃	C 40																																																																																																
〃	C 30																																																																																																
粒度調整砕石	M 40																																																																																																
〃	M 30																																																																																																
〃	M 25																																																																																																
コンクリート用骨材 砕石	40-5																																																																																																
単粒度砕石 4号	30-20																																																																																																
再生クラッシュラン	RC 80																																																																																																
〃	RC 40																																																																																																
〃	RC 30																																																																																																
各 種																																																																																																	
フィルター材の種類																																																																																																	
クラッシュラン	C-80																																																																																																
〃	C-40																																																																																																
〃	C-30																																																																																																
粒度調整砕石	M-40																																																																																																
〃	M-30																																																																																																
〃	M-25																																																																																																
コンクリート用骨材 砕石	40-5																																																																																																
単粒度砕石 4号	30-20																																																																																																
再生クラッシュラン	RC-80																																																																																																
〃	RC-40																																																																																																
〃	RC-30																																																																																																
各 種																																																																																																	
(注) 1. 上表は、暗渠排水管敷設に伴うフィルター材（クラッシュラン及び単粒度砕石等）の設置、締固め、運搬距離 30m程度までの現場内小運搬等、その施工に必要な全ての機械・労務・材料費（損料等を含む）を含む。 2. フィルター材の材料ロスを含む。(標準ロス率は、+0.20) 3. 基面整正は含まない。				(注) 1. 上表は、暗渠排水管据付に伴うフィルター材（クラッシュラン・単粒度砕石・砂等）の設置、締固め、運搬距離 70m程度までの現場内小運搬等、その施工に必要な全ての機械・労務・材料費（損料等を含む）を含む。 2. フィルター材の材料ロスを含む。(標準ロス率は、+0.20) 3. 基面整正は含まない。																																																																																													
(2) 代表機労材規格 下表機労材は、当該施工パッケージで使用されている機労材の代表的な規格である。				(2) 代表機労材規格 下表機労材は、当該施工パッケージで使用されている機労材の代表的な規格である。				記載の修正・削除 (歩掛改定に伴う)																																																																																									
表3. 14 フィルター材 代表機労材規格一覧				表3. 14 フィルター材 代表機労材規格一覧																																																																																													
<table><tr><th colspan="2">項目</th><th>代表機労材規格</th><th>備考</th></tr><tr><td rowspan="3">機械</td><td>K 1</td><td>バックホウ（クローラ型）〔標準型・排出ガス対策型（第1次基準値）〕 山積 0.45m3（平積 0.35m3）</td><td></td></tr><tr><td>K 2</td><td>－</td><td></td></tr><tr><td>K 3</td><td>－</td><td></td></tr><tr><td rowspan="4">労務</td><td>R 1</td><td>普通作業員</td><td></td></tr><tr><td>R 2</td><td>土木一般世話役</td><td></td></tr><tr><td>R 3</td><td>運転手（特殊）</td><td></td></tr><tr><td>R 4</td><td>特殊作業員</td><td></td></tr><tr><td rowspan="4">材料</td><td>Z 1</td><td>再生クラッシュラン RC-40</td><td></td></tr><tr><td>Z 2</td><td>軽油 バトロール給油</td><td></td></tr><tr><td>Z 3</td><td>－</td><td></td></tr><tr><td>Z 4</td><td>－</td><td></td></tr><tr><td>市場単価</td><td>S</td><td>－</td><td></td></tr></table>				項目		代表機労材規格	備考			機械	K 1	バックホウ（クローラ型）〔標準型・排出ガス対策型（第1次基準値）〕 山積 0.45m3（平積 0.35m3）		K 2	－		K 3	－		労務	R 1	普通作業員		R 2	土木一般世話役		R 3	運転手（特殊）		R 4	特殊作業員		材料	Z 1	再生クラッシュラン RC-40		Z 2	軽油 バトロール給油		Z 3	－		Z 4	－		市場単価	S	－		<table><tr><th colspan="2">項目</th><th>代表機労材規格</th><th>備考</th></tr><tr><td rowspan="3">機械</td><td>K 1</td><td>バックホウ（クローラ型）〔後方超小旋回型・超低騒音型・クレーン機能付・排出ガス対策型（2014 年規制）〕 山積 0.5m3（平積 0.4m3） 吊能力 2.9t</td><td></td></tr><tr><td>K 2</td><td>－</td><td></td></tr><tr><td>K 3</td><td>－</td><td></td></tr><tr><td rowspan="4">労務</td><td>R 1</td><td>普通作業員</td><td></td></tr><tr><td>R 2</td><td>土木一般世話役</td><td></td></tr><tr><td>R 3</td><td>運転手（特殊）</td><td></td></tr><tr><td>R 4</td><td>特殊作業員</td><td></td></tr><tr><td rowspan="4">材料</td><td>Z 1</td><td>再生クラッシュラン RC-40</td><td></td></tr><tr><td>Z 2</td><td>軽油 バトロール給油</td><td></td></tr><tr><td>Z 3</td><td>－</td><td></td></tr><tr><td>Z 4</td><td>－</td><td></td></tr><tr><td>市場単価</td><td>S</td><td>－</td><td></td></tr></table>				項目		代表機労材規格	備考	機械	K 1	バックホウ（クローラ型）〔後方超小旋回型・超低騒音型・クレーン機能付・排出ガス対策型（2014 年規制）〕 山積 0.5m3（平積 0.4m3） 吊能力 2.9t		K 2	－		K 3	－		労務	R 1	普通作業員		R 2	土木一般世話役		R 3	運転手（特殊）		R 4	特殊作業員		材料	Z 1	再生クラッシュラン RC-40		Z 2	軽油 バトロール給油		Z 3	－		Z 4	－		市場単価	S	－	
項目		代表機労材規格	備考																																																																																														
機械	K 1	バックホウ（クローラ型）〔標準型・排出ガス対策型（第1次基準値）〕 山積 0.45m3（平積 0.35m3）																																																																																															
	K 2	－																																																																																															
	K 3	－																																																																																															
労務	R 1	普通作業員																																																																																															
	R 2	土木一般世話役																																																																																															
	R 3	運転手（特殊）																																																																																															
	R 4	特殊作業員																																																																																															
材料	Z 1	再生クラッシュラン RC-40																																																																																															
	Z 2	軽油 バトロール給油																																																																																															
	Z 3	－																																																																																															
	Z 4	－																																																																																															
市場単価	S	－																																																																																															
項目		代表機労材規格	備考																																																																																														
機械	K 1	バックホウ（クローラ型）〔後方超小旋回型・超低騒音型・クレーン機能付・排出ガス対策型（2014 年規制）〕 山積 0.5m3（平積 0.4m3） 吊能力 2.9t																																																																																															
	K 2	－																																																																																															
	K 3	－																																																																																															
労務	R 1	普通作業員																																																																																															
	R 2	土木一般世話役																																																																																															
	R 3	運転手（特殊）																																																																																															
	R 4	特殊作業員																																																																																															
材料	Z 1	再生クラッシュラン RC-40																																																																																															
	Z 2	軽油 バトロール給油																																																																																															
	Z 3	－																																																																																															
	Z 4	－																																																																																															
市場単価	S	－																																																																																															
Ⅱ-2-⑩-14																																																																																																	
積算上の注意事項		(控え頁)																																																																																															
		7／19																																																																																															

工 種	排水構造物工
-----	--------

改 正 理 由		一部改正		改 正		現 行																																																																																																															
現 行				改 正				備 考																																																																																																													
3－5 管（面）渠型側溝 （１）条件区分 条件区分は、次表を標準とする。 表3. 15 管（面）渠型側溝 積算条件区分一覧 (積算単位：m) <table><tr><th>作業区分</th><th>内径又は内空幅(mm)</th><th>基礎碎石の有無</th></tr><tr><td rowspan="3">据付</td><td>200mm 以上 300mm以下</td><td rowspan="3">(表3. 4)</td></tr><tr><td>300mmを超え 400mm以下</td></tr><tr><td>400mmを超え600mm以下</td></tr><tr><td rowspan="3">撤去</td><td>200mm 以上 300mm以下</td><td rowspan="3">－</td></tr><tr><td>300mmを超え 400mm以下</td></tr><tr><td>400mmを超え600mm以下</td></tr><tr><td rowspan="3">据付・撤去</td><td>200mm 以上 300mm以下</td><td rowspan="3">(表3. 4)</td></tr><tr><td>300mmを超え 400mm以下</td></tr><tr><td>400mmを超え600mm以下</td></tr></table> (注) １. 上表は、プレキャスト製管（面）渠型側溝の設置、基礎材、運搬距離 30m程度までの現場内小運搬の他、コンクリートカット運転経費、目地モルタル、敷モルタルの費用、カットブレードの消耗費等、その施工に必要な全ての機械・労務・材料費（損料等を含む）を含む。 ２. 基礎碎石の敷均し厚は、20 ㎜以下を標準としており、これにより難しい場合は別途考慮する。 ３. 撤去作業の場合、基礎碎石は含まない。 ４. 基礎碎石は、材料の種別・規格にかかわらず適用出来る。 ５. 基面整正は含まない。 （２）代表機労材規格 下表機労材は、当該施工パッケージで使用されている機労材の代表的な規格である。 表3. 16 管（面）渠型側溝 代表機労材規格一覧 <table><tr><th colspan="2">項目</th><th>代表機労材規格</th><th>備考</th></tr><tr><td rowspan="4">機械</td><td rowspan="4">K 1</td><td>バックホウ（クローラ型）〔標準型・クレーン機能付・排出ガス対策型（第 3 次基準値）〕 山積 0. 28m3（平積 0. 2m3）吊能力 1. 7t</td><td>・賃料 ・内径又は内空幅が 200mm 以上 400mm 以下の場合</td></tr><tr><td>バックホウ（クローラ型）〔標準型・クレーン機能付・排出ガス対策型（第 2 次基準値）〕 山積 0. 45m3（平積 0. 35m3）吊能力 2. 9t</td><td>・賃料 ・内径又は内空幅が 400mm を超え 600mm 以下の場合</td></tr><tr><td>K 2</td><td>－</td></tr><tr><td>K 3</td><td>－</td></tr><tr><td rowspan="4">労務</td><td rowspan="4">R 1</td><td>普通作業員</td><td></td></tr><tr><td>R 2</td><td>土木一般世話役</td></tr><tr><td>R 3</td><td>特殊作業員</td></tr><tr><td>R 4</td><td>運転手（特殊）</td></tr><tr><td rowspan="6">材料</td><td rowspan="3">Z 1</td><td>円形側溝 縦断用 内径 250mm T-25</td><td>作業区分が据付又は据付・撤去で、内径又は内空幅が 200mm 以上 300mm 以下の場合</td></tr><tr><td>円形側溝 縦断用 内径 350mm T-25</td><td>作業区分が据付又は据付・撤去で、内径又は内空幅が 300mm を超え 400mm 以下の場合</td></tr><tr><td>円形側溝 縦断用 内径 500mm T-25</td><td>作業区分が据付又は据付・撤去で、内径又は内空幅が 400mm を超え 600mm 以下の場合</td></tr><tr><td>Z 2</td><td>軽油 バトロール給油</td><td></td></tr><tr><td>Z 3</td><td>－</td><td></td></tr><tr><td>Z 4</td><td>－</td><td></td></tr><tr><td>市場単価</td><td>S</td><td>－</td><td></td></tr></table> Ⅱ-2-㉑-15				作業区分	内径又は内空幅(mm)	基礎碎石の有無	据付	200mm 以上 300mm以下	(表3. 4)	300mmを超え 400mm以下	400mmを超え600mm以下	撤去	200mm 以上 300mm以下	－	300mmを超え 400mm以下	400mmを超え600mm以下	据付・撤去	200mm 以上 300mm以下	(表3. 4)	300mmを超え 400mm以下	400mmを超え600mm以下	項目		代表機労材規格	備考	機械	K 1	バックホウ（クローラ型）〔標準型・クレーン機能付・排出ガス対策型（第 3 次基準値）〕 山積 0. 28m3（平積 0. 2m3）吊能力 1. 7t	・賃料 ・内径又は内空幅が 200mm 以上 400mm 以下の場合	バックホウ（クローラ型）〔標準型・クレーン機能付・排出ガス対策型（第 2 次基準値）〕 山積 0. 45m3（平積 0. 35m3）吊能力 2. 9t	・賃料 ・内径又は内空幅が 400mm を超え 600mm 以下の場合	K 2	－	K 3	－	労務	R 1	普通作業員		R 2	土木一般世話役	R 3	特殊作業員	R 4	運転手（特殊）	材料	Z 1	円形側溝 縦断用 内径 250mm T-25	作業区分が据付又は据付・撤去で、内径又は内空幅が 200mm 以上 300mm 以下の場合	円形側溝 縦断用 内径 350mm T-25	作業区分が据付又は据付・撤去で、内径又は内空幅が 300mm を超え 400mm 以下の場合	円形側溝 縦断用 内径 500mm T-25	作業区分が据付又は据付・撤去で、内径又は内空幅が 400mm を超え 600mm 以下の場合	Z 2	軽油 バトロール給油		Z 3	－		Z 4	－		市場単価	S	－		現行どおり 表3. 16 管（面）渠型側溝 代表機労材規格一覧 <table><tr><th colspan="2">項目</th><th>代表機労材規格</th><th>備考</th></tr><tr><td rowspan="4">機械</td><td rowspan="4">K 1</td><td>バックホウ（クローラ型）〔標準型・超低騒音型・クレーン機能付・排出ガス対策型（2014 年規制）〕 山積 0. 28m3（平積 0. 2m3）吊能力 1. 7t</td><td>・賃料 ・内径又は内空幅が 200mm 以上 400mm 以下の場合</td></tr><tr><td>バックホウ（クローラ型）〔標準型・超低騒音型・クレーン機能付・排出ガス対策型（2014 年規制）〕 山積 0. 5m3（平積 0. 4m3）吊能力 2. 9t</td><td>・賃料 ・内径又は内空幅が 400mm を超え 600mm 以下の場合</td></tr><tr><td>K 2</td><td>－</td></tr><tr><td>K 3</td><td>－</td></tr><tr><td rowspan="4">労務</td><td rowspan="4">R 1</td><td>普通作業員</td><td></td></tr><tr><td>R 2</td><td>土木一般世話役</td></tr><tr><td>R 3</td><td>特殊作業員</td></tr><tr><td>R 4</td><td>運転手（特殊）</td></tr><tr><td rowspan="6">材料</td><td rowspan="3">Z 1</td><td>円形側溝 縦断用 内径 250mm T-25</td><td>作業区分が据付又は据付・撤去で、内径又は内空幅が 200mm 以上 300mm 以下の場合</td></tr><tr><td>円形側溝 縦断用 内径 350mm T-25</td><td>作業区分が据付又は据付・撤去で、内径又は内空幅が 300mm を超え 400mm 以下の場合</td></tr><tr><td>円形側溝 縦断用 内径 500mm T-25</td><td>作業区分が据付又は据付・撤去で、内径又は内空幅が 400mm を超え 600mm 以下の場合</td></tr><tr><td>Z 2</td><td>軽油 バトロール給油</td><td></td></tr><tr><td>Z 3</td><td>－</td><td></td></tr><tr><td>Z 4</td><td>－</td><td></td></tr><tr><td>市場単価</td><td>S</td><td>－</td><td></td></tr></table>				項目		代表機労材規格	備考	機械	K 1	バックホウ（クローラ型）〔標準型・ 超低騒音型 ・クレーン機能付・排出ガス対策型（2014 年 規制 ）〕 山積 0. 28m3（平積 0. 2m3）吊能力 1. 7t	・賃料 ・内径又は内空幅が 200mm 以上 400mm 以下の場合	バックホウ（クローラ型）〔標準型・ 超低騒音型 ・クレーン機能付・排出ガス対策型（2014 年 規制 ）〕 山積 0. 5m3（平積 0. 4m3）吊能力 2. 9t	・賃料 ・内径又は内空幅が 400mm を超え 600mm 以下の場合	K 2	－	K 3	－	労務	R 1	普通作業員		R 2	土木一般世話役	R 3	特殊作業員	R 4	運転手（特殊）	材料	Z 1	円形側溝 縦断用 内径 250mm T-25	作業区分が据付又は据付・撤去で、内径又は内空幅が 200mm 以上 300mm 以下の場合	円形側溝 縦断用 内径 350mm T-25	作業区分が据付又は据付・撤去で、内径又は内空幅が 300mm を超え 400mm 以下の場合	円形側溝 縦断用 内径 500mm T-25	作業区分が据付又は据付・撤去で、内径又は内空幅が 400mm を超え 600mm 以下の場合	Z 2	軽油 バトロール給油		Z 3	－		Z 4	－		市場単価	S	－		記載の修正・削除 (歩掛改定に伴う)	
作業区分	内径又は内空幅(mm)	基礎碎石の有無																																																																																																																			
据付	200mm 以上 300mm以下	(表3. 4)																																																																																																																			
	300mmを超え 400mm以下																																																																																																																				
	400mmを超え600mm以下																																																																																																																				
撤去	200mm 以上 300mm以下	－																																																																																																																			
	300mmを超え 400mm以下																																																																																																																				
	400mmを超え600mm以下																																																																																																																				
据付・撤去	200mm 以上 300mm以下	(表3. 4)																																																																																																																			
	300mmを超え 400mm以下																																																																																																																				
	400mmを超え600mm以下																																																																																																																				
項目		代表機労材規格	備考																																																																																																																		
機械	K 1	バックホウ（クローラ型）〔標準型・クレーン機能付・排出ガス対策型（第 3 次基準値）〕 山積 0. 28m3（平積 0. 2m3）吊能力 1. 7t	・賃料 ・内径又は内空幅が 200mm 以上 400mm 以下の場合																																																																																																																		
		バックホウ（クローラ型）〔標準型・クレーン機能付・排出ガス対策型（第 2 次基準値）〕 山積 0. 45m3（平積 0. 35m3）吊能力 2. 9t	・賃料 ・内径又は内空幅が 400mm を超え 600mm 以下の場合																																																																																																																		
		K 2	－																																																																																																																		
		K 3	－																																																																																																																		
労務	R 1	普通作業員																																																																																																																			
		R 2	土木一般世話役																																																																																																																		
		R 3	特殊作業員																																																																																																																		
		R 4	運転手（特殊）																																																																																																																		
材料	Z 1	円形側溝 縦断用 内径 250mm T-25	作業区分が据付又は据付・撤去で、内径又は内空幅が 200mm 以上 300mm 以下の場合																																																																																																																		
		円形側溝 縦断用 内径 350mm T-25	作業区分が据付又は据付・撤去で、内径又は内空幅が 300mm を超え 400mm 以下の場合																																																																																																																		
		円形側溝 縦断用 内径 500mm T-25	作業区分が据付又は据付・撤去で、内径又は内空幅が 400mm を超え 600mm 以下の場合																																																																																																																		
	Z 2	軽油 バトロール給油																																																																																																																			
	Z 3	－																																																																																																																			
	Z 4	－																																																																																																																			
市場単価	S	－																																																																																																																			
項目		代表機労材規格	備考																																																																																																																		
機械	K 1	バックホウ（クローラ型）〔標準型・ 超低騒音型 ・クレーン機能付・排出ガス対策型（2014 年 規制 ）〕 山積 0. 28m3（平積 0. 2m3）吊能力 1. 7t	・賃料 ・内径又は内空幅が 200mm 以上 400mm 以下の場合																																																																																																																		
		バックホウ（クローラ型）〔標準型・ 超低騒音型 ・クレーン機能付・排出ガス対策型（2014 年 規制 ）〕 山積 0. 5m3（平積 0. 4m3）吊能力 2. 9t	・賃料 ・内径又は内空幅が 400mm を超え 600mm 以下の場合																																																																																																																		
		K 2	－																																																																																																																		
		K 3	－																																																																																																																		
労務	R 1	普通作業員																																																																																																																			
		R 2	土木一般世話役																																																																																																																		
		R 3	特殊作業員																																																																																																																		
		R 4	運転手（特殊）																																																																																																																		
材料	Z 1	円形側溝 縦断用 内径 250mm T-25	作業区分が据付又は据付・撤去で、内径又は内空幅が 200mm 以上 300mm 以下の場合																																																																																																																		
		円形側溝 縦断用 内径 350mm T-25	作業区分が据付又は据付・撤去で、内径又は内空幅が 300mm を超え 400mm 以下の場合																																																																																																																		
		円形側溝 縦断用 内径 500mm T-25	作業区分が据付又は据付・撤去で、内径又は内空幅が 400mm を超え 600mm 以下の場合																																																																																																																		
	Z 2	軽油 バトロール給油																																																																																																																			
	Z 3	－																																																																																																																			
	Z 4	－																																																																																																																			
市場単価	S	－																																																																																																																			
積算上の注意事項								(控え頁) 8／19																																																																																																													

改 正 理 由		一部改正		改 正		現 行																																																																																																							
現 行				改 正				備 考																																																																																																					
（２）代表機労材規格 下表機労材は、当該施工パッケージで使用されている機労材の代表的な規格である。 <table><caption>表3. 19 プレキャスト集水樹 代表機労材規格一覧</caption><tr><th colspan="2">項目</th><th>代表機労材規格</th><th>備考</th></tr><tr><td rowspan="4">機械</td><td rowspan="2">K 1</td><td>バックホウ（クローラ型）〔標準型・クレーン機能付・排出ガス対策型（第3次基準値）〕 山積 0.28m3（平積 0.2m3）吊能力 1.7t</td><td>・賃料 ・製品質量が 1,200kg/基以下の 場合</td></tr><tr><td>バックホウ（クローラ型）〔標準型・クレーン機能付・排出ガス対策型（第3次基準値）〕 山積 0.45m3（平積 0.35m3）吊能力 2.9t</td><td>・賃料 ・製品質量が 1,200kg/基超えの 場合</td></tr><tr><td>K 2</td><td>—</td><td></td></tr><tr><td>K 3</td><td>—</td><td></td></tr><tr><td rowspan="5">労務</td><td rowspan="2">R 1</td><td>運転手（特殊）</td><td>製品質量が 800kg/基以下の場合</td></tr><tr><td>普通作業員</td><td>製品質量が 800kg/基超えの場合</td></tr><tr><td rowspan="2">R 2</td><td>普通作業員</td><td>製品質量が 800kg/基以下の場合</td></tr><tr><td>運転手（特殊）</td><td>製品質量が 800kg/基超えの場合</td></tr><tr><td>R 3</td><td>土木一般世話役</td><td></td></tr><tr><td>R 4</td><td>特殊作業員</td><td></td></tr><tr><td rowspan="4">材料</td><td>Z 1</td><td>軽油 バトロール給油</td><td></td></tr><tr><td>Z 2</td><td>—</td><td></td></tr><tr><td>Z 3</td><td>—</td><td></td></tr><tr><td>Z 4</td><td>—</td><td></td></tr><tr><td>市場単価</td><td>S</td><td>—</td><td></td></tr></table>				項目		代表機労材規格	備考	機械	K 1	バックホウ（クローラ型）〔標準型・クレーン機能付・排出ガス対策型（第3次基準値）〕 山積 0.28m3（平積 0.2m3）吊能力 1.7t	・賃料 ・製品質量が 1,200kg/基以下の 場合	バックホウ（クローラ型）〔標準型・クレーン機能付・排出ガス対策型（第3次基準値）〕 山積 0.45m3（平積 0.35m3）吊能力 2.9t	・賃料 ・製品質量が 1,200kg/基超えの 場合	K 2	—		K 3	—		労務	R 1	運転手（特殊）	製品質量が 800kg/基以下の場合	普通作業員	製品質量が 800kg/基超えの場合	R 2	普通作業員	製品質量が 800kg/基以下の場合	運転手（特殊）	製品質量が 800kg/基超えの場合	R 3	土木一般世話役		R 4	特殊作業員		材料	Z 1	軽油 バトロール給油		Z 2	—		Z 3	—		Z 4	—		市場単価	S	—		（２）代表機労材規格 下表機労材は、当該施工パッケージで使用されている機労材の代表的な規格である。 <table><caption>表3. 19 プレキャスト集水樹 代表機労材規格一覧</caption><tr><th colspan="2">項目</th><th>代表機労材規格</th><th>備考</th></tr><tr><td rowspan="4">機械</td><td rowspan="2">K 1</td><td>バックホウ（クローラ型）〔標準型・超低騒音型・クレーン機能付・排出ガス対策型（2014年規制）〕 山積 0.28m3（平積 0.2m3）吊能力 1.7t</td><td>・賃料 ・製品質量が 50 kg/基以上 1,200kg/基以下の場合</td></tr><tr><td>バックホウ（クローラ型）〔標準型・超低騒音型・クレーン機能付・排出ガス対策型（2014年規制）〕 山積 0.5m3（平積 0.4m3）吊能力 2.9t</td><td>・賃料 ・製品質量が 1,200kg/基を超え 2,800 kg/基以下の場合</td></tr><tr><td>K 2</td><td>—</td><td></td></tr><tr><td>K 3</td><td>—</td><td></td></tr><tr><td rowspan="5">労務</td><td rowspan="2">R 1</td><td>運転手（特殊）</td><td>製品質量が 800kg/基以下の場合</td></tr><tr><td>普通作業員</td><td>製品質量が 800kg/基超えの場合</td></tr><tr><td rowspan="2">R 2</td><td>普通作業員</td><td>製品質量が 800kg/基以下の場合</td></tr><tr><td>運転手（特殊）</td><td>製品質量が 800kg/基超えの場合</td></tr><tr><td>R 3</td><td>土木一般世話役</td><td></td></tr><tr><td>R 4</td><td>特殊作業員</td><td></td></tr><tr><td rowspan="4">材料</td><td>Z 1</td><td>軽油 バトロール給油</td><td></td></tr><tr><td>Z 2</td><td>—</td><td></td></tr><tr><td>Z 3</td><td>—</td><td></td></tr><tr><td>Z 4</td><td>—</td><td></td></tr><tr><td>市場単価</td><td>S</td><td>—</td><td></td></tr></table>				項目		代表機労材規格	備考	機械	K 1	バックホウ（クローラ型）〔標準型・超低騒音型・クレーン機能付・排出ガス対策型（2014年規制）〕 山積 0.28m3（平積 0.2m3）吊能力 1.7t	・賃料 ・製品質量が 50 kg/基以上 1,200kg/基以下の場合	バックホウ（クローラ型）〔標準型・超低騒音型・クレーン機能付・排出ガス対策型（2014年規制）〕 山積 0.5m3（平積 0.4m3）吊能力 2.9t	・賃料 ・製品質量が 1,200kg/基を超え 2,800 kg/基以下の場合	K 2	—		K 3	—		労務	R 1	運転手（特殊）	製品質量が 800kg/基以下の場合	普通作業員	製品質量が 800kg/基超えの場合	R 2	普通作業員	製品質量が 800kg/基以下の場合	運転手（特殊）	製品質量が 800kg/基超えの場合	R 3	土木一般世話役		R 4	特殊作業員		材料	Z 1	軽油 バトロール給油		Z 2	—		Z 3	—		Z 4	—		市場単価	S	—		記載の修正・削除 (歩掛改定に伴う)	
項目		代表機労材規格	備考																																																																																																										
機械	K 1	バックホウ（クローラ型）〔標準型・クレーン機能付・排出ガス対策型（第3次基準値）〕 山積 0.28m3（平積 0.2m3）吊能力 1.7t	・賃料 ・製品質量が 1,200kg/基以下の 場合																																																																																																										
		バックホウ（クローラ型）〔標準型・クレーン機能付・排出ガス対策型（第3次基準値）〕 山積 0.45m3（平積 0.35m3）吊能力 2.9t	・賃料 ・製品質量が 1,200kg/基超えの 場合																																																																																																										
	K 2	—																																																																																																											
	K 3	—																																																																																																											
労務	R 1	運転手（特殊）	製品質量が 800kg/基以下の場合																																																																																																										
		普通作業員	製品質量が 800kg/基超えの場合																																																																																																										
	R 2	普通作業員	製品質量が 800kg/基以下の場合																																																																																																										
		運転手（特殊）	製品質量が 800kg/基超えの場合																																																																																																										
	R 3	土木一般世話役																																																																																																											
R 4	特殊作業員																																																																																																												
材料	Z 1	軽油 バトロール給油																																																																																																											
	Z 2	—																																																																																																											
	Z 3	—																																																																																																											
	Z 4	—																																																																																																											
市場単価	S	—																																																																																																											
項目		代表機労材規格	備考																																																																																																										
機械	K 1	バックホウ（クローラ型）〔標準型・超低騒音型・クレーン機能付・排出ガス対策型（2014年規制）〕 山積 0.28m3（平積 0.2m3）吊能力 1.7t	・賃料 ・製品質量が 50 kg/基以上 1,200kg/基以下の場合																																																																																																										
		バックホウ（クローラ型）〔標準型・超低騒音型・クレーン機能付・排出ガス対策型（2014年規制）〕 山積 0.5m3（平積 0.4m3）吊能力 2.9t	・賃料 ・製品質量が 1,200kg/基を超え 2,800 kg/基以下の場合																																																																																																										
	K 2	—																																																																																																											
	K 3	—																																																																																																											
労務	R 1	運転手（特殊）	製品質量が 800kg/基以下の場合																																																																																																										
		普通作業員	製品質量が 800kg/基超えの場合																																																																																																										
	R 2	普通作業員	製品質量が 800kg/基以下の場合																																																																																																										
		運転手（特殊）	製品質量が 800kg/基超えの場合																																																																																																										
	R 3	土木一般世話役																																																																																																											
R 4	特殊作業員																																																																																																												
材料	Z 1	軽油 バトロール給油																																																																																																											
	Z 2	—																																																																																																											
	Z 3	—																																																																																																											
	Z 4	—																																																																																																											
市場単価	S	—																																																																																																											
積算上の注意事項								(控え頁) 9／19																																																																																																					

工 種	排水構造物工
-----	--------

改 正 理 由	一部改正	改 正 現 行																																																																																																			
現 行		改 正	備 考																																																																																																		
(2) 代表機労材規格 下表機労材は、当該施工パッケージで使用されている機労材の代表的な規格である。 <table><tr><th colspan="3">表3. 25 プレキャストL形側溝 代表機労材規格一覧</th></tr><tr><th>項目</th><th>代表機労材規格</th><th>備考</th></tr><tr><td rowspan="3">機械</td><td>K 1 バックホウ（クローラ型）〔標準型・クレーン機能付・排出ガス対策型（第1次基準値）〕 山積 0.45m3（平積 0.35m3）吊能力 2.9t</td><td></td></tr><tr><td>K 2 ー</td><td></td></tr><tr><td>K 3 ー</td><td></td></tr><tr><td rowspan="4">労務</td><td>R 1 普通作業員</td><td></td></tr><tr><td>R 2 土木一般世話役</td><td></td></tr><tr><td>R 3 運転手（特殊）</td><td></td></tr><tr><td>R 4 特殊作業員</td><td></td></tr><tr><td rowspan="4">材料</td><td>Z 1 鉄筋コンクリート L 形 300（500×155×600）</td><td>作業区分が据付又は据付・撤去の場合</td></tr><tr><td>Z 2 軽油 バトロール給油</td><td></td></tr><tr><td>Z 3 ー</td><td></td></tr><tr><td>Z 4 ー</td><td></td></tr><tr><td>市場単価</td><td>S ー</td><td></td></tr></table> 3-10 プレキャストマンホール (1) 条件区分 条件区分は、次表を標準とする。 <table><tr><th colspan="3">表3. 26 プレキャストマンホール 積算条件区分一覧</th></tr><tr><th colspan="3">(積算単位：基)</th></tr><tr><th>作業区分</th><th>製品質量</th><th>基礎砕石</th></tr><tr><td rowspan="4">据 付</td><td rowspan="2">2,000kg/基以下</td><td>有り(円形断面)</td></tr><tr><td>無し又は円形断面以外</td></tr><tr><td rowspan="2">2,000kg/基を超え4,000kg/基以下</td><td>有り(円形断面)</td></tr><tr><td>無し又は円形断面以外</td></tr><tr><td rowspan="2">撤 去</td><td>2,000kg/基以下</td><td>ー</td></tr><tr><td>2,000kg/基を超え4,000kg/基以下</td><td>ー</td></tr><tr><td rowspan="4">据付・撤去</td><td rowspan="2">2,000kg/基以下</td><td>有り(円形断面)</td></tr><tr><td>無し又は円形断面以外</td></tr><tr><td rowspan="2">2,000kg/基を超え4,000kg/基以下</td><td>有り(円形断面)</td></tr><tr><td>無し又は円形断面以外</td></tr></table> (注) 1. 上表は、マンホール及び蓋の設置、基礎砕石、運搬距離 30m 程度までの現場内小運搬の他、敷砂又は敷モルタル等、その施工に必要な全ての機械・労務・材料費（損料等を含む）を含む。 2. 基礎砕石の敷均し厚は、20 cm 以下を標準としており、これにより難い場合は別途考慮する。 3. 撤去作業の場合、基礎砕石は含まない。 4. 基礎砕石は、材料の種類・規格にかかわらず適用出来る。 5. 基面整正は含まない。 Ⅱ-2-㉔-21		表3. 25 プレキャストL形側溝 代表機労材規格一覧			項目	代表機労材規格	備考	機械	K 1 バックホウ（クローラ型）〔標準型・クレーン機能付・排出ガス対策型（第1次基準値）〕 山積 0.45m3（平積 0.35m3）吊能力 2.9t		K 2 ー		K 3 ー		労務	R 1 普通作業員		R 2 土木一般世話役		R 3 運転手（特殊）		R 4 特殊作業員		材料	Z 1 鉄筋コンクリート L 形 300（500×155×600）	作業区分が据付又は据付・撤去の場合	Z 2 軽油 バトロール給油		Z 3 ー		Z 4 ー		市場単価	S ー		表3. 26 プレキャストマンホール 積算条件区分一覧			(積算単位：基)			作業区分	製品質量	基礎砕石	据 付	2,000kg/基以下	有り(円形断面)	無し又は円形断面以外	2,000kg/基を超え4,000kg/基以下	有り(円形断面)	無し又は円形断面以外	撤 去	2,000kg/基以下	ー	2,000kg/基を超え4,000kg/基以下	ー	据付・撤去	2,000kg/基以下	有り(円形断面)	無し又は円形断面以外	2,000kg/基を超え4,000kg/基以下	有り(円形断面)	無し又は円形断面以外	(2) 代表機労材規格 下表機労材は、当該施工パッケージで使用されている機労材の代表的な規格である。 <table><tr><th colspan="3">表3. 25 プレキャストL形側溝 代表機労材規格一覧</th></tr><tr><th>項目</th><th>代表機労材規格</th><th>備考</th></tr><tr><td rowspan="4">機械</td><td>K 1 バックホウ（クローラ型）〔標準型・超低騒音型・クレーン機能付・排出ガス対策型（2014 年規制）〕 山積 0.5m3（平積 0.4m3）吊能力 2.9t</td><td></td></tr><tr><td>K 2 ー</td><td></td></tr><tr><td>K 3 ー</td><td></td></tr><tr><td>K 3 ー</td><td></td></tr><tr><td rowspan="4">労務</td><td>R 1 普通作業員</td><td></td></tr><tr><td>R 2 土木一般世話役</td><td></td></tr><tr><td>R 3 運転手（特殊）</td><td></td></tr><tr><td>R 4 特殊作業員</td><td></td></tr><tr><td rowspan="4">材料</td><td>Z 1 鉄筋コンクリート L 形 300（500×155×600）</td><td>作業区分が据付又は据付・撤去の場合</td></tr><tr><td>Z 2 軽油 バトロール給油</td><td></td></tr><tr><td>Z 3 ー</td><td></td></tr><tr><td>Z 4 ー</td><td></td></tr><tr><td>市場単価</td><td>S ー</td><td></td></tr></table> 現行どおり	表3. 25 プレキャストL形側溝 代表機労材規格一覧			項目	代表機労材規格	備考	機械	K 1 バックホウ（クローラ型）〔標準型・超低騒音型・クレーン機能付・排出ガス対策型（2014 年規制）〕 山積 0.5m3（平積 0.4m3）吊能力 2.9t		K 2 ー		K 3 ー		K 3 ー		労務	R 1 普通作業員		R 2 土木一般世話役		R 3 運転手（特殊）		R 4 特殊作業員		材料	Z 1 鉄筋コンクリート L 形 300（500×155×600）	作業区分が据付又は据付・撤去の場合	Z 2 軽油 バトロール給油		Z 3 ー		Z 4 ー		市場単価	S ー		記載の修正・削除 (歩掛改定に伴う)
表3. 25 プレキャストL形側溝 代表機労材規格一覧																																																																																																					
項目	代表機労材規格	備考																																																																																																			
機械	K 1 バックホウ（クローラ型）〔標準型・クレーン機能付・排出ガス対策型（第1次基準値）〕 山積 0.45m3（平積 0.35m3）吊能力 2.9t																																																																																																				
	K 2 ー																																																																																																				
	K 3 ー																																																																																																				
労務	R 1 普通作業員																																																																																																				
	R 2 土木一般世話役																																																																																																				
	R 3 運転手（特殊）																																																																																																				
	R 4 特殊作業員																																																																																																				
材料	Z 1 鉄筋コンクリート L 形 300（500×155×600）	作業区分が据付又は据付・撤去の場合																																																																																																			
	Z 2 軽油 バトロール給油																																																																																																				
	Z 3 ー																																																																																																				
	Z 4 ー																																																																																																				
市場単価	S ー																																																																																																				
表3. 26 プレキャストマンホール 積算条件区分一覧																																																																																																					
(積算単位：基)																																																																																																					
作業区分	製品質量	基礎砕石																																																																																																			
据 付	2,000kg/基以下	有り(円形断面)																																																																																																			
		無し又は円形断面以外																																																																																																			
	2,000kg/基を超え4,000kg/基以下	有り(円形断面)																																																																																																			
		無し又は円形断面以外																																																																																																			
撤 去	2,000kg/基以下	ー																																																																																																			
	2,000kg/基を超え4,000kg/基以下	ー																																																																																																			
据付・撤去	2,000kg/基以下	有り(円形断面)																																																																																																			
		無し又は円形断面以外																																																																																																			
	2,000kg/基を超え4,000kg/基以下	有り(円形断面)																																																																																																			
		無し又は円形断面以外																																																																																																			
表3. 25 プレキャストL形側溝 代表機労材規格一覧																																																																																																					
項目	代表機労材規格	備考																																																																																																			
機械	K 1 バックホウ（クローラ型）〔標準型・超低騒音型・クレーン機能付・排出ガス対策型（2014 年規制）〕 山積 0.5m3（平積 0.4m3）吊能力 2.9t																																																																																																				
	K 2 ー																																																																																																				
	K 3 ー																																																																																																				
	K 3 ー																																																																																																				
労務	R 1 普通作業員																																																																																																				
	R 2 土木一般世話役																																																																																																				
	R 3 運転手（特殊）																																																																																																				
	R 4 特殊作業員																																																																																																				
材料	Z 1 鉄筋コンクリート L 形 300（500×155×600）	作業区分が据付又は据付・撤去の場合																																																																																																			
	Z 2 軽油 バトロール給油																																																																																																				
	Z 3 ー																																																																																																				
	Z 4 ー																																																																																																				
市場単価	S ー																																																																																																				
積算上の注意事項			(控え頁) 10／19																																																																																																		

工 種	排水構造物工
-----	--------

改 正 理 由		一部改正		改 正		現 行																																																																																													
現 行					改 正					備 考																																																																																									
(2) 代表機労材規格 下表機労材は、当該施工パッケージで使用されている機労材の代表的な規格である。 <table><tr><th colspan="3">表3. 27 プレキャストマンホール 代表機労材規格一覧</th><th colspan="2"></th></tr><tr><th>項目</th><th colspan="2">代表機労材規格</th><th colspan="2">備考</th></tr><tr><td rowspan="3">機械</td><td>K 1</td><td>バックホウ（クローラ型）〔標準型・クレーン機能付・排出ガス対策型（第1次基準値）〕 山積 0.45m3（平積 0.35m3） 吊能力 2.9t</td><td colspan="2"></td></tr><tr><td>K 2</td><td>—</td><td colspan="2"></td></tr><tr><td>K 3</td><td>—</td><td colspan="2"></td></tr><tr><td rowspan="4">労務</td><td>R 1</td><td>普通作業員</td><td colspan="2"></td></tr><tr><td>R 2</td><td>土木一般世話役</td><td colspan="2"></td></tr><tr><td>R 3</td><td>運転手（特殊）</td><td colspan="2"></td></tr><tr><td>R 4</td><td>特殊作業員</td><td colspan="2"></td></tr><tr><td rowspan="7">材料</td><td rowspan="2">Z 1</td><td>下記の材料を各1個ずつ組み合わせて1つの代表材料とする。 ・下水道用マンホールふたφ600mm浮上防止型かぎ付 T-25 ・調整リング 600×50 ・下水道用鉄筋コンクリート製組立マンホール 円形0号1種（斜壁 600×750×300mm） ・下水道用鉄筋コンクリート製組立マンホール 円形0号1種（直壁 750×300mm） ・下水道用鉄筋コンクリート製組立マンホール 円形0号1種（管取付け壁 750×600mm） ・下水道用鉄筋コンクリート製組立マンホール 円形0号1種（底版）</td><td colspan="2">作業区分が据付又は据付・撤去、製品質量が2,000kg/基以下の場合</td></tr><tr><td>下記の材料を各1個ずつ組み合わせて1つの代表材料とする。 ・下水道用マンホールふたφ600mm浮上防止型かぎ付 T-25 ・調整リング 600×150 ・下水道用鉄筋コンクリート製組立マンホール 円形0号1種（斜壁 600×750×600mm） ・下水道用鉄筋コンクリート製組立マンホール 円形0号1種（直壁 750×1800mm） ・下水道用鉄筋コンクリート製組立マンホール 円形0号1種（管取付け壁 750×1800mm） ・下水道用鉄筋コンクリート製組立マンホール 円形0号1種（底版）</td><td colspan="2">作業区分が据付又は据付・撤去、製品質量が2,000kg/基を超え4,000kg/基以下の場合</td></tr><tr><td>Z 2</td><td>軽油 バトロール給油</td><td colspan="2"></td></tr><tr><td>Z 3</td><td>—</td><td colspan="2"></td></tr><tr><td>Z 4</td><td>—</td><td colspan="2"></td></tr><tr><td rowspan="2">市場単価</td><td>S</td><td>—</td><td colspan="2"></td></tr></table>					表3. 27 プレキャストマンホール 代表機労材規格一覧					項目	代表機労材規格		備考		機械	K 1	バックホウ（クローラ型）〔標準型・クレーン機能付・排出ガス対策型（第1次基準値）〕 山積 0.45m3（平積 0.35m3） 吊能力 2.9t			K 2	—			K 3	—			労務	R 1	普通作業員			R 2	土木一般世話役			R 3	運転手（特殊）			R 4	特殊作業員			材料	Z 1	下記の材料を各1個ずつ組み合わせて1つの代表材料とする。 ・下水道用マンホールふたφ600mm浮上防止型かぎ付 T-25 ・調整リング 600×50 ・下水道用鉄筋コンクリート製組立マンホール 円形0号1種（斜壁 600×750×300mm） ・下水道用鉄筋コンクリート製組立マンホール 円形0号1種（直壁 750×300mm） ・下水道用鉄筋コンクリート製組立マンホール 円形0号1種（管取付け壁 750×600mm） ・下水道用鉄筋コンクリート製組立マンホール 円形0号1種（底版）	作業区分が据付又は据付・撤去、製品質量が2,000kg/基以下の場合		下記の材料を各1個ずつ組み合わせて1つの代表材料とする。 ・下水道用マンホールふたφ600mm浮上防止型かぎ付 T-25 ・調整リング 600×150 ・下水道用鉄筋コンクリート製組立マンホール 円形0号1種（斜壁 600×750×600mm） ・下水道用鉄筋コンクリート製組立マンホール 円形0号1種（直壁 750×1800mm） ・下水道用鉄筋コンクリート製組立マンホール 円形0号1種（管取付け壁 750×1800mm） ・下水道用鉄筋コンクリート製組立マンホール 円形0号1種（底版）	作業区分が据付又は据付・撤去、製品質量が2,000kg/基を超え4,000kg/基以下の場合		Z 2	軽油 バトロール給油			Z 3	—			Z 4	—			市場単価	S	—			(2) 代表機労材規格 下表機労材は、当該施工パッケージで使用されている機労材の代表的な規格である。 <table><tr><th colspan="3">表3. 27 プレキャストマンホール 代表機労材規格一覧</th><th colspan="2"></th></tr><tr><th>項目</th><th colspan="2">代表機労材規格</th><th colspan="2">備考</th></tr><tr><td rowspan="3">機械</td><td>K 1</td><td>バックホウ（クローラ型）〔標準型・超低騒音型・クレーン機能付・排出ガス対策型（2014年規制）〕 山積 0.5m3（平積 0.4m3） 吊能力 2.9t</td><td colspan="2"></td></tr><tr><td>K 2</td><td>—</td><td colspan="2"></td></tr><tr><td>K 3</td><td>—</td><td colspan="2"></td></tr></table>					表3. 27 プレキャストマンホール 代表機労材規格一覧					項目	代表機労材規格		備考		機械	K 1	バックホウ（クローラ型）〔標準型・超低騒音型・クレーン機能付・排出ガス対策型（2014年規制）〕 山積 0.5m3（平積 0.4m3） 吊能力 2.9t			K 2	—			K 3	—			記載の修正・削除 (歩掛改定に伴う)	
表3. 27 プレキャストマンホール 代表機労材規格一覧																																																																																																			
項目	代表機労材規格		備考																																																																																																
機械	K 1	バックホウ（クローラ型）〔標準型・クレーン機能付・排出ガス対策型（第1次基準値）〕 山積 0.45m3（平積 0.35m3） 吊能力 2.9t																																																																																																	
	K 2	—																																																																																																	
	K 3	—																																																																																																	
労務	R 1	普通作業員																																																																																																	
	R 2	土木一般世話役																																																																																																	
	R 3	運転手（特殊）																																																																																																	
	R 4	特殊作業員																																																																																																	
材料	Z 1	下記の材料を各1個ずつ組み合わせて1つの代表材料とする。 ・下水道用マンホールふたφ600mm浮上防止型かぎ付 T-25 ・調整リング 600×50 ・下水道用鉄筋コンクリート製組立マンホール 円形0号1種（斜壁 600×750×300mm） ・下水道用鉄筋コンクリート製組立マンホール 円形0号1種（直壁 750×300mm） ・下水道用鉄筋コンクリート製組立マンホール 円形0号1種（管取付け壁 750×600mm） ・下水道用鉄筋コンクリート製組立マンホール 円形0号1種（底版）	作業区分が据付又は据付・撤去、製品質量が2,000kg/基以下の場合																																																																																																
		下記の材料を各1個ずつ組み合わせて1つの代表材料とする。 ・下水道用マンホールふたφ600mm浮上防止型かぎ付 T-25 ・調整リング 600×150 ・下水道用鉄筋コンクリート製組立マンホール 円形0号1種（斜壁 600×750×600mm） ・下水道用鉄筋コンクリート製組立マンホール 円形0号1種（直壁 750×1800mm） ・下水道用鉄筋コンクリート製組立マンホール 円形0号1種（管取付け壁 750×1800mm） ・下水道用鉄筋コンクリート製組立マンホール 円形0号1種（底版）	作業区分が据付又は据付・撤去、製品質量が2,000kg/基を超え4,000kg/基以下の場合																																																																																																
	Z 2	軽油 バトロール給油																																																																																																	
	Z 3	—																																																																																																	
	Z 4	—																																																																																																	
	市場単価	S	—																																																																																																
		表3. 27 プレキャストマンホール 代表機労材規格一覧																																																																																																	
項目	代表機労材規格		備考																																																																																																
機械	K 1	バックホウ（クローラ型）〔標準型・超低騒音型・クレーン機能付・排出ガス対策型（2014年規制）〕 山積 0.5m3（平積 0.4m3） 吊能力 2.9t																																																																																																	
	K 2	—																																																																																																	
	K 3	—																																																																																																	
現行どおり																																																																																																			
II-2-⑩-22																																																																																																			
積算上の注意事項					(控え頁)																																																																																														
					11／19																																																																																														

工 種	排水構造物工
-----	--------

改 正 理 由	一部改正	改 正 現 行																																						
現 行		改 正	備 考																																					
3-11 PC管 (1) 条件区分 条件区分は、次表を標準とする。 表3.28 PC管 積算条件区分一覧 (積算単位：m) <table><tr><th>作業区分</th><th>管 径</th><th>固定基礎</th><th>生コンクリート規格</th></tr><tr><td rowspan="2">据 付</td><td rowspan="5">(表 3.29)</td><td>90° 巻き</td><td rowspan="2">(表 3.5)</td></tr><tr><td>180° 巻き</td></tr><tr><td colspan="2" rowspan="2">撤 去</td><td>無し</td><td>—</td></tr><tr><td>—</td><td>—</td></tr><tr><td>据付・撤去</td><td>—</td><td>—</td></tr></table> (注) 1. 上表は、PC管の設置、基礎砕石、巻きコンクリート（コンクリート、型枠）、運搬距離 30m程度までの現場内小運搬等、その施工に必要な全ての機械・労務・材料費（損料等を含む）を含む。ただし、PC管の材料費は含まない。 2. 撤去作業、据付・撤去作業は、PC管のみを対象としている。 3. 基面整正は含まない。 4. コンクリート、基礎砕石の材料ロスを含む。標準ロス率は、コンクリートが+0.07、基礎砕石が+0.20とする。 5. 作業区分が据付又は据付・撤去の場合、管径 2,000mm は適用出来ない。 6. PC管の材料費は、別途計上する。 表3.29 管径 <table><tr><th>積算条件</th><th>区分</th><th>積算条件</th><th>区分</th></tr><tr><td rowspan="6">管 径</td><td>600mm</td><td rowspan="7">管 径</td><td>1,200mm</td></tr><tr><td>700mm</td><td>1,350mm</td></tr><tr><td>800mm</td><td>1,500mm</td></tr><tr><td>900mm</td><td>1,650mm</td></tr><tr><td>1,000mm</td><td>1,800mm</td></tr><tr><td>1,100mm</td><td>2,000mm</td></tr></table> II-2-㉔-23		作業区分	管 径	固定基礎	生コンクリート規格	据 付	(表 3.29)	90° 巻き	(表 3.5)	180° 巻き	撤 去		無し	—	—	—	据付・撤去	—	—	積算条件	区分	積算条件	区分	管 径	600mm	管 径	1,200mm	700mm	1,350mm	800mm	1,500mm	900mm	1,650mm	1,000mm	1,800mm	1,100mm	2,000mm	削除		歩掛の廃止
作業区分	管 径	固定基礎	生コンクリート規格																																					
据 付	(表 3.29)	90° 巻き	(表 3.5)																																					
		180° 巻き																																						
撤 去		無し	—																																					
		—	—																																					
据付・撤去		—	—																																					
積算条件	区分	積算条件	区分																																					
管 径	600mm	管 径	1,200mm																																					
	700mm		1,350mm																																					
	800mm		1,500mm																																					
	900mm		1,650mm																																					
	1,000mm		1,800mm																																					
	1,100mm		2,000mm																																					
積算上の注意事項			(控え頁) 12／19																																					

工 種	排水構造物工
-----	--------

改 正 理 由		一部改正		改 正																																																									
				現 行																																																									
現 行				改 正				備 考																																																					
(2) 代表機労材規格 下表機労材は、当該施工パッケージで使用されている機労材の代表的な規格である。 表3.30 PC管 代表機労材規格一覧 <table><tr><th colspan="2">項目</th><th>代表機労材規格</th><th>備考</th></tr><tr><td rowspan="7">機 械</td><td rowspan="5">K 1</td><td>トラッククレーン〔油圧伸縮ジブ型〕4.9t 吊</td><td>・賃料 ・管径が600mmの場合</td></tr><tr><td>ラフテレーンクレーン〔油圧伸縮ジブ型・排出ガス対策型（第1次基準値）〕16t 吊</td><td>・賃料 ・管径が700mm～1,350mmの場合</td></tr><tr><td>ラフテレーンクレーン〔油圧伸縮ジブ型・排出ガス対策型（第1次基準値）〕20t 吊</td><td>・賃料 ・管径が1,500mm～1,650mmの場合</td></tr><tr><td>ラフテレーンクレーン〔油圧伸縮ジブ型・排出ガス対策型（第1次基準値）〕25t 吊</td><td>・賃料 ・管径が1,800mmの場合</td></tr><tr><td>ラフテレーンクレーン〔油圧伸縮ジブ型・排出ガス対策型（第1次基準値）〕35t 吊</td><td>・賃料 ・作業区分が撤去、管径が2,000mmの場合</td></tr><tr><td>K 2</td><td>バックホウ（クローラ型）〔標準型・排出ガス対策型（2014年規制）〕山積0.8m3（平積0.6m3）</td><td>・賃料 ・作業区分が据付の場合</td></tr><tr><td>K 3</td><td>バックホウ（クローラ型）〔標準型・超低騒音型・クレーン機能付・排出ガス対策型（2011年規制）〕山積0.8m3（平積0.6m3）吊能力2.9t</td><td>・賃料 ・管径が1,350mm～1,800mm、固定基礎が180°巻きの場合</td></tr><tr><td rowspan="4">労 務</td><td>R 1</td><td>普通作業員</td><td></td></tr><tr><td>R 2</td><td>型わく工</td><td>固定基礎が有る場合</td></tr><tr><td>R 3</td><td>運転手（特殊）</td><td>上記以外の場合</td></tr><tr><td>R 4</td><td>土木一般世話役</td><td></td></tr><tr><td rowspan="4">材 料</td><td>Z 1</td><td>生コンクリート 高炉 18-8-25 (20) W/C 60%</td><td>固定基礎が有る場合</td></tr><tr><td>Z 2</td><td>軽油 バトロール給油</td><td></td></tr><tr><td>Z 3</td><td></td><td></td></tr><tr><td>Z 4</td><td>—</td><td></td></tr><tr><td>市場単価</td><td>S</td><td>—</td><td></td></tr></table>				項目		代表機労材規格	備考	機 械	K 1	トラッククレーン〔油圧伸縮ジブ型〕4.9t 吊	・賃料 ・管径が600mmの場合	ラフテレーンクレーン〔油圧伸縮ジブ型・排出ガス対策型（第1次基準値）〕16t 吊	・賃料 ・管径が700mm～1,350mmの場合	ラフテレーンクレーン〔油圧伸縮ジブ型・排出ガス対策型（第1次基準値）〕20t 吊	・賃料 ・管径が1,500mm～1,650mmの場合	ラフテレーンクレーン〔油圧伸縮ジブ型・排出ガス対策型（第1次基準値）〕25t 吊	・賃料 ・管径が1,800mmの場合	ラフテレーンクレーン〔油圧伸縮ジブ型・排出ガス対策型（第1次基準値）〕35t 吊	・賃料 ・作業区分が撤去、管径が2,000mmの場合	K 2	バックホウ（クローラ型）〔標準型・排出ガス対策型（2014年規制）〕山積0.8m3（平積0.6m3）	・賃料 ・作業区分が据付の場合	K 3	バックホウ（クローラ型）〔標準型・超低騒音型・クレーン機能付・排出ガス対策型（2011年規制）〕山積0.8m3（平積0.6m3）吊能力2.9t	・賃料 ・管径が1,350mm～1,800mm、固定基礎が180°巻きの場合	労 務	R 1	普通作業員		R 2	型わく工	固定基礎が有る場合	R 3	運転手（特殊）	上記以外の場合	R 4	土木一般世話役		材 料	Z 1	生コンクリート 高炉 18-8-25 (20) W/C 60%	固定基礎が有る場合	Z 2	軽油 バトロール給油		Z 3			Z 4	—		市場単価	S	—		削除				歩掛の廃止	
項目		代表機労材規格	備考																																																										
機 械	K 1	トラッククレーン〔油圧伸縮ジブ型〕4.9t 吊	・賃料 ・管径が600mmの場合																																																										
		ラフテレーンクレーン〔油圧伸縮ジブ型・排出ガス対策型（第1次基準値）〕16t 吊	・賃料 ・管径が700mm～1,350mmの場合																																																										
		ラフテレーンクレーン〔油圧伸縮ジブ型・排出ガス対策型（第1次基準値）〕20t 吊	・賃料 ・管径が1,500mm～1,650mmの場合																																																										
		ラフテレーンクレーン〔油圧伸縮ジブ型・排出ガス対策型（第1次基準値）〕25t 吊	・賃料 ・管径が1,800mmの場合																																																										
		ラフテレーンクレーン〔油圧伸縮ジブ型・排出ガス対策型（第1次基準値）〕35t 吊	・賃料 ・作業区分が撤去、管径が2,000mmの場合																																																										
	K 2	バックホウ（クローラ型）〔標準型・排出ガス対策型（2014年規制）〕山積0.8m3（平積0.6m3）	・賃料 ・作業区分が据付の場合																																																										
	K 3	バックホウ（クローラ型）〔標準型・超低騒音型・クレーン機能付・排出ガス対策型（2011年規制）〕山積0.8m3（平積0.6m3）吊能力2.9t	・賃料 ・管径が1,350mm～1,800mm、固定基礎が180°巻きの場合																																																										
労 務	R 1	普通作業員																																																											
	R 2	型わく工	固定基礎が有る場合																																																										
	R 3	運転手（特殊）	上記以外の場合																																																										
	R 4	土木一般世話役																																																											
材 料	Z 1	生コンクリート 高炉 18-8-25 (20) W/C 60%	固定基礎が有る場合																																																										
	Z 2	軽油 バトロール給油																																																											
	Z 3																																																												
	Z 4	—																																																											
市場単価	S	—																																																											
II-2-⑩-24																																																													
積算上の注意事項								(控え頁) 13／19																																																					

工 種	排水構造物工
-----	--------

改 正 理 由	一部改正	改 正 現 行																																					
現 行		改 正	備 考																																				
3-12 PC管（材料費） （1）条件区分 PC管（材料費）における積算条件区分はない。 積算単位は、mとする。 3-13 コルゲートパイプ （1）条件区分 条件区分は、次表を標準とする。 表3.31 コルゲートパイプ 積算条件区分一覧 (積算単位：m) <table><tr><th>作業区分</th><th>規格</th><th>パイプ径</th></tr><tr><td rowspan="6">(表 3.32)</td><td rowspan="2">フランジ型</td><td>800mm 以上 1200mm 以下</td></tr><tr><td>1,200mm を超え 1,800mm 以下</td></tr><tr><td rowspan="4">ラップ型</td><td>2,000mm 以上 2,500mm 以下</td></tr><tr><td>2,500mm を超え 3,000mm 以下</td></tr><tr><td>3,000mm を超え 3,500mm 以下</td></tr><tr><td>3,500mm を超え 4,500mm 以下</td></tr></table> (注) 1. 上表は、コルゲートパイプの設置、現場内小運搬、組立(据付時)、解体(撤去時)等、その施工に必要な全ての機械・労務・材料費（損料等を含む）を含む。 2. 床掘り、基礎（均しコンクリート、基礎砕石）、埋戻しは含まない。 3. パッキングの有無にかかわらず適用できる。ただし、パッキング材料費は含まれていないため、別途計上する。 4. パッキング以外のベーピング、パイプ内足場等の補助工法については、必要な費用を別途計上する。 表3.32 作業区分 <table><tr><th>積算条件</th><th>区分</th></tr><tr><td rowspan="3">作業区分</td><td>据 付</td></tr><tr><td>撤 去</td></tr><tr><td>据付・撤去</td></tr></table> II-2-㉔-25		作業区分	規格	パイプ径	(表 3.32)	フランジ型	800mm 以上 1200mm 以下	1,200mm を超え 1,800mm 以下	ラップ型	2,000mm 以上 2,500mm 以下	2,500mm を超え 3,000mm 以下	3,000mm を超え 3,500mm 以下	3,500mm を超え 4,500mm 以下	積算条件	区分	作業区分	据 付	撤 去	据付・撤去	削除 3-11 コルゲートパイプ （1）条件区分 条件区分は、次表を標準とする。 表3.28 コルゲートパイプ 積算条件区分一覧 (積算単位：m) <table><tr><th>作業区分</th><th>規格</th><th>パイプ径</th></tr><tr><td rowspan="6">(表 3.29)</td><td rowspan="2">フランジ型</td><td>800mm 以上 1200mm 以下</td></tr><tr><td>1,200mm を超え 1,800mm 以下</td></tr><tr><td rowspan="4">ラップ型</td><td>2,000mm 以上 2,500mm 以下</td></tr><tr><td>2,500mm を超え 3,000mm 以下</td></tr><tr><td>3,000mm を超え 3,500mm 以下</td></tr><tr><td>3,500mm を超え 4,500mm 以下</td></tr></table> (注) 1. 上表は、コルゲートパイプの設置、現場内小運搬、組立(据付時)、解体(撤去時)等、その施工に必要な全ての機械・労務・材料費（損料等を含む）を含む。 2. 床掘り、基礎（均しコンクリート、基礎砕石）、埋戻しは含まない。 3. パッキングの有無にかかわらず適用できる。ただし、パッキング材料費については含まれていないため、必要な費用を別途計上する。 4. パッキング以外のベーピング、パイプ内足場等の補助工法については、必要な費用を別途計上する。 表3.29 作業区分 <table><tr><th>積算条件</th><th>区分</th></tr><tr><td rowspan="3">作業区分</td><td>据 付</td></tr><tr><td>撤 去</td></tr><tr><td>据付・撤去</td></tr></table>	作業区分	規格	パイプ径	(表 3.29)	フランジ型	800mm 以上 1200mm 以下	1,200mm を超え 1,800mm 以下	ラップ型	2,000mm 以上 2,500mm 以下	2,500mm を超え 3,000mm 以下	3,000mm を超え 3,500mm 以下	3,500mm を超え 4,500mm 以下	積算条件	区分	作業区分	据 付	撤 去	据付・撤去	歩掛の廃止
作業区分	規格	パイプ径																																					
(表 3.32)	フランジ型	800mm 以上 1200mm 以下																																					
		1,200mm を超え 1,800mm 以下																																					
	ラップ型	2,000mm 以上 2,500mm 以下																																					
		2,500mm を超え 3,000mm 以下																																					
		3,000mm を超え 3,500mm 以下																																					
		3,500mm を超え 4,500mm 以下																																					
積算条件	区分																																						
作業区分	据 付																																						
	撤 去																																						
	据付・撤去																																						
作業区分	規格	パイプ径																																					
(表 3.29)	フランジ型	800mm 以上 1200mm 以下																																					
		1,200mm を超え 1,800mm 以下																																					
	ラップ型	2,000mm 以上 2,500mm 以下																																					
		2,500mm を超え 3,000mm 以下																																					
		3,000mm を超え 3,500mm 以下																																					
		3,500mm を超え 4,500mm 以下																																					
積算条件	区分																																						
作業区分	据 付																																						
	撤 去																																						
	据付・撤去																																						
→		記載の変更																																					
積算上の注意事項			(控え頁) 14／19																																				

工 種	排水構造物工
-----	--------

改 正 理 由		一部改正	改 正		現 行																																																																																																											
現 行			改 正			備 考																																																																																																										
(2) 代表機材規格 下表機材材は、当該施工パッケージで使用されている機材材の代表的な規格である。 表3. 33 コルゲートパイプ 代表機材材規格一覧 <table><tr><th>項目</th><th colspan="2">代表機材材規格</th><th>備考</th></tr><tr><td rowspan="3">機械</td><td>K 1</td><td>バックホウ(クローラ型)[後方超小旋回型・低騒音型・クレーン機能付き・排出ガス対策型(第3次基準値)] 山積 0.45m3 (平積 0.35m3) 吊能力 2.9t</td><td>賃料</td></tr><tr><td>K 2</td><td>—</td><td></td></tr><tr><td>K 3</td><td>—</td><td></td></tr><tr><td rowspan="4">労務</td><td>R 1</td><td>普通作業員</td><td></td></tr><tr><td>R 2</td><td>特殊作業員</td><td></td></tr><tr><td>R 3</td><td>土木一般世話役</td><td></td></tr><tr><td>R 4</td><td>運転手(特殊)</td><td></td></tr><tr><td rowspan="10">材料</td><td rowspan="6">Z 1</td><td>コルゲートパイプ 円形 1 形 1,000mm 板厚 2.7mm</td><td>作業区分が据付又は据付・撤去、規格がフランジ型、パイプ径が 800～1,200mm の場合</td></tr><tr><td>コルゲートパイプ 円形 1 形 1,500mm 板厚 3.2mm</td><td>作業区分が据付又は据付・撤去、規格がフランジ型、パイプ径が 1,200 を超え 1,800mm 以下の場合</td></tr><tr><td>コルゲートパイプ 円形 2 形 2,500mm 板厚 4.5mm</td><td>作業区分が据付又は据付・撤去、規格がラップ型、パイプ径が 2,000mm 以上 2,500mm 以下の場合</td></tr><tr><td>コルゲートパイプ 円形 2 形 3,000mm 板厚 4.5mm</td><td>作業区分が据付又は据付・撤去、規格がラップ型、パイプ径が 2,500mm を超え 3,000mm 以下の場合</td></tr><tr><td>コルゲートパイプ 円形 2 形 3,500mm 板厚 4.5mm</td><td>作業区分が据付又は据付・撤去、規格がラップ型、パイプ径が 3,000mm を超え 3,500mm 以下の場合</td></tr><tr><td>コルゲートパイプ 円形 2 形 4,000mm 板厚 4.5mm</td><td>作業区分が据付又は据付・撤去、規格がラップ型、パイプ径が 3,500mm を超え 4,500mm 以下の場合</td></tr><tr><td>Z 2</td><td>軽油 バトロール給油</td><td></td></tr><tr><td>Z 3</td><td>—</td><td></td></tr><tr><td>Z 4</td><td>—</td><td></td></tr><tr><td>S</td><td>—</td><td></td></tr></table> II-2-⑩-26			項目	代表機材材規格		備考	機械	K 1	バックホウ(クローラ型)[後方超小旋回型・低騒音型・クレーン機能付き・排出ガス対策型(第3次基準値)] 山積 0.45m3 (平積 0.35m3) 吊能力 2.9t	賃料	K 2	—		K 3	—		労務	R 1	普通作業員		R 2	特殊作業員		R 3	土木一般世話役		R 4	運転手(特殊)		材料	Z 1	コルゲートパイプ 円形 1 形 1,000mm 板厚 2.7mm	作業区分が据付又は据付・撤去、規格がフランジ型、パイプ径が 800～1,200mm の場合	コルゲートパイプ 円形 1 形 1,500mm 板厚 3.2mm	作業区分が据付又は据付・撤去、規格がフランジ型、パイプ径が 1,200 を超え 1,800mm 以下の場合	コルゲートパイプ 円形 2 形 2,500mm 板厚 4.5mm	作業区分が据付又は据付・撤去、規格がラップ型、パイプ径が 2,000mm 以上 2,500mm 以下の場合	コルゲートパイプ 円形 2 形 3,000mm 板厚 4.5mm	作業区分が据付又は据付・撤去、規格がラップ型、パイプ径が 2,500mm を超え 3,000mm 以下の場合	コルゲートパイプ 円形 2 形 3,500mm 板厚 4.5mm	作業区分が据付又は据付・撤去、規格がラップ型、パイプ径が 3,000mm を超え 3,500mm 以下の場合	コルゲートパイプ 円形 2 形 4,000mm 板厚 4.5mm	作業区分が据付又は据付・撤去、規格がラップ型、パイプ径が 3,500mm を超え 4,500mm 以下の場合	Z 2	軽油 バトロール給油		Z 3	—		Z 4	—		S	—		(2) 代表機材規格 下表機材材は、当該施工パッケージで使用されている機材材の代表的な規格である。 表3. 30 コルゲートパイプ 代表機材材規格一覧 <table><tr><th>項目</th><th colspan="2">代表機材材規格</th><th>備考</th></tr><tr><td rowspan="3">機械</td><td>K 1</td><td>バックホウ(クローラ型)[後方超小旋回型・低騒音型・クレーン機能付き・排出ガス対策型(第3次基準値)] 山積 0.45m3 (平積 0.35m3) 吊能力 2.9t</td><td>賃料</td></tr><tr><td>K 2</td><td>—</td><td></td></tr><tr><td>K 3</td><td>—</td><td></td></tr><tr><td rowspan="4">労務</td><td>R 1</td><td>普通作業員</td><td></td></tr><tr><td>R 2</td><td>特殊作業員</td><td></td></tr><tr><td>R 3</td><td>土木一般世話役</td><td></td></tr><tr><td>R 4</td><td>運転手(特殊)</td><td></td></tr><tr><td rowspan="10">材料</td><td rowspan="6">Z 1</td><td>コルゲートパイプ 円形 1 形 1,000mm 板厚 2.7mm</td><td>作業区分が据付又は据付・撤去、規格がフランジ型、パイプ径が 800～1,200mm の場合</td></tr><tr><td>コルゲートパイプ 円形 1 形 1,500mm 板厚 3.2mm</td><td>作業区分が据付又は据付・撤去、規格がフランジ型、パイプ径が 1,200 を超え 1,800mm 以下の場合</td></tr><tr><td>コルゲートパイプ 円形 2 形 2,500mm 板厚 4.5mm</td><td>作業区分が据付又は据付・撤去、規格がラップ型、パイプ径が 2,000mm 以上 2,500mm 以下の場合</td></tr><tr><td>コルゲートパイプ 円形 2 形 3,000mm 板厚 4.5mm</td><td>作業区分が据付又は据付・撤去、規格がラップ型、パイプ径が 2,500mm を超え 3,000mm 以下の場合</td></tr><tr><td>コルゲートパイプ 円形 2 形 3,500mm 板厚 4.5mm</td><td>作業区分が据付又は据付・撤去、規格がラップ型、パイプ径が 3,000mm を超え 3,500mm 以下の場合</td></tr><tr><td>コルゲートパイプ 円形 2 形 4,000mm 板厚 4.5mm</td><td>作業区分が据付又は据付・撤去、規格がラップ型、パイプ径が 3,500mm を超え 4,500mm 以下の場合</td></tr><tr><td>Z 2</td><td>軽油 バトロール給油</td><td></td></tr><tr><td>Z 3</td><td>—</td><td></td></tr><tr><td>Z 4</td><td>—</td><td></td></tr><tr><td>S</td><td>—</td><td></td></tr></table>			項目	代表機材材規格		備考	機械	K 1	バックホウ(クローラ型)[後方超小旋回型・低騒音型・クレーン機能付き・排出ガス対策型(第3次基準値)] 山積 0.45m3 (平積 0.35m3) 吊能力 2.9t	賃料	K 2	—		K 3	—		労務	R 1	普通作業員		R 2	特殊作業員		R 3	土木一般世話役		R 4	運転手(特殊)		材料	Z 1	コルゲートパイプ 円形 1 形 1,000mm 板厚 2.7mm	作業区分が据付又は据付・撤去、規格がフランジ型、パイプ径が 800～1,200mm の場合	コルゲートパイプ 円形 1 形 1,500mm 板厚 3.2mm	作業区分が据付又は据付・撤去、規格がフランジ型、パイプ径が 1,200 を超え 1,800mm 以下の場合	コルゲートパイプ 円形 2 形 2,500mm 板厚 4.5mm	作業区分が据付又は据付・撤去、規格がラップ型、パイプ径が 2,000mm 以上 2,500mm 以下の場合	コルゲートパイプ 円形 2 形 3,000mm 板厚 4.5mm	作業区分が据付又は据付・撤去、規格がラップ型、パイプ径が 2,500mm を超え 3,000mm 以下の場合	コルゲートパイプ 円形 2 形 3,500mm 板厚 4.5mm	作業区分が据付又は据付・撤去、規格がラップ型、パイプ径が 3,000mm を超え 3,500mm 以下の場合	コルゲートパイプ 円形 2 形 4,000mm 板厚 4.5mm	作業区分が据付又は据付・撤去、規格がラップ型、パイプ径が 3,500mm を超え 4,500mm 以下の場合	Z 2	軽油 バトロール給油		Z 3	—		Z 4	—		S	—		記載の変更
項目	代表機材材規格		備考																																																																																																													
機械	K 1	バックホウ(クローラ型)[後方超小旋回型・低騒音型・クレーン機能付き・排出ガス対策型(第3次基準値)] 山積 0.45m3 (平積 0.35m3) 吊能力 2.9t	賃料																																																																																																													
	K 2	—																																																																																																														
	K 3	—																																																																																																														
労務	R 1	普通作業員																																																																																																														
	R 2	特殊作業員																																																																																																														
	R 3	土木一般世話役																																																																																																														
	R 4	運転手(特殊)																																																																																																														
材料	Z 1	コルゲートパイプ 円形 1 形 1,000mm 板厚 2.7mm	作業区分が据付又は据付・撤去、規格がフランジ型、パイプ径が 800～1,200mm の場合																																																																																																													
		コルゲートパイプ 円形 1 形 1,500mm 板厚 3.2mm	作業区分が据付又は据付・撤去、規格がフランジ型、パイプ径が 1,200 を超え 1,800mm 以下の場合																																																																																																													
		コルゲートパイプ 円形 2 形 2,500mm 板厚 4.5mm	作業区分が据付又は据付・撤去、規格がラップ型、パイプ径が 2,000mm 以上 2,500mm 以下の場合																																																																																																													
		コルゲートパイプ 円形 2 形 3,000mm 板厚 4.5mm	作業区分が据付又は据付・撤去、規格がラップ型、パイプ径が 2,500mm を超え 3,000mm 以下の場合																																																																																																													
		コルゲートパイプ 円形 2 形 3,500mm 板厚 4.5mm	作業区分が据付又は据付・撤去、規格がラップ型、パイプ径が 3,000mm を超え 3,500mm 以下の場合																																																																																																													
		コルゲートパイプ 円形 2 形 4,000mm 板厚 4.5mm	作業区分が据付又は据付・撤去、規格がラップ型、パイプ径が 3,500mm を超え 4,500mm 以下の場合																																																																																																													
	Z 2	軽油 バトロール給油																																																																																																														
	Z 3	—																																																																																																														
	Z 4	—																																																																																																														
	S	—																																																																																																														
項目	代表機材材規格		備考																																																																																																													
機械	K 1	バックホウ(クローラ型)[後方超小旋回型・低騒音型・クレーン機能付き・排出ガス対策型(第3次基準値)] 山積 0.45m3 (平積 0.35m3) 吊能力 2.9t	賃料																																																																																																													
	K 2	—																																																																																																														
	K 3	—																																																																																																														
労務	R 1	普通作業員																																																																																																														
	R 2	特殊作業員																																																																																																														
	R 3	土木一般世話役																																																																																																														
	R 4	運転手(特殊)																																																																																																														
材料	Z 1	コルゲートパイプ 円形 1 形 1,000mm 板厚 2.7mm	作業区分が据付又は据付・撤去、規格がフランジ型、パイプ径が 800～1,200mm の場合																																																																																																													
		コルゲートパイプ 円形 1 形 1,500mm 板厚 3.2mm	作業区分が据付又は据付・撤去、規格がフランジ型、パイプ径が 1,200 を超え 1,800mm 以下の場合																																																																																																													
		コルゲートパイプ 円形 2 形 2,500mm 板厚 4.5mm	作業区分が据付又は据付・撤去、規格がラップ型、パイプ径が 2,000mm 以上 2,500mm 以下の場合																																																																																																													
		コルゲートパイプ 円形 2 形 3,000mm 板厚 4.5mm	作業区分が据付又は据付・撤去、規格がラップ型、パイプ径が 2,500mm を超え 3,000mm 以下の場合																																																																																																													
		コルゲートパイプ 円形 2 形 3,500mm 板厚 4.5mm	作業区分が据付又は据付・撤去、規格がラップ型、パイプ径が 3,000mm を超え 3,500mm 以下の場合																																																																																																													
		コルゲートパイプ 円形 2 形 4,000mm 板厚 4.5mm	作業区分が据付又は据付・撤去、規格がラップ型、パイプ径が 3,500mm を超え 4,500mm 以下の場合																																																																																																													
	Z 2	軽油 バトロール給油																																																																																																														
	Z 3	—																																																																																																														
	Z 4	—																																																																																																														
	S	—																																																																																																														
積算上の注意事項					(控え頁) 15／19																																																																																																											

改 正 理 由		一 部 改 正		改 正		現 行		備 考																																																																																															
3-14 コルゲートフリューム (1) 条件区分 条件区分は、次表を標準とする。					3-12 コルゲートフリューム (1) 条件区分 条件区分は、次表を標準とする。					記載の変更																																																																																													
表3. 34 コルゲートフリューム 積算条件区分一覧 (積算単位：m)					表3. 31 コルゲートフリューム 積算条件区分一覧 (積算単位：m)																																																																																																		
<table><tr><th>作業区分</th><th>規格</th></tr><tr><td rowspan="3">(表 3. 32)</td><td>350×350mm 以上</td></tr><tr><td>550×550mm 以下</td></tr><tr><td>550×550mm を超え 750×750mm 以下</td></tr></table>					作業区分	規格	(表 3. 32)	350×350mm 以上	550×550mm 以下		550×550mm を超え 750×750mm 以下	<table><tr><th>作業区分</th><th>規格</th></tr><tr><td rowspan="3">(表 3. 29)</td><td>350×350mm 以上</td></tr><tr><td>550×550mm 以下</td></tr><tr><td>550×550mm を超え 750×750mm 以下</td></tr></table>					作業区分	規格	(表 3. 29)	350×350mm 以上	550×550mm 以下	550×550mm を超え 750×750mm 以下																																																																																	
作業区分	規格																																																																																																						
(表 3. 32)	350×350mm 以上																																																																																																						
	550×550mm 以下																																																																																																						
	550×550mm を超え 750×750mm 以下																																																																																																						
作業区分	規格																																																																																																						
(表 3. 29)	350×350mm 以上																																																																																																						
	550×550mm 以下																																																																																																						
	550×550mm を超え 750×750mm 以下																																																																																																						
(注) 1. 上表は、コルゲートフリュームの設置、現場内小運搬、組立(据付時)、解体(撤去時)等、その施工に必要な全ての機械・労務・材料費(損料等を含む)を含む。 2. 床掘り、基礎(均しコンクリート、基礎砕石)、埋戻しは含まない。 3. パッキングの有無にかかわらず適用できる。ただし、パッキング材料費は含まれていないため、別途計上する。 4. パッキング以外のすべり防止、止水壁、浮上り防止等の補助工法については、必要な費用を別途計上する。					(注) 1. 上表は、コルゲートフリュームの設置、現場内小運搬、組立(据付時)、解体(撤去時)等、その施工に必要な全ての機械・労務・材料費(損料等を含む)を含む。 2. 床掘り、基礎(均しコンクリート、基礎砕石)、埋戻しは含まない。 3. パッキングの有無にかかわらず適用できる。ただし、パッキング材料費については含まれていないため、必要な費用を別途計上する。 4. パッキング以外のすべり防止、止水壁、浮上り防止等の補助工法については、必要な費用を別途計上する。																																																																																																		
(2) 代表機労材規格 下表機労材は、当該施工パッケージで使用されている機労材の代表的な規格である。					(2) 代表機労材規格 下表機労材は、当該施工パッケージで使用されている機労材の代表的な規格である。																																																																																																		
表3. 35 コルゲートフリューム 代表機労材規格一覧					表3. 32 コルゲートフリューム 代表機労材規格一覧																																																																																																		
<table><tr><th>項目</th><th colspan="2">代表機労材規格</th><th>備考</th></tr><tr><td rowspan="3">機械</td><td>K 1</td><td>バックホウ(クローラ型)〔後方超小旋回型・低騒音型・クレーン機能付き・排出ガス対策型(第3次基準値)〕山積0.45m³(平積0.35m³)吊能力2.9t</td><td>賃料</td></tr><tr><td>K 2</td><td>—</td><td></td></tr><tr><td>K 3</td><td>—</td><td></td></tr><tr><td rowspan="4">労務</td><td>R 1</td><td>普通作業員</td><td></td></tr><tr><td>R 2</td><td>土木一般世話役</td><td></td></tr><tr><td>R 3</td><td>特殊作業員</td><td></td></tr><tr><td>R 4</td><td>運転手(特殊)</td><td></td></tr><tr><td rowspan="5">材料</td><td>Z 1</td><td>コルゲートU型フリュームA形450×450mm 板厚1.6mm</td><td>作業区分が据付又は据付・撤去で、規格が350×350以上550×550以下の場合</td></tr><tr><td>Z 1</td><td>コルゲートU型フリュームA形650×650mm 板厚1.6mm</td><td>作業区分が据付又は据付・撤去で、規格が550×550を超え750×750以下の場合</td></tr><tr><td>Z 2</td><td>軽油 バトロール給油</td><td></td></tr><tr><td>Z 3</td><td>—</td><td></td></tr><tr><td>Z 4</td><td>—</td><td></td></tr><tr><td>市場単価</td><td>S</td><td>—</td><td></td></tr></table>					項目	代表機労材規格		備考	機械	K 1	バックホウ(クローラ型)〔後方超小旋回型・低騒音型・クレーン機能付き・排出ガス対策型(第3次基準値)〕山積0.45m ³ (平積0.35m ³)吊能力2.9t	賃料	K 2	—		K 3	—		労務	R 1	普通作業員		R 2	土木一般世話役		R 3	特殊作業員		R 4	運転手(特殊)		材料	Z 1	コルゲートU型フリュームA形450×450mm 板厚1.6mm	作業区分が据付又は据付・撤去で、規格が350×350以上550×550以下の場合	Z 1	コルゲートU型フリュームA形650×650mm 板厚1.6mm	作業区分が据付又は据付・撤去で、規格が550×550を超え750×750以下の場合	Z 2	軽油 バトロール給油		Z 3	—		Z 4	—		市場単価	S	—		<table><tr><th>項目</th><th colspan="2">代表機労材規格</th><th>備考</th></tr><tr><td rowspan="3">機械</td><td>K 1</td><td>バックホウ(クローラ型)〔後方超小旋回型・低騒音型・クレーン機能付き・排出ガス対策型(第3次基準値)〕山積0.45m³(平積0.35m³)吊能力2.9t</td><td>賃料</td></tr><tr><td>K 2</td><td>—</td><td></td></tr><tr><td>K 3</td><td>—</td><td></td></tr><tr><td rowspan="4">労務</td><td>R 1</td><td>普通作業員</td><td></td></tr><tr><td>R 2</td><td>土木一般世話役</td><td></td></tr><tr><td>R 3</td><td>特殊作業員</td><td></td></tr><tr><td>R 4</td><td>運転手(特殊)</td><td></td></tr><tr><td rowspan="5">材料</td><td>Z 1</td><td>コルゲートU型フリュームA形450×450mm 板厚1.6mm</td><td>作業区分が据付又は据付・撤去で、規格が350×350以上550×550以下の場合</td></tr><tr><td>Z 1</td><td>コルゲートU型フリュームA形650×650mm 板厚1.6mm</td><td>作業区分が据付又は据付・撤去で、規格が550×550を超え750×750以下の場合</td></tr><tr><td>Z 2</td><td>軽油 バトロール給油</td><td></td></tr><tr><td>Z 3</td><td>—</td><td></td></tr><tr><td>Z 4</td><td>—</td><td></td></tr><tr><td>市場単価</td><td>S</td><td>—</td><td></td></tr></table>					項目	代表機労材規格		備考	機械	K 1	バックホウ(クローラ型)〔後方超小旋回型・低騒音型・クレーン機能付き・排出ガス対策型(第3次基準値)〕山積0.45m ³ (平積0.35m ³)吊能力2.9t	賃料	K 2	—		K 3	—		労務	R 1	普通作業員		R 2	土木一般世話役		R 3	特殊作業員		R 4	運転手(特殊)		材料	Z 1	コルゲートU型フリュームA形450×450mm 板厚1.6mm	作業区分が据付又は据付・撤去で、規格が350×350以上550×550以下の場合	Z 1	コルゲートU型フリュームA形650×650mm 板厚1.6mm	作業区分が据付又は据付・撤去で、規格が550×550を超え750×750以下の場合	Z 2	軽油 バトロール給油		Z 3	—		Z 4	—		市場単価	S	—	
項目	代表機労材規格		備考																																																																																																				
機械	K 1	バックホウ(クローラ型)〔後方超小旋回型・低騒音型・クレーン機能付き・排出ガス対策型(第3次基準値)〕山積0.45m ³ (平積0.35m ³)吊能力2.9t	賃料																																																																																																				
	K 2	—																																																																																																					
	K 3	—																																																																																																					
労務	R 1	普通作業員																																																																																																					
	R 2	土木一般世話役																																																																																																					
	R 3	特殊作業員																																																																																																					
	R 4	運転手(特殊)																																																																																																					
材料	Z 1	コルゲートU型フリュームA形450×450mm 板厚1.6mm	作業区分が据付又は据付・撤去で、規格が350×350以上550×550以下の場合																																																																																																				
	Z 1	コルゲートU型フリュームA形650×650mm 板厚1.6mm	作業区分が据付又は据付・撤去で、規格が550×550を超え750×750以下の場合																																																																																																				
	Z 2	軽油 バトロール給油																																																																																																					
	Z 3	—																																																																																																					
	Z 4	—																																																																																																					
市場単価	S	—																																																																																																					
項目	代表機労材規格		備考																																																																																																				
機械	K 1	バックホウ(クローラ型)〔後方超小旋回型・低騒音型・クレーン機能付き・排出ガス対策型(第3次基準値)〕山積0.45m ³ (平積0.35m ³)吊能力2.9t	賃料																																																																																																				
	K 2	—																																																																																																					
	K 3	—																																																																																																					
労務	R 1	普通作業員																																																																																																					
	R 2	土木一般世話役																																																																																																					
	R 3	特殊作業員																																																																																																					
	R 4	運転手(特殊)																																																																																																					
材料	Z 1	コルゲートU型フリュームA形450×450mm 板厚1.6mm	作業区分が据付又は据付・撤去で、規格が350×350以上550×550以下の場合																																																																																																				
	Z 1	コルゲートU型フリュームA形650×650mm 板厚1.6mm	作業区分が据付又は据付・撤去で、規格が550×550を超え750×750以下の場合																																																																																																				
	Z 2	軽油 バトロール給油																																																																																																					
	Z 3	—																																																																																																					
	Z 4	—																																																																																																					
市場単価	S	—																																																																																																					
II-2-㊦-27																																																																																																							
積算上の注意事項		(控え頁) 16／19																																																																																																					

改 正 理 由		一部改正		改 正		現 行		備 考																																																																																																																											
現 行				改 正				備 考																																																																																																																											
(3) 暗渠排水管 <table><tr><td>パッケージコード</td><td>CB222770</td><td>施 工 単 位</td><td>m</td></tr><tr><td>施 工 区 分</td><td colspan="3">入 力 条 件</td></tr><tr><td rowspan="4">各 種</td><td>J 1</td><td>J 2</td><td>J 3</td><td>J 4</td></tr><tr><td>作業区分</td><td>管 種 別</td><td>呼 び 径</td><td>継手材料費</td></tr><tr><td>①据 付</td><td>①直管</td><td>① 50 ～ 150 mm</td><td rowspan="2">①要 ②不要</td></tr><tr><td>②撤 去</td><td>②波状管及び 網状管</td><td>② 200 ～ 400 mm ③ 450 ～ 600 mm</td></tr></table> (注) 1. 本コードは、暗渠排水管の切断ロスを含んでいるため、施工量は、ロス率を含まない数量を入力すること。 2. J 1 条件で②を選択した場合は、J 4 条件は選択する必要はない。 3. J 2 条件で①を選択した場合は、J 3 条件で③を選択することは出来ない。 4. J 2 条件で①を選択した場合は、J 4 条件は選択する必要はない。 5. J 1 条件で①、③を選択した場合は、暗渠排水管単価 (Y-1664000) [円／m] を単価登録すること。 (4) フィルター材 <table><tr><td>パッケージコード</td><td>CB222780</td><td>施 工 単 位</td><td>m3</td></tr><tr><td>施 工 区 分</td><td colspan="3">入 力 条 件</td></tr><tr><td rowspan="3">各 種</td><td colspan="3">J 1</td></tr><tr><td colspan="3">フィルター材の種類</td></tr><tr><td colspan="3">(表 4.5)</td></tr></table> (注) 1. 本コードは、フィルター材の材料ロスを含んでいるため、施工量は、ロス率を含まない数量を入力すること。 2. J 1 条件で⑫を選択した場合は、砕石単価 (Y-0241000) [円／m3] を単価登録すること。 表4. 5 フィルター材の種類 <table><tr><th>種 類</th><th>入力番号</th><th>種 類</th><th>入力番号</th></tr><tr><td>クラッシュラン C 80</td><td>①</td><td>コンクリート用骨材 砕石 40-5</td><td>⑦</td></tr><tr><td>" C 40</td><td>②</td><td>単粒度砕石 4 号 30-20</td><td>⑧</td></tr><tr><td>" C 30</td><td>③</td><td>再生クラッシュラン RC 80</td><td>⑨</td></tr><tr><td>粒度調整砕石 M 40</td><td>④</td><td>" RC 40</td><td>⑩</td></tr><tr><td>" M 30</td><td>⑤</td><td>" RC 30</td><td>⑪</td></tr><tr><td>" M 25</td><td>⑥</td><td>Y-0241000 (各種)</td><td>⑫</td></tr></table> II-2-⑩-30				パッケージコード	CB222770	施 工 単 位	m	施 工 区 分	入 力 条 件			各 種	J 1	J 2	J 3	J 4	作業区分	管 種 別	呼 び 径	継手材料費	①据 付	①直管	① 50 ～ 150 mm	①要 ②不要	②撤 去	②波状管及び 網状管	② 200 ～ 400 mm ③ 450 ～ 600 mm	パッケージコード	CB222780	施 工 単 位	m3	施 工 区 分	入 力 条 件			各 種	J 1			フィルター材の種類			(表 4.5)			種 類	入力番号	種 類	入力番号	クラッシュラン C 80	①	コンクリート用骨材 砕石 40-5	⑦	" C 40	②	単粒度砕石 4 号 30-20	⑧	" C 30	③	再生クラッシュラン RC 80	⑨	粒度調整砕石 M 40	④	" RC 40	⑩	" M 30	⑤	" RC 30	⑪	" M 25	⑥	Y-0241000 (各種)	⑫	(3) 暗渠排水管 <table><tr><td>パッケージコード</td><td>CB222770</td><td>施 工 単 位</td><td>m</td></tr><tr><td>施 工 区 分</td><td colspan="3">入 力 条 件</td></tr><tr><td rowspan="4">各 種</td><td>J 1</td><td>J 2</td><td>J 3</td><td>J 4</td></tr><tr><td>作業区分</td><td>管 種 別</td><td>呼 び 径</td><td>継手材料費</td></tr><tr><td>①据 付</td><td>①直管</td><td>① 50 ～ 150 mm</td><td rowspan="2">①要 ②不要</td></tr><tr><td>②撤 去</td><td>②波状管及び 網状管</td><td>② 200 ～ 400 mm ③ 450 ～ 600 mm ④ 700 ～ 1,000mm ⑤ 1,100 ～ 1,500mm</td></tr></table> (注) 1. 本コードは、暗渠排水管の切断ロスを含んでいるため、施工量は、ロス率を含まない数量を入力すること。 2. J 1 条件で②を選択した場合は、J 4 条件は選択する必要はない。 3. J 2 条件で①、②を選択した場合は、J 3 条件で③、④、⑤を選択することは出来ない。 4. J 2 条件で①を選択した場合は、J 4 条件は選択する必要はない。 5. J 1 条件で①、③を選択した場合は、暗渠排水管単価 (Y-1664000) [円／m] を単価登録すること。 表4. 5 フィルター材の種類 <table><tr><th>種 類</th><th>入力番号</th><th>種 類</th><th>入力番号</th></tr><tr><td>クラッシュラン C-80</td><td>①</td><td>コンクリート用骨材 砕石 40-5</td><td>⑦</td></tr><tr><td>" C-40</td><td>②</td><td>単粒度砕石 4 号 30-20</td><td>⑧</td></tr><tr><td>" C-30</td><td>③</td><td>再生クラッシュラン RC-80</td><td>⑨</td></tr><tr><td>粒度調整砕石 M-40</td><td>④</td><td>" RC-40</td><td>⑩</td></tr><tr><td>" M-30</td><td>⑤</td><td>" RC-30</td><td>⑪</td></tr><tr><td>" M-25</td><td>⑥</td><td>Y-0241000 (各種)</td><td>⑫</td></tr></table> 現行どおり				パッケージコード	CB222770	施 工 単 位	m	施 工 区 分	入 力 条 件			各 種	J 1	J 2	J 3	J 4	作業区分	管 種 別	呼 び 径	継手材料費	①据 付	①直管	① 50 ～ 150 mm	①要 ②不要	②撤 去	② 波状管及び 網状管	② 200 ～ 400 mm ③ 450 ～ 600 mm ④ 700 ～ 1,000mm ⑤ 1,100 ～ 1,500mm	種 類	入力番号	種 類	入力番号	クラッシュラン C-80	①	コンクリート用骨材 砕石 40-5	⑦	" C-40	②	単粒度砕石 4 号 30-20	⑧	" C-30	③	再生クラッシュラン RC-80	⑨	粒度調整砕石 M-40	④	" RC-40	⑩	" M-30	⑤	" RC-30	⑪	" M-25	⑥	Y-0241000 (各種)	⑫	記載の修正・削除 (歩掛改定に伴う) 記載の変更	
パッケージコード	CB222770	施 工 単 位	m																																																																																																																																
施 工 区 分	入 力 条 件																																																																																																																																		
各 種	J 1	J 2	J 3	J 4																																																																																																																															
	作業区分	管 種 別	呼 び 径	継手材料費																																																																																																																															
	①据 付	①直管	① 50 ～ 150 mm	①要 ②不要																																																																																																																															
	②撤 去	②波状管及び 網状管	② 200 ～ 400 mm ③ 450 ～ 600 mm																																																																																																																																
パッケージコード	CB222780	施 工 単 位	m3																																																																																																																																
施 工 区 分	入 力 条 件																																																																																																																																		
各 種	J 1																																																																																																																																		
	フィルター材の種類																																																																																																																																		
	(表 4.5)																																																																																																																																		
種 類	入力番号	種 類	入力番号																																																																																																																																
クラッシュラン C 80	①	コンクリート用骨材 砕石 40-5	⑦																																																																																																																																
" C 40	②	単粒度砕石 4 号 30-20	⑧																																																																																																																																
" C 30	③	再生クラッシュラン RC 80	⑨																																																																																																																																
粒度調整砕石 M 40	④	" RC 40	⑩																																																																																																																																
" M 30	⑤	" RC 30	⑪																																																																																																																																
" M 25	⑥	Y-0241000 (各種)	⑫																																																																																																																																
パッケージコード	CB222770	施 工 単 位	m																																																																																																																																
施 工 区 分	入 力 条 件																																																																																																																																		
各 種	J 1	J 2	J 3	J 4																																																																																																																															
	作業区分	管 種 別	呼 び 径	継手材料費																																																																																																																															
	①据 付	①直管	① 50 ～ 150 mm	①要 ②不要																																																																																																																															
	②撤 去	② 波状管及び 網状管	② 200 ～ 400 mm ③ 450 ～ 600 mm ④ 700 ～ 1,000mm ⑤ 1,100 ～ 1,500mm																																																																																																																																
種 類	入力番号	種 類	入力番号																																																																																																																																
クラッシュラン C-80	①	コンクリート用骨材 砕石 40-5	⑦																																																																																																																																
" C-40	②	単粒度砕石 4 号 30-20	⑧																																																																																																																																
" C-30	③	再生クラッシュラン RC-80	⑨																																																																																																																																
粒度調整砕石 M-40	④	" RC-40	⑩																																																																																																																																
" M-30	⑤	" RC-30	⑪																																																																																																																																
" M-25	⑥	Y-0241000 (各種)	⑫																																																																																																																																
積算上の注意事項		(控え頁) 17／19																																																																																																																																	

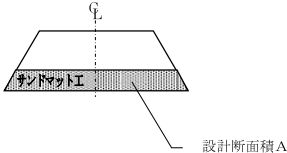
工 種	排水構造物工
-----	--------

改 正 理 由		一部改正		改 正																																																																																																																																
				現 行																																																																																																																																
現 行				改 正				備 考																																																																																																																												
(10) プレキャストマンホール <table><tr><td>パッケージコード</td><td colspan="2">CB222840</td><td>施 工 単 位</td><td colspan="2">基</td></tr><tr><td>施 工 区 分</td><td colspan="5">入 力 条 件</td></tr><tr><td rowspan="4">各 種</td><td>J 1</td><td colspan="2">J 2</td><td colspan="2">J 3</td></tr><tr><td>作業区分</td><td colspan="2">製品質量</td><td colspan="2">基礎碎石</td></tr><tr><td>①据 付</td><td colspan="2">① 2,000 kg／基以下</td><td colspan="2">①有り（円形断面）</td></tr><tr><td>②撤 去</td><td colspan="2">② 2,000 kg／基を超え</td><td colspan="2">②無しまたは</td></tr><tr><td></td><td>③据付・撤去</td><td colspan="2">4,000 kg／基以下</td><td colspan="2">円形断面以外</td></tr></table> (注) 1. J 1 条件で②を選択した場合は、 J 3 条件は選択する必要はない。 2. J 3 条件で②を選択し、「円形断面以外」となる場合は、「第Ⅱ編第 2 章共通工②基礎・裏込碎石工（CB221110）」により別途計上する。 3. J 1 条件で①、③を選択した場合は、マンホール単価（Y-4050001）[円／基] を単価登録すること。 (11) P C 管 <table><tr><td>パッケージコード</td><td colspan="2">CB222760</td><td>施 工 単 位</td><td colspan="2">m</td></tr><tr><td>施 工 区 分</td><td colspan="5">入 力 条 件</td></tr><tr><td rowspan="4">各 種</td><td>J 1</td><td>J 2</td><td>J 3</td><td>J 4</td><td>J 5</td></tr><tr><td>作業区分</td><td>管 径</td><td>固定基礎</td><td>生コンクリート規格</td><td>トラフクレーン及びラフテレーンクレーン賃料補正係数</td></tr><tr><td>①据 付</td><td rowspan="3">(表 4.9)</td><td>①90° 巻き</td><td rowspan="3">(表 4.2)</td><td>①標 準</td></tr><tr><td>②撤 去</td><td>②180° 巻き</td><td>②標準以外</td></tr><tr><td>③据付・撤去</td><td>③無し</td><td>(実数入力)</td></tr></table> (注) 1. ラフテレーンクレーンの賃料補正（夜間作業）を行った場合は、労務費調整係数も入力すること。 2. J 1 条件で①、③を選択した場合は、 J 2 条件で㉔を選択することは出来ない。 3. J 1 条件で②、③を選択した場合は、 J 3、 J 4 条件は選択する必要はない。 4. J 3 条件で③を選択した場合は、 J 4 条件は選択する必要はない。 5. 本コードは、コンクリート、基礎碎石の材料ロスを含む。 6. J 4 条件で㉔を選択した場合は、生コンクリート単価（Y-0210000）[円／m3] を単価登録すること。 表4.9 管径 <table><tr><td>管径(mm)</td><td>600</td><td>700</td><td>800</td><td>900</td><td>1,000</td><td>1,100</td><td>1,200</td><td>1,350</td><td>1,500</td><td>1,650</td></tr><tr><td>入力番号</td><td>①</td><td>②</td><td>③</td><td>④</td><td>⑤</td><td>⑥</td><td>⑦</td><td>⑧</td><td>⑨</td><td>㉔</td></tr><tr><td>管径(mm)</td><td>1,800</td><td>2,000</td><td colspan="8"></td></tr><tr><td>入力番号</td><td>⑪</td><td>⑫</td><td colspan="8"></td></tr></table> (12) P C 管（材料費） <table><tr><td>パッケージコード</td><td colspan="2">CB222761</td><td>施 工 単 位</td><td colspan="2">m</td></tr></table> (注) P C 管単価（Y-0352001）[円／m]を単価登録すること。 Ⅱ-2-㉔-33				パッケージコード	CB222840		施 工 単 位	基		施 工 区 分	入 力 条 件					各 種	J 1	J 2		J 3		作業区分	製品質量		基礎碎石		①据 付	① 2,000 kg／基以下		①有り（円形断面）		②撤 去	② 2,000 kg／基を超え		②無しまたは			③据付・撤去	4,000 kg／基以下		円形断面以外		パッケージコード	CB222760		施 工 単 位	m		施 工 区 分	入 力 条 件					各 種	J 1	J 2	J 3	J 4	J 5	作業区分	管 径	固定基礎	生コンクリート規格	トラフクレーン及びラフテレーンクレーン賃料補正係数	①据 付	(表 4.9)	①90° 巻き	(表 4.2)	①標 準	②撤 去	②180° 巻き	②標準以外	③据付・撤去	③無し	(実数入力)	管径(mm)	600	700	800	900	1,000	1,100	1,200	1,350	1,500	1,650	入力番号	①	②	③	④	⑤	⑥	⑦	⑧	⑨	㉔	管径(mm)	1,800	2,000									入力番号	⑪	⑫									パッケージコード	CB222761		施 工 単 位	m		現行どおり 削除				歩掛の廃止	
パッケージコード	CB222840		施 工 単 位	基																																																																																																																																
施 工 区 分	入 力 条 件																																																																																																																																			
各 種	J 1	J 2		J 3																																																																																																																																
	作業区分	製品質量		基礎碎石																																																																																																																																
	①据 付	① 2,000 kg／基以下		①有り（円形断面）																																																																																																																																
	②撤 去	② 2,000 kg／基を超え		②無しまたは																																																																																																																																
	③据付・撤去	4,000 kg／基以下		円形断面以外																																																																																																																																
パッケージコード	CB222760		施 工 単 位	m																																																																																																																																
施 工 区 分	入 力 条 件																																																																																																																																			
各 種	J 1	J 2	J 3	J 4	J 5																																																																																																																															
	作業区分	管 径	固定基礎	生コンクリート規格	トラフクレーン及びラフテレーンクレーン賃料補正係数																																																																																																																															
	①据 付	(表 4.9)	①90° 巻き	(表 4.2)	①標 準																																																																																																																															
	②撤 去		②180° 巻き		②標準以外																																																																																																																															
③据付・撤去	③無し		(実数入力)																																																																																																																																	
管径(mm)	600	700	800	900	1,000	1,100	1,200	1,350	1,500	1,650																																																																																																																										
入力番号	①	②	③	④	⑤	⑥	⑦	⑧	⑨	㉔																																																																																																																										
管径(mm)	1,800	2,000																																																																																																																																		
入力番号	⑪	⑫																																																																																																																																		
パッケージコード	CB222761		施 工 単 位	m																																																																																																																																
積算上の注意事項				(控え頁)																																																																																																																																
				18／19																																																																																																																																

工 種	排水構造物工
-----	--------

改 正 理 由		一部改正					改 正 現 行																																																																																																																																	
現 行							改 正			備 考																																																																																																																														
(13) コルゲートパイプ <table><tr><td>パッケージコード</td><td>CB222890</td><td>施 工 単 位</td><td>m</td></tr><tr><td>施 工 区 分</td><td colspan="3">入 力 条 件</td></tr><tr><td rowspan="5">各 種</td><td>J 1</td><td>J 2</td><td>J 3</td></tr><tr><td>作業区分</td><td>規 格</td><td>パイプ径</td></tr><tr><td>①据 付</td><td rowspan="3">①フランジ型 ②ラップ型 (表 4.10)</td><td rowspan="3"></td></tr><tr><td>②撤 去</td></tr><tr><td>③据付・撤去</td></tr></table> (注) 1. J 2 条件で①を選択した場合は、J 3 条件で③～⑥を選択することは出来ない。 2. J 2 条件で②を選択した場合は、J 3 条件で①, ②を選択することは出来ない。 3. J 1 条件で①, ③を選択した場合は、コルゲートパイプ単価 (Y-1660000) [円／m] を単価登録すること。 表4. 10 パイプ径 <table><tr><td>パイプ径(mm)</td><td>800以上 1,200以下</td><td>1,200を超え 1,800以下</td><td>2,000以上 2,500以下</td><td>2,500を超え 3,000以下</td><td>3,000を超え 3,500以下</td><td>3,500を超え 4,500以下</td></tr><tr><td>入力番号</td><td>①</td><td>②</td><td>③</td><td>④</td><td>⑤</td><td>⑥</td></tr></table> (14) コルゲートフリュウム <table><tr><td>パッケージコード</td><td>CB222830</td><td>施 工 単 位</td><td>m</td></tr><tr><td>施 工 区 分</td><td colspan="3">入 力 条 件</td></tr><tr><td rowspan="5">各 種</td><td>J 1</td><td>J 2</td><td></td></tr><tr><td>作業区分</td><td>規 格</td><td></td></tr><tr><td>①据 付</td><td rowspan="3">(表 4.11)</td><td rowspan="3"></td></tr><tr><td>②撤 去</td></tr><tr><td>③据付・撤去</td></tr></table> (注) J 1 条件で①, ③を選択した場合は、コルゲートフリュウム単価 (Y-1661000) [円／m] を単価登録すること。 表4. 11 規格 <table><tr><td>規 格</td><td>350×350以上 550×550以下</td><td>550×550を超え 750×750以下</td></tr><tr><td>入力番号</td><td>①</td><td>②</td></tr></table> II-2-㉔-34							パッケージコード	CB222890	施 工 単 位	m	施 工 区 分	入 力 条 件			各 種	J 1	J 2	J 3	作業区分	規 格	パイプ径	①据 付	①フランジ型 ②ラップ型 (表 4.10)		②撤 去	③据付・撤去	パイプ径(mm)	800以上 1,200以下	1,200を超え 1,800以下	2,000以上 2,500以下	2,500を超え 3,000以下	3,000を超え 3,500以下	3,500を超え 4,500以下	入力番号	①	②	③	④	⑤	⑥	パッケージコード	CB222830	施 工 単 位	m	施 工 区 分	入 力 条 件			各 種	J 1	J 2		作業区分	規 格		①据 付	(表 4.11)		②撤 去	③据付・撤去	規 格	350×350以上 550×550以下	550×550を超え 750×750以下	入力番号	①	②	(11) コルゲートパイプ <table><tr><td>パッケージコード</td><td>CB222890</td><td>施 工 単 位</td><td>m</td></tr><tr><td>施 工 区 分</td><td colspan="3">入 力 条 件</td></tr><tr><td rowspan="5">各 種</td><td>J 1</td><td>J 2</td><td>J 3</td></tr><tr><td>作業区分</td><td>規 格</td><td>パイプ径</td></tr><tr><td>①据 付</td><td rowspan="3">①フランジ型 ②ラップ型 (表 4. 9)</td><td rowspan="3"></td></tr><tr><td>②撤 去</td></tr><tr><td>③据付・撤去</td></tr></table> (注) 1. J 2 条件で①を選択した場合は、J 3 条件で③～⑥を選択することは出来ない。 2. J 2 条件で②を選択した場合は、J 3 条件で①, ②を選択することは出来ない。 3. J 1 条件で①, ③を選択した場合は、コルゲートパイプ単価 (Y-1660000) [円／m] を単価登録すること。 表4. 9 パイプ径 <table><tr><td>パイプ径(mm)</td><td>800以上 1,200以下</td><td>1,200を超え 1,800以下</td><td>2,000以上 2,500以下</td><td>2,500を超え 3,000以下</td><td>3,000を超え 3,500以下</td><td>3,500を超え 4,500以下</td></tr><tr><td>入力番号</td><td>①</td><td>②</td><td>③</td><td>④</td><td>⑤</td><td>⑥</td></tr></table> (12) コルゲートフリュウム <table><tr><td>パッケージコード</td><td>CB222830</td><td>施 工 単 位</td><td>m</td></tr><tr><td>施 工 区 分</td><td colspan="3">入 力 条 件</td></tr><tr><td rowspan="5">各 種</td><td>J 1</td><td>J 2</td><td></td></tr><tr><td>作業区分</td><td>規 格</td><td></td></tr><tr><td>①据 付</td><td rowspan="3">(表 4. 10)</td><td rowspan="3"></td></tr><tr><td>②撤 去</td></tr><tr><td>③据付・撤去</td></tr></table> (注) J 1 条件で①, ③を選択した場合は、コルゲートフリュウム単価 (Y-1661000) [円／m] を単価登録すること。 表4. 10 規格 <table><tr><td>規 格</td><td>350×350以上 550×550以下</td><td>550×550を超え 750×750以下</td></tr><tr><td>入力番号</td><td>①</td><td>②</td></tr></table>							パッケージコード	CB222890	施 工 単 位	m	施 工 区 分	入 力 条 件			各 種	J 1	J 2	J 3	作業区分	規 格	パイプ径	①据 付	①フランジ型 ②ラップ型 (表 4. 9)		②撤 去	③据付・撤去	パイプ径(mm)	800以上 1,200以下	1,200を超え 1,800以下	2,000以上 2,500以下	2,500を超え 3,000以下	3,000を超え 3,500以下	3,500を超え 4,500以下	入力番号	①	②	③	④	⑤	⑥	パッケージコード	CB222830	施 工 単 位	m	施 工 区 分	入 力 条 件			各 種	J 1	J 2		作業区分	規 格		①据 付	(表 4. 10)		②撤 去	③据付・撤去	規 格	350×350以上 550×550以下	550×550を超え 750×750以下	入力番号	①	②	記載の変更		
パッケージコード	CB222890	施 工 単 位	m																																																																																																																																					
施 工 区 分	入 力 条 件																																																																																																																																							
各 種	J 1	J 2	J 3																																																																																																																																					
	作業区分	規 格	パイプ径																																																																																																																																					
	①据 付	①フランジ型 ②ラップ型 (表 4.10)																																																																																																																																						
	②撤 去																																																																																																																																							
	③据付・撤去																																																																																																																																							
パイプ径(mm)	800以上 1,200以下	1,200を超え 1,800以下	2,000以上 2,500以下	2,500を超え 3,000以下	3,000を超え 3,500以下	3,500を超え 4,500以下																																																																																																																																		
入力番号	①	②	③	④	⑤	⑥																																																																																																																																		
パッケージコード	CB222830	施 工 単 位	m																																																																																																																																					
施 工 区 分	入 力 条 件																																																																																																																																							
各 種	J 1	J 2																																																																																																																																						
	作業区分	規 格																																																																																																																																						
	①据 付	(表 4.11)																																																																																																																																						
	②撤 去																																																																																																																																							
	③据付・撤去																																																																																																																																							
規 格	350×350以上 550×550以下	550×550を超え 750×750以下																																																																																																																																						
入力番号	①	②																																																																																																																																						
パッケージコード	CB222890	施 工 単 位	m																																																																																																																																					
施 工 区 分	入 力 条 件																																																																																																																																							
各 種	J 1	J 2	J 3																																																																																																																																					
	作業区分	規 格	パイプ径																																																																																																																																					
	①据 付	①フランジ型 ②ラップ型 (表 4. 9)																																																																																																																																						
	②撤 去																																																																																																																																							
	③据付・撤去																																																																																																																																							
パイプ径(mm)	800以上 1,200以下	1,200を超え 1,800以下	2,000以上 2,500以下	2,500を超え 3,000以下	3,000を超え 3,500以下	3,500を超え 4,500以下																																																																																																																																		
入力番号	①	②	③	④	⑤	⑥																																																																																																																																		
パッケージコード	CB222830	施 工 単 位	m																																																																																																																																					
施 工 区 分	入 力 条 件																																																																																																																																							
各 種	J 1	J 2																																																																																																																																						
	作業区分	規 格																																																																																																																																						
	①据 付	(表 4. 10)																																																																																																																																						
	②撤 去																																																																																																																																							
	③据付・撤去																																																																																																																																							
規 格	350×350以上 550×550以下	550×550を超え 750×750以下																																																																																																																																						
入力番号	①	②																																																																																																																																						
積算上の注意事項		(控え頁) 19／19																																																																																																																																						

工 種	軟弱地盤処理工(サンドマット工)
-----	------------------

改 正 理 由	一部改正	改 正 現 行																																																				
現 行		改 正	備 考																																																			
(2) 代表機材規格 下表機材は、当該施工パッケージで使用されている機材の代表的な規格である。 表3.2 サンドマット 代表機材規格一覧 <table><tr><th>項目</th><th></th><th>代表機材規格</th><th>備考</th></tr><tr><td rowspan="3">機械</td><td>K1</td><td>ブルドーザ [湿地・低騒音型・排出ガス対策型 (第3次基準値)] 7t 級</td><td>賃料</td></tr><tr><td>K2</td><td>バックホウ (クローラ型) [標準型・超低騒音型・排出ガス対策型 (第3次基準値)] 山積 0.8m3 (平積 0.6m3)</td><td></td></tr><tr><td>K3</td><td>—</td><td></td></tr><tr><td rowspan="4">労務</td><td>R1</td><td>運転手 (特殊)</td><td></td></tr><tr><td>R2</td><td>普通作業員</td><td></td></tr><tr><td>R3</td><td>—</td><td></td></tr><tr><td>R4</td><td>—</td><td></td></tr><tr><td rowspan="4">材料</td><td>Z1</td><td>軽油 パトロール給油</td><td></td></tr><tr><td>Z2</td><td>砂 再生砂</td><td>砂材料費有りの場合</td></tr><tr><td>Z3</td><td>—</td><td></td></tr><tr><td>Z4</td><td>—</td><td></td></tr><tr><td>市場単価</td><td>S</td><td>—</td><td></td></tr></table> 3-2 対象体積、対象面積 サンドマット用砂量の設計体積は、次式による。 $V_m = A \times L$ V_m : サンドマット用砂の設計体積 (m³) A : 設計断面積 (m²) L : 設計延長 (m)  図3-1 施工図		項目		代表機材規格	備考	機械	K1	ブルドーザ [湿地・低騒音型・排出ガス対策型 (第3次基準値)] 7t 級	賃料	K2	バックホウ (クローラ型) [標準型・超低騒音型・排出ガス対策型 (第3次基準値)] 山積 0.8m3 (平積 0.6m3)		K3	—		労務	R1	運転手 (特殊)		R2	普通作業員		R3	—		R4	—		材料	Z1	軽油 パトロール給油		Z2	砂 再生砂	砂材料費有りの場合	Z3	—		Z4	—		市場単価	S	—		現行どおり <table><tr><td rowspan="2">機械</td><td>K1</td><td>ブルドーザ [湿地・低騒音型・排出ガス対策型 (2014年規制)] 7t 級</td><td>賃料</td></tr><tr><td>K2</td><td>バックホウ (クローラ型) [標準型・超低騒音型・排出ガス対策型 (2014年規制)] 山積 0.8m3 (平積 0.6m3)</td><td></td></tr></table> 現行どおり	機械	K1	ブルドーザ [湿地・低騒音型・排出ガス対策型 (2014年規制)] 7t 級	賃料	K2	バックホウ (クローラ型) [標準型・超低騒音型・排出ガス対策型 (2014年規制)] 山積 0.8m3 (平積 0.6m3)		記載の修正・削除 (歩掛改定に伴う)
項目		代表機材規格	備考																																																			
機械	K1	ブルドーザ [湿地・低騒音型・排出ガス対策型 (第3次基準値)] 7t 級	賃料																																																			
	K2	バックホウ (クローラ型) [標準型・超低騒音型・排出ガス対策型 (第3次基準値)] 山積 0.8m3 (平積 0.6m3)																																																				
	K3	—																																																				
労務	R1	運転手 (特殊)																																																				
	R2	普通作業員																																																				
	R3	—																																																				
	R4	—																																																				
材料	Z1	軽油 パトロール給油																																																				
	Z2	砂 再生砂	砂材料費有りの場合																																																			
	Z3	—																																																				
	Z4	—																																																				
市場単価	S	—																																																				
機械	K1	ブルドーザ [湿地・低騒音型・排出ガス対策型 (2014年規制)] 7t 級	賃料																																																			
	K2	バックホウ (クローラ型) [標準型・超低騒音型・排出ガス対策型 (2014年規制)] 山積 0.8m3 (平積 0.6m3)																																																				
積算上の注意事項			(控え頁) 1/1																																																			

工 種	粉体噴射攪拌工 (DJM工法)
-----	-----------------

改 正 理 由	廃止	改 正 現 行	
現 行	改 正	備 考	
⑪-2 粉体噴射攪拌工 (DJM工法) 1. 適 用 範 囲 本資料は、粘性土、砂質土、シルト及び有機質土等の軟弱地盤を対象として行う粉体噴射攪拌工（改良材がセメント系及び石灰系の場合）に適用する。 1-1 適用出来る範囲 1-1-1 粉体噴射攪拌 以下のいずれかの条件に該当する場合 (1) 杭径 1,000 mm、打設長が 3 m を超え 33m 以下で軸間距離 800 mm から 1,500 mm の二軸施工の場合 (2) 杭径 1,000 mm、打設長が 3 m を超え 20m 以下で下記条件のいずれかに該当する単軸施工の場合 - 作業面積が狭く、二軸施工機の移動が困難な場合、又は二軸用改良材供給プラントの設置が困難な場合 - 杭の配列により二軸施工が困難な場合 - 地盤条件により二軸施工が困難な場合 1-1-2 粉体噴射攪拌（移設） 以下のいずれかの条件に該当する場合 (1) 施工範囲が改良材供給機を中心に半径約 75m を超え、改良材供給設備を移設しなければならない場合 (2) 同一現場内に施工箇所が 2 箇所以上あり、改良材供給設備を移設しなければならない場合 1-1-3 粉体噴射攪拌（軸間変更） (1) 二軸施工の場合に同一現場において、粉体噴射攪拌機の軸間変更を必要とする場合 2. 施 工 概 要 2-1 施工フロー 施工フローは、下記を標準とする。 運搬 組立 位置決め 貫入 貫入完了 引抜・改良材噴射 引抜完了 移動 分解 運搬 次の杭へ 軸間変更 現場内移設 (注) 本施工パッケージで対応しているのは、二重実線部分のみである。 II-2-⑪-4	削除	歩掛の廃止	
積算上の注意事項			

(控え頁)

1 / 7

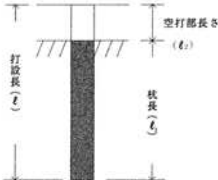
工 種	粉体噴射攪拌工(DJM工法)
-----	----------------

改 正 理 由	廃止	改 正 現 行																																					
現 行		改 正	備 考																																				
3. 施工パッケージ 3-1 粉体噴射攪拌 (1) 条件区分 条件区分は、次表を標準とする。 表3.1 粉体噴射攪拌 積算条件区分一覧 (積算単位：本) <table><tr><th>現場制約の有無</th><th>打設長</th><th>杭長</th><th>改良材使用量</th></tr><tr><td rowspan="17">有り</td><td rowspan="5">3m を超え 6m 未満</td><td>2m 未満</td><td rowspan="24">実数入力 (t/m)</td></tr><tr><td>2m 以上 3m 未満</td></tr><tr><td>3m 以上 4m 未満</td></tr><tr><td>4m 以上 5m 未満</td></tr><tr><td>5m 以上 6m 未満</td></tr><tr><td rowspan="6">6m 以上 10m 未満</td><td>4m 以上 5m 未満</td></tr><tr><td>5m 以上 6m 未満</td></tr><tr><td>6m 以上 7m 未満</td></tr><tr><td>7m 以上 8m 未満</td></tr><tr><td>8m 以上 9m 未満</td></tr><tr><td>9m 以上 10m 未満</td></tr><tr><td rowspan="4">10m 以上 14m 未満</td><td>8m 以上 9m 未満</td></tr><tr><td>9m 以上 10m 未満</td></tr><tr><td>10m 以上 12m 未満</td></tr><tr><td>12m 以上 14m 未満</td></tr><tr><td rowspan="2">14m 以上 17m 未満</td><td>12m 以上 14m 未満</td></tr><tr><td>14m 以上 15m 未満</td></tr><tr><td rowspan="7">無し</td><td rowspan="7">3m を超え 6m 未満</td><td>15m 以上 17m 未満</td></tr><tr><td>17m 以上 20m 以下</td></tr><tr><td>2m 未満</td></tr><tr><td>2m 以上 3m 未満</td></tr><tr><td>3m 以上 4m 未満</td></tr><tr><td>4m 以上 5m 未満</td></tr><tr><td>5m 以上 6m 未満</td></tr></table> II-2-⑪-5		現場制約の有無	打設長	杭長	改良材使用量	有り	3m を超え 6m 未満	2m 未満	実数入力 (t/m)	2m 以上 3m 未満	3m 以上 4m 未満	4m 以上 5m 未満	5m 以上 6m 未満	6m 以上 10m 未満	4m 以上 5m 未満	5m 以上 6m 未満	6m 以上 7m 未満	7m 以上 8m 未満	8m 以上 9m 未満	9m 以上 10m 未満	10m 以上 14m 未満	8m 以上 9m 未満	9m 以上 10m 未満	10m 以上 12m 未満	12m 以上 14m 未満	14m 以上 17m 未満	12m 以上 14m 未満	14m 以上 15m 未満	無し	3m を超え 6m 未満	15m 以上 17m 未満	17m 以上 20m 以下	2m 未満	2m 以上 3m 未満	3m 以上 4m 未満	4m 以上 5m 未満	5m 以上 6m 未満	削除	歩掛の廃止
現場制約の有無	打設長	杭長	改良材使用量																																				
有り	3m を超え 6m 未満	2m 未満	実数入力 (t/m)																																				
		2m 以上 3m 未満																																					
		3m 以上 4m 未満																																					
		4m 以上 5m 未満																																					
		5m 以上 6m 未満																																					
	6m 以上 10m 未満	4m 以上 5m 未満																																					
		5m 以上 6m 未満																																					
		6m 以上 7m 未満																																					
		7m 以上 8m 未満																																					
		8m 以上 9m 未満																																					
		9m 以上 10m 未満																																					
	10m 以上 14m 未満	8m 以上 9m 未満																																					
		9m 以上 10m 未満																																					
		10m 以上 12m 未満																																					
		12m 以上 14m 未満																																					
	14m 以上 17m 未満	12m 以上 14m 未満																																					
		14m 以上 15m 未満																																					
無し	3m を超え 6m 未満	15m 以上 17m 未満																																					
		17m 以上 20m 以下																																					
		2m 未満																																					
		2m 以上 3m 未満																																					
		3m 以上 4m 未満																																					
		4m 以上 5m 未満																																					
		5m 以上 6m 未満																																					
積算上の注意事項			(控え頁) 2/7																																				

工 種	粉体噴射攪拌工(DJM工法)
-----	----------------

改 正 理 由	廃止	改 正 現 行																																		
現 行		改 正	備 考																																	
<table><tr><th>現場制約の有無</th><th>打設長</th><th>杭長</th><th>改良材使用量</th></tr><tr><td rowspan="22">無し</td><td rowspan="6">6m 以上 10m 未満</td><td>4m 以上 5m 未満</td><td rowspan="22">実数入力 (t/m)</td></tr><tr><td>5m 以上 6m 未満</td></tr><tr><td>6m 以上 7m 未満</td></tr><tr><td>7m 以上 8m 未満</td></tr><tr><td>8m 以上 9m 未満</td></tr><tr><td>9m 以上 10m 未満</td></tr><tr><td rowspan="6">10m 以上 15m 未満</td><td>8m 以上 9m 未満</td></tr><tr><td>9m 以上 10m 未満</td></tr><tr><td>10m 以上 12m 未満</td></tr><tr><td>12m 以上 14m 未満</td></tr><tr><td>14m 以上 15m 未満</td></tr><tr><td>12m 以上 14m 未満</td></tr><tr><td rowspan="4">15m 以上 20m 以下</td><td>14m 以上 15m 未満</td></tr><tr><td>15m 以上 17m 未満</td></tr><tr><td>17m 以上 20m 以下</td></tr><tr><td>17m 以上 20m 以下</td></tr><tr><td rowspan="2">20m を超え 27m 未満</td><td>20m を超え 23m 未満</td></tr><tr><td>23m 以上 27m 未満</td></tr><tr><td rowspan="4">27m 以上 33m 以下</td><td>23m 以上 27m 未満</td></tr><tr><td>27m 以上 32m 未満</td></tr><tr><td>32m 以上 33m 以下</td></tr><tr><td></td></tr></table> (注) 1. 上表は、粉体改良材の噴射攪拌による改良柱の形成、施工機械用及び改良材供給設備用足場材（敷鉄板）の設置・撤去、改良後の整地、足場材質料、空気圧縮機の賃料及び運転経費、特許使用料、電力に関する経費等、その施工に必要な全ての機械・労務・材料費（損料等）を含む。 2. 攪拌翼が貫入出来ない場合や引抜きに障害となる転石等の除去は、掘削の施工パッケージを別途計上する。 3. 現場制約の有無について 有り：下記の条件のいずれかに該当する場合に選択 ・作業面積が狭く、二軸施工機の移動が困難な場合、又は二軸用改良材供給プラントの設置が困難な場合 ・杭の配列により二軸施工が困難な場合 ・地盤条件により二軸施工が困難な場合 4. 打設長（m）は次式による。 打設長（m）＝空打部長さ＋杭長 5. 安定処理工（土木用安定シートも含む）の施工経費は、別途計上する。 6. 改良材使用量 改良材は、セメント系、石灰系を標準とし、現場条件により決定する。なお、改良材のロス（損失＋杭頭・着底部処理を含む）を含んでいるので、改良材使用量は実数量（ロスによる割増をしない数量）とする。（標準ロス率は、＋0.15） 7. 施工本数は杭間の移動、位置決め、貫入、引抜き（改良材噴射）までの一連の作業のものである。 8. 二軸施工の杭施工本数は、1 軸当り 1 本とする。 9. 現場内移設に伴い、粉体噴射攪拌機本体の分解・組立が必要となった場合は、分解・組立費を別途計上する。 10. 改良材供給設備の現場内移設は、3－2 粉体噴射攪拌（移設）より別途計上する。 11. 軸間変更を行う場合は、3－3 粉体噴射攪拌（軸間変更）より別途計上する。 II-2-①-6		現場制約の有無	打設長	杭長	改良材使用量	無し	6m 以上 10m 未満	4m 以上 5m 未満	実数入力 (t/m)	5m 以上 6m 未満	6m 以上 7m 未満	7m 以上 8m 未満	8m 以上 9m 未満	9m 以上 10m 未満	10m 以上 15m 未満	8m 以上 9m 未満	9m 以上 10m 未満	10m 以上 12m 未満	12m 以上 14m 未満	14m 以上 15m 未満	12m 以上 14m 未満	15m 以上 20m 以下	14m 以上 15m 未満	15m 以上 17m 未満	17m 以上 20m 以下	17m 以上 20m 以下	20m を超え 27m 未満	20m を超え 23m 未満	23m 以上 27m 未満	27m 以上 33m 以下	23m 以上 27m 未満	27m 以上 32m 未満	32m 以上 33m 以下		削除	歩掛の廃止
現場制約の有無	打設長	杭長	改良材使用量																																	
無し	6m 以上 10m 未満	4m 以上 5m 未満	実数入力 (t/m)																																	
		5m 以上 6m 未満																																		
		6m 以上 7m 未満																																		
		7m 以上 8m 未満																																		
		8m 以上 9m 未満																																		
		9m 以上 10m 未満																																		
	10m 以上 15m 未満	8m 以上 9m 未満																																		
		9m 以上 10m 未満																																		
		10m 以上 12m 未満																																		
		12m 以上 14m 未満																																		
		14m 以上 15m 未満																																		
		12m 以上 14m 未満																																		
	15m 以上 20m 以下	14m 以上 15m 未満																																		
		15m 以上 17m 未満																																		
		17m 以上 20m 以下																																		
		17m 以上 20m 以下																																		
	20m を超え 27m 未満	20m を超え 23m 未満																																		
		23m 以上 27m 未満																																		
	27m 以上 33m 以下	23m 以上 27m 未満																																		
		27m 以上 32m 未満																																		
		32m 以上 33m 以下																																		
積算上の注意事項			（控え頁） 3／7																																	

工 種	粉体噴射攪拌工(DJM工法)
-----	----------------

改 正 理 由	廃止	改 正 現 行																																																											
現 行		改 正	備 考																																																										
 図3-1 施工図 (2) 代表機材規格 下表機材は、当該施工パッケージで使用されている機材材の代表的な規格である。 <table><tr><th colspan="3">表3-2 粉体噴射攪拌 代表機材規格一覧</th></tr><tr><th>項目</th><th>代表機材規格</th><th>備考</th></tr><tr><td rowspan="4">機械</td><td>粉体噴射攪拌機 【単軸（油圧）・スキッド式】 攪拌モータ 15/19.6kW×1台 最大改良深度20m</td><td>現場制約有りの場合</td></tr><tr><td>粉体噴射攪拌機 【二軸（電動）・クローラ式】 攪拌モータ 65kW×2台 最大改良深度26m</td><td>現場制約無し (打設長20m以下)の場合</td></tr><tr><td>粉体噴射攪拌機 【二軸（電動）・クローラ式】 攪拌モータ 90kW×2台 最大改良深度33m</td><td>現場制約無し (打設長20mを超える)の場合</td></tr><tr><td>K2</td><td>—</td><td></td></tr><tr><td rowspan="4">労働</td><td>K3</td><td>—</td><td></td></tr><tr><td>R1</td><td>特殊作業員</td><td></td></tr><tr><td>R2</td><td>土木一般世帯役</td><td></td></tr><tr><td>R3</td><td>運転手（特殊）</td><td></td></tr><tr><td rowspan="4">材料</td><td>R4</td><td>普通作業員</td><td></td></tr><tr><td>Z1</td><td>セメント 高伊B</td><td></td></tr><tr><td>Z2</td><td>軽油 ノートロール給油</td><td>現場制約無しの場合</td></tr><tr><td>Z3</td><td>—</td><td></td></tr><tr><td rowspan="2">市場単価</td><td>Z4</td><td>—</td><td></td></tr><tr><td>S</td><td>—</td><td></td></tr></table> 3-2 粉体噴射攪拌（移設） (1) 条件区分 条件区分は、次表を標準とする。 <table><tr><th colspan="2">表3-3 粉体噴射攪拌(移設) 積算条件区分一覧 (積算単位: 面)</th></tr><tr><th colspan="2">施工方法</th></tr><tr><td colspan="2">単軸施工</td></tr><tr><td colspan="2">二軸施工</td></tr></table> (注) 上表は粉体噴射攪拌における改良材供給機、改良材貯蔵槽、発動発電機、空気圧縮機、圧縮空気除湿機、空気槽、制油室、ホース及びケーブル等の設備の移設、制油室移設後の調整費等、その施工に必要な全ての機械・労働・材料費（損料等）を含む。 II-2-①-7		表3-2 粉体噴射攪拌 代表機材規格一覧			項目	代表機材規格	備考	機械	粉体噴射攪拌機 【単軸（油圧）・スキッド式】 攪拌モータ 15/19.6kW×1台 最大改良深度20m	現場制約有りの場合	粉体噴射攪拌機 【二軸（電動）・クローラ式】 攪拌モータ 65kW×2台 最大改良深度26m	現場制約無し (打設長20m以下)の場合	粉体噴射攪拌機 【二軸（電動）・クローラ式】 攪拌モータ 90kW×2台 最大改良深度33m	現場制約無し (打設長20mを超える)の場合	K2	—		労働	K3	—		R1	特殊作業員		R2	土木一般世帯役		R3	運転手（特殊）		材料	R4	普通作業員		Z1	セメント 高伊B		Z2	軽油 ノートロール給油	現場制約無しの場合	Z3	—		市場単価	Z4	—		S	—		表3-3 粉体噴射攪拌(移設) 積算条件区分一覧 (積算単位: 面)		施工方法		単軸施工		二軸施工		削除		歩掛の廃止
表3-2 粉体噴射攪拌 代表機材規格一覧																																																													
項目	代表機材規格	備考																																																											
機械	粉体噴射攪拌機 【単軸（油圧）・スキッド式】 攪拌モータ 15/19.6kW×1台 最大改良深度20m	現場制約有りの場合																																																											
	粉体噴射攪拌機 【二軸（電動）・クローラ式】 攪拌モータ 65kW×2台 最大改良深度26m	現場制約無し (打設長20m以下)の場合																																																											
	粉体噴射攪拌機 【二軸（電動）・クローラ式】 攪拌モータ 90kW×2台 最大改良深度33m	現場制約無し (打設長20mを超える)の場合																																																											
	K2	—																																																											
労働	K3	—																																																											
	R1	特殊作業員																																																											
	R2	土木一般世帯役																																																											
	R3	運転手（特殊）																																																											
材料	R4	普通作業員																																																											
	Z1	セメント 高伊B																																																											
	Z2	軽油 ノートロール給油	現場制約無しの場合																																																										
	Z3	—																																																											
市場単価	Z4	—																																																											
	S	—																																																											
表3-3 粉体噴射攪拌(移設) 積算条件区分一覧 (積算単位: 面)																																																													
施工方法																																																													
単軸施工																																																													
二軸施工																																																													
積算上の注意事項				(控え頁) 4/7																																																									

工 種	粉体噴射攪拌工(DJM工法)
-----	----------------

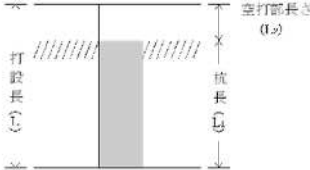
改 正 理 由	廃止	改 正 現 行																																																																																									
現 行		改 正	備 考																																																																																								
(2) 代表機労材規格 下表機労材は、当該施工パッケージで使用されている機労材の代表的な規格である。 <table><caption>表3.4 粉体噴射攪拌(移設) 代表機労材規格一覧</caption><tr><th colspan="2">項目</th><th>代表機労材規格</th><th>備考</th></tr><tr><td rowspan="3">機械</td><td>K 1</td><td>ラフテレーンクレーン 排出ガス対策型(第1次基準値) 油圧伸縮ジブ型 25t 吊</td><td>賃料</td></tr><tr><td>K 2</td><td>—</td><td></td></tr><tr><td>K 3</td><td>—</td><td></td></tr><tr><td rowspan="4">労務</td><td>R 1</td><td>特殊作業員</td><td></td></tr><tr><td>R 2</td><td>土木一般世話役</td><td></td></tr><tr><td>R 3</td><td>普通作業員</td><td></td></tr><tr><td>R 4</td><td>—</td><td></td></tr><tr><td rowspan="4">材料</td><td>Z 1</td><td>—</td><td></td></tr><tr><td>Z 2</td><td>—</td><td></td></tr><tr><td>Z 3</td><td>—</td><td></td></tr><tr><td>Z 4</td><td>—</td><td></td></tr><tr><td>市場単価</td><td>S</td><td>—</td><td></td></tr></table> 3-3 粉体噴射攪拌(軸間変更) (1) 条件区分 軸間変更における積算条件区分はない。 積算単位は、回とする。 (注) 粉体噴射攪拌における粉体噴射攪拌機の軸間変更等、その施工に必要な全ての機械・労務・材料費(損料等)を含む。 (2) 代表機労材規格 下表機労材は、当該施工パッケージで使用されている機労材の代表的な規格である。 <table><caption>表3.5 粉体噴射攪拌(軸間変更) 代表機労材規格一覧</caption><tr><th colspan="2">項目</th><th>代表機労材規格</th><th>備考</th></tr><tr><td rowspan="3">機械</td><td>K 1</td><td>ラフテレーンクレーン 排出ガス対策型(第1次基準値) 油圧伸縮ジブ型 25t 吊</td><td>賃料</td></tr><tr><td>K 2</td><td>—</td><td></td></tr><tr><td>K 3</td><td>—</td><td></td></tr><tr><td rowspan="4">労務</td><td>R 1</td><td>特殊作業員</td><td></td></tr><tr><td>R 2</td><td>普通作業員</td><td></td></tr><tr><td>R 3</td><td>土木一般世話役</td><td></td></tr><tr><td>R 4</td><td>—</td><td></td></tr><tr><td rowspan="4">材料</td><td>Z 1</td><td>—</td><td></td></tr><tr><td>Z 2</td><td>—</td><td></td></tr><tr><td>Z 3</td><td>—</td><td></td></tr><tr><td>Z 4</td><td>—</td><td></td></tr><tr><td>市場単価</td><td>S</td><td>—</td><td></td></tr></table> II-2-⑪-8		項目		代表機労材規格	備考	機械	K 1	ラフテレーンクレーン 排出ガス対策型(第1次基準値) 油圧伸縮ジブ型 25t 吊	賃料	K 2	—		K 3	—		労務	R 1	特殊作業員		R 2	土木一般世話役		R 3	普通作業員		R 4	—		材料	Z 1	—		Z 2	—		Z 3	—		Z 4	—		市場単価	S	—		項目		代表機労材規格	備考	機械	K 1	ラフテレーンクレーン 排出ガス対策型(第1次基準値) 油圧伸縮ジブ型 25t 吊	賃料	K 2	—		K 3	—		労務	R 1	特殊作業員		R 2	普通作業員		R 3	土木一般世話役		R 4	—		材料	Z 1	—		Z 2	—		Z 3	—		Z 4	—		市場単価	S	—		削除	歩掛の廃止
項目		代表機労材規格	備考																																																																																								
機械	K 1	ラフテレーンクレーン 排出ガス対策型(第1次基準値) 油圧伸縮ジブ型 25t 吊	賃料																																																																																								
	K 2	—																																																																																									
	K 3	—																																																																																									
労務	R 1	特殊作業員																																																																																									
	R 2	土木一般世話役																																																																																									
	R 3	普通作業員																																																																																									
	R 4	—																																																																																									
材料	Z 1	—																																																																																									
	Z 2	—																																																																																									
	Z 3	—																																																																																									
	Z 4	—																																																																																									
市場単価	S	—																																																																																									
項目		代表機労材規格	備考																																																																																								
機械	K 1	ラフテレーンクレーン 排出ガス対策型(第1次基準値) 油圧伸縮ジブ型 25t 吊	賃料																																																																																								
	K 2	—																																																																																									
	K 3	—																																																																																									
労務	R 1	特殊作業員																																																																																									
	R 2	普通作業員																																																																																									
	R 3	土木一般世話役																																																																																									
	R 4	—																																																																																									
材料	Z 1	—																																																																																									
	Z 2	—																																																																																									
	Z 3	—																																																																																									
	Z 4	—																																																																																									
市場単価	S	—																																																																																									
積算上の注意事項			(控え頁) 5/7																																																																																								

工 種	粉体噴射攪拌工(DJM工法)
-----	----------------

改 正 理 由		廃止		改 正		現 行																																																																																													
現 行				改 正				備 考																																																																																											
4. 施工単価入力基準表 (1)粉体噴射攪拌 <table><tr><td>パッケージコード</td><td>CB223110</td><td>施工単位</td><td>本</td></tr><tr><td rowspan="2">施 工 区 分</td><td colspan="4">入 力 条 件</td></tr><tr><td>J 1</td><td>J 2</td><td>J 3</td><td>J 4</td></tr><tr><td>各 種</td><td>現場制約の有無 ①有り ②無し</td><td>打設長 (表 4.1)</td><td>杭 長 (表 4.2)</td><td>改良材使用量 (t/m) (実数入力)</td></tr></table> (注) 1. 改良材単価 (Y-0800008) [円／t]を単価登録すること。 2. 本コードは、改良材の材料ロス（損失+杭頭・着底部処理を含む）を含んでいるため、J 4 条件は、ロス率を含まない数量を入力すること。 3. J 1 条件で①を選択した場合はJ 2 条件は（表 4.1）の①～⑤より、②を選択した場合は（表 4.1）の⑥～⑩より選択すること。 4. J 1 条件で①を選択した場合は、J 3 条件で⑩～⑯の選択は出来ない。 5. 先掘が必要な場合は、「第Ⅱ編第1 章②土工」（CB210100）で別途計上すること。 6. 安定処理工（土木用安定シート等も含む）の施工経費は、必要に応じて別途計上する。 表4.1 打設長 <table><tr><th colspan="2">現場制約有り</th><th colspan="2">現場制約無し</th></tr><tr><th>打 設 長 (m)</th><th>入力番号</th><th>打 設 長 (m)</th><th>入力番号</th></tr><tr><td>3mを超え6m未満</td><td>①</td><td>3mを超え6m未満</td><td>⑥</td></tr><tr><td>6m以上10m未満</td><td>②</td><td>6m以上10m未満</td><td>⑦</td></tr><tr><td>10m以上14m未満</td><td>③</td><td>10m以上15m未満</td><td>⑧</td></tr><tr><td>14m以上17m未満</td><td>④</td><td>15m以上20m以下</td><td>⑨</td></tr><tr><td>17m以上20m以下</td><td>⑤</td><td>20mを超え27m未満</td><td>⑩</td></tr><tr><td></td><td></td><td>27m以上33m以下</td><td>⑪</td></tr></table> 表4.2 杭 長 <table><tr><th>杭長</th><th>入力番号</th><th>杭長</th><th>入力番号</th></tr><tr><td>2m 未満</td><td>①</td><td>10m 以上 12m 未満</td><td>⑩</td></tr><tr><td>2m 以上 3m 未満</td><td>②</td><td>12m 以上 14m 未満</td><td>⑪</td></tr><tr><td>3m 以上 4m 未満</td><td>③</td><td>14m 以上 15m 未満</td><td>⑫</td></tr><tr><td>4m 以上 5m 未満</td><td>④</td><td>15m 以上 17m 未満</td><td>⑬</td></tr><tr><td>5m 以上 6m 未満</td><td>⑤</td><td>17m 以上 20m 以下</td><td>⑭</td></tr><tr><td>6m 以上 7m 未満</td><td>⑥</td><td>20m を超え 23m 未満</td><td>⑮</td></tr><tr><td>7m 以上 8m 未満</td><td>⑦</td><td>23m 以上 27m 未満</td><td>⑯</td></tr><tr><td>8m 以上 9m 未満</td><td>⑧</td><td>27m 以上 32m 未満</td><td>⑰</td></tr><tr><td>9m 以上 10m 未満</td><td>⑨</td><td>32m 以上 33m 以下</td><td>⑱</td></tr></table> Ⅱ-2-⑪-9				パッケージコード	CB223110	施工単位	本	施 工 区 分	入 力 条 件				J 1	J 2	J 3	J 4	各 種	現場制約の有無 ①有り ②無し	打設長 (表 4.1)	杭 長 (表 4.2)	改良材使用量 (t/m) (実数入力)	現場制約有り		現場制約無し		打 設 長 (m)	入力番号	打 設 長 (m)	入力番号	3mを超え6m未満	①	3mを超え6m未満	⑥	6m以上10m未満	②	6m以上10m未満	⑦	10m以上14m未満	③	10m以上15m未満	⑧	14m以上17m未満	④	15m以上20m以下	⑨	17m以上20m以下	⑤	20mを超え27m未満	⑩			27m以上33m以下	⑪	杭長	入力番号	杭長	入力番号	2m 未満	①	10m 以上 12m 未満	⑩	2m 以上 3m 未満	②	12m 以上 14m 未満	⑪	3m 以上 4m 未満	③	14m 以上 15m 未満	⑫	4m 以上 5m 未満	④	15m 以上 17m 未満	⑬	5m 以上 6m 未満	⑤	17m 以上 20m 以下	⑭	6m 以上 7m 未満	⑥	20m を超え 23m 未満	⑮	7m 以上 8m 未満	⑦	23m 以上 27m 未満	⑯	8m 以上 9m 未満	⑧	27m 以上 32m 未満	⑰	9m 以上 10m 未満	⑨	32m 以上 33m 以下	⑱	削除				歩掛の廃止	
パッケージコード	CB223110	施工単位	本																																																																																																
施 工 区 分	入 力 条 件																																																																																																		
	J 1	J 2	J 3	J 4																																																																																															
各 種	現場制約の有無 ①有り ②無し	打設長 (表 4.1)	杭 長 (表 4.2)	改良材使用量 (t/m) (実数入力)																																																																																															
現場制約有り		現場制約無し																																																																																																	
打 設 長 (m)	入力番号	打 設 長 (m)	入力番号																																																																																																
3mを超え6m未満	①	3mを超え6m未満	⑥																																																																																																
6m以上10m未満	②	6m以上10m未満	⑦																																																																																																
10m以上14m未満	③	10m以上15m未満	⑧																																																																																																
14m以上17m未満	④	15m以上20m以下	⑨																																																																																																
17m以上20m以下	⑤	20mを超え27m未満	⑩																																																																																																
		27m以上33m以下	⑪																																																																																																
杭長	入力番号	杭長	入力番号																																																																																																
2m 未満	①	10m 以上 12m 未満	⑩																																																																																																
2m 以上 3m 未満	②	12m 以上 14m 未満	⑪																																																																																																
3m 以上 4m 未満	③	14m 以上 15m 未満	⑫																																																																																																
4m 以上 5m 未満	④	15m 以上 17m 未満	⑬																																																																																																
5m 以上 6m 未満	⑤	17m 以上 20m 以下	⑭																																																																																																
6m 以上 7m 未満	⑥	20m を超え 23m 未満	⑮																																																																																																
7m 以上 8m 未満	⑦	23m 以上 27m 未満	⑯																																																																																																
8m 以上 9m 未満	⑧	27m 以上 32m 未満	⑰																																																																																																
9m 以上 10m 未満	⑨	32m 以上 33m 以下	⑱																																																																																																
積算上の注意事項		(控え頁) 6／7																																																																																																	

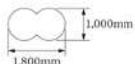
工 種	粉体噴射攪拌工 (DJM工法)
-----	-----------------

改 正 理 由	廃止	改 正 現 行																																					
現 行		改 正	備 考																																				
(2) 粉体噴射攪拌 (移設) <table><tr><td>パッケージコード</td><td>CB223130</td><td>施工単位</td><td>回</td></tr><tr><td>施 工 区 分</td><td colspan="3">入 力 条 件</td></tr><tr><td rowspan="3">各 種</td><td>J 1</td><td colspan="2">J 2</td></tr><tr><td>施工方法</td><td colspan="2">ラフテレーンクレーン 賃料補正係数</td></tr><tr><td>①単軸施工 ②二軸施工</td><td colspan="2">①標準 ②標準以外 (実数入力)</td></tr></table> (注) ラフテレーンクレーンの賃料補正 (夜間作業) を行った場合は、労務費調整係数も入力すること。 (3) 粉体噴射攪拌 (軸間変更) <table><tr><td>パッケージコード</td><td>CB223140</td><td>施工単位</td><td>回</td></tr><tr><td>施 工 区 分</td><td colspan="3">入 力 条 件</td></tr><tr><td rowspan="3">各 種</td><td>J 1</td><td colspan="2"></td></tr><tr><td>ラフテレーンクレーン 賃料補正係数</td><td colspan="2"></td></tr><tr><td>①標準 ②標準以外 (実数入力)</td><td colspan="2"></td></tr></table> (注) ラフテレーンクレーンの賃料補正 (夜間作業) を行った場合は、労務費調整係数も入力すること。 II-2-⑩-10		パッケージコード	CB223130	施工単位	回	施 工 区 分	入 力 条 件			各 種	J 1	J 2		施工方法	ラフテレーンクレーン 賃料補正係数		①単軸施工 ②二軸施工	①標準 ②標準以外 (実数入力)		パッケージコード	CB223140	施工単位	回	施 工 区 分	入 力 条 件			各 種	J 1			ラフテレーンクレーン 賃料補正係数			①標準 ②標準以外 (実数入力)			削除	歩掛の廃止
パッケージコード	CB223130	施工単位	回																																				
施 工 区 分	入 力 条 件																																						
各 種	J 1	J 2																																					
	施工方法	ラフテレーンクレーン 賃料補正係数																																					
	①単軸施工 ②二軸施工	①標準 ②標準以外 (実数入力)																																					
パッケージコード	CB223140	施工単位	回																																				
施 工 区 分	入 力 条 件																																						
各 種	J 1																																						
	ラフテレーンクレーン 賃料補正係数																																						
	①標準 ②標準以外 (実数入力)																																						
積算上の注意事項			(控え頁) 7 / 7																																				

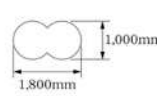
改 正 理 由	一部改正	改 正		備 考																																																																			
		現 行																																																																					
現 行		改 正		備 考																																																																			
表3. 3 機種 の 選 定 <table><tr><th rowspan="3">機 械 名</th><th rowspan="3">規 格</th><th rowspan="3">単 位</th><th colspan="4">二軸施工（変位低減型）</th><th rowspan="3">摘 要</th></tr><tr><th colspan="4">φ1,600mm</th></tr><tr><th>打設長(L) 3mを超え 10m以下</th><th>打設長(L) 10mを超え 20m以下</th><th>打設長(L) 20mを超え 26m以下</th><th>打設長(L) 26mを超え 36m以下</th></tr><tr><td rowspan="5">深 層 混 合 処 理 機 (スラリー式)</td><td>二軸式 90kW×2 最大施工深度10m</td><td>台</td><td>1</td><td>—</td><td>—</td><td>—</td><td></td></tr><tr><td>二軸式 90kW×2 最大施工深度20m</td><td>"</td><td>—</td><td>1</td><td>—</td><td>—</td><td></td></tr><tr><td>二軸式 90kW×2 最大施工深度26m</td><td>"</td><td>—</td><td>—</td><td>1</td><td>—</td><td></td></tr><tr><td>二軸式 90kW×2 最大施工深度36m</td><td>"</td><td>—</td><td>—</td><td>—</td><td>1</td><td></td></tr><tr><td>スラリプラント (全自動) 能力40m³/h</td><td>基</td><td>1</td><td>1</td><td>1</td><td>1</td><td></td></tr></table> (注) 1. 深層混合処理機には、施工管理計、システム管理計を含む。 2. スラリプラントには、スクリュコンベヤ、セメントサイロ、水槽、水中ポンプ、アジテータ、グラウトポンプ及びスラリプラント制御盤を含む。  図3-1 施工図 4. 編 成 人 員 スラリー攪拌工の日当り編成人員は、次表を標準とする。 <table><tr><th colspan="4">表4. 1 日当り編成人員 (人/日)</th></tr><tr><th>工 法</th><th>土木一般世話役</th><th>特殊作業員</th><th>普通作業員</th></tr><tr><td>単 軸 施 工</td><td>1</td><td>2</td><td>1</td></tr><tr><td>二 軸 施 工 (変位低減型)</td><td>1</td><td>3</td><td>1</td></tr></table> (注) 1. 編成人員には、スラリプラントの管理運転労務を含む。 2. 深層混合処理機の運転労務歩掛は、「第2編1章一般事項①建設機械運転労務」による。 II-2-①-13		機 械 名	規 格		単 位	二軸施工（変位低減型）				摘 要	φ1,600mm				打設長(L) 3mを超え 10m以下	打設長(L) 10mを超え 20m以下	打設長(L) 20mを超え 26m以下	打設長(L) 26mを超え 36m以下	深 層 混 合 処 理 機 (スラリー式)	二軸式 90kW×2 最大施工深度10m	台	1	—	—	—		二軸式 90kW×2 最大施工深度20m	"	—	1	—	—		二軸式 90kW×2 最大施工深度26m	"	—	—	1	—		二軸式 90kW×2 最大施工深度36m	"	—	—	—	1		スラリプラント (全自動) 能力40m ³ /h	基	1	1	1	1		表4. 1 日当り編成人員 (人/日)				工 法	土木一般世話役	特殊作業員	普通作業員	単 軸 施 工	1	2	1	二 軸 施 工 (変位低減型)	1	3	1	記載の修正
機 械 名	規 格			単 位		二軸施工（変位低減型）					摘 要																																																												
						φ1,600mm																																																																	
		打設長(L) 3mを超え 10m以下	打設長(L) 10mを超え 20m以下		打設長(L) 20mを超え 26m以下	打設長(L) 26mを超え 36m以下																																																																	
深 層 混 合 処 理 機 (スラリー式)	二軸式 90kW×2 最大施工深度10m	台	1	—	—	—																																																																	
	二軸式 90kW×2 最大施工深度20m	"	—	1	—	—																																																																	
	二軸式 90kW×2 最大施工深度26m	"	—	—	1	—																																																																	
	二軸式 90kW×2 最大施工深度36m	"	—	—	—	1																																																																	
	スラリプラント (全自動) 能力40m ³ /h	基	1	1	1	1																																																																	
表4. 1 日当り編成人員 (人/日)																																																																							
工 法	土木一般世話役	特殊作業員	普通作業員																																																																				
単 軸 施 工	1	2	1																																																																				
二 軸 施 工 (変位低減型)	1	3	1																																																																				
積算上の注意事項		記載の修正		(控え頁) 1/7																																																																			

工 種	スラリー攪拌工
-----	---------

改 正 理 由	一部改正		改 正																																																																				
			現 行																																																																				
現 行			改 正	備 考																																																																			
5. 施 工 歩 掛 5-1 杭施工本数 1日当り杭施工本数は、次表を標準とする。 表5. 1 1日当り杭施工本数(N) (本／日) <table><tr><th>打設長 L (m)</th><th>単 軸 施 工 (杭径 φ800mm～φ1,200mm)</th></tr><tr><td>3mを超え 4m未満</td><td>21</td></tr><tr><td>4m以上 5m未満</td><td>18</td></tr><tr><td>5m以上 6m未満</td><td>15</td></tr><tr><td>6m以上 7m未満</td><td>14</td></tr><tr><td>7m以上 8m未満</td><td>12</td></tr><tr><td>8m以上 9m未満</td><td>11</td></tr><tr><td>9m以上 10m以下</td><td>10</td></tr></table> 表5. 2 1日当り杭施工本数(N) (本／日) <table><tr><th>打設長 L (m)</th><th>単 軸 施 工 (杭径 φ1,000mm～φ1,600mm)</th></tr><tr><td>10mを超え 12m未満</td><td>7</td></tr><tr><td>12m以上 14m未満</td><td>6</td></tr><tr><td>14m以上 19m未満</td><td>5</td></tr><tr><td>19m以上 25m未満</td><td>4</td></tr><tr><td>25m以上 30m以下</td><td>3</td></tr></table> 表5. 3 1日当り杭施工本数(N) (本／日) <table><tr><th>打設長 L (m)</th><th>単 軸 施 工 (杭径 φ1,800mm)</th></tr><tr><td>3mを超え 4m未満</td><td>11</td></tr><tr><td>4m以上 5m未満</td><td>10</td></tr><tr><td>5m以上 6m未満</td><td>9</td></tr><tr><td>6m以上 7m未満</td><td>8</td></tr><tr><td>7m以上 8m未満</td><td>7</td></tr><tr><td>8m以上 12m未満</td><td>6</td></tr><tr><td>12m以上 16m未満</td><td>5</td></tr><tr><td>16m以上 21m未満</td><td>4</td></tr><tr><td>21m以上 25m未満</td><td>3</td></tr><tr><td>25m以上 27m以下</td><td>2</td></tr></table> II-2-⑪-14			打設長 L (m)	単 軸 施 工 (杭径 φ800mm～φ1,200mm)	3mを超え 4m未満	21	4m以上 5m未満	18	5m以上 6m未満	15	6m以上 7m未満	14	7m以上 8m未満	12	8m以上 9m未満	11	9m以上 10m以下	10	打設長 L (m)	単 軸 施 工 (杭径 φ1,000mm～φ1,600mm)	10mを超え 12m未満	7	12m以上 14m未満	6	14m以上 19m未満	5	19m以上 25m未満	4	25m以上 30m以下	3	打設長 L (m)	単 軸 施 工 (杭径 φ1,800mm)	3mを超え 4m未満	11	4m以上 5m未満	10	5m以上 6m未満	9	6m以上 7m未満	8	7m以上 8m未満	7	8m以上 12m未満	6	12m以上 16m未満	5	16m以上 21m未満	4	21m以上 25m未満	3	25m以上 27m以下	2	5. 施 工 歩 掛 5-1 杭施工本数 1日当り杭施工本数は、次表を標準とする。 表5. 1 1日当り杭施工本数(N) (本／日) <table><tr><th>打設長 L (m)</th><th>単 軸 施 工 (杭径 φ800mm～φ1,200mm)</th></tr><tr><td>3mを超え 4m未満</td><td>20</td></tr><tr><td>4m以上 5m未満</td><td>17</td></tr><tr><td>5m以上 6m未満</td><td>14</td></tr><tr><td>6m以上 7m未満</td><td>13</td></tr><tr><td>7m以上 9m未満</td><td>11</td></tr><tr><td>8m以上 9m未満</td><td>11</td></tr><tr><td>9m以上 10m以下</td><td>10</td></tr></table> 現行どおり		打設長 L (m)	単 軸 施 工 (杭径 φ800mm～φ1,200mm)	3mを超え 4m未満	20	4m以上 5m未満	17	5m以上 6m未満	14	6m以上 7m未満	13	7m以上 9m未満	11	8m以上 9m未満	11	9m以上 10m以下	10	記載の修正
打設長 L (m)	単 軸 施 工 (杭径 φ800mm～φ1,200mm)																																																																						
3mを超え 4m未満	21																																																																						
4m以上 5m未満	18																																																																						
5m以上 6m未満	15																																																																						
6m以上 7m未満	14																																																																						
7m以上 8m未満	12																																																																						
8m以上 9m未満	11																																																																						
9m以上 10m以下	10																																																																						
打設長 L (m)	単 軸 施 工 (杭径 φ1,000mm～φ1,600mm)																																																																						
10mを超え 12m未満	7																																																																						
12m以上 14m未満	6																																																																						
14m以上 19m未満	5																																																																						
19m以上 25m未満	4																																																																						
25m以上 30m以下	3																																																																						
打設長 L (m)	単 軸 施 工 (杭径 φ1,800mm)																																																																						
3mを超え 4m未満	11																																																																						
4m以上 5m未満	10																																																																						
5m以上 6m未満	9																																																																						
6m以上 7m未満	8																																																																						
7m以上 8m未満	7																																																																						
8m以上 12m未満	6																																																																						
12m以上 16m未満	5																																																																						
16m以上 21m未満	4																																																																						
21m以上 25m未満	3																																																																						
25m以上 27m以下	2																																																																						
打設長 L (m)	単 軸 施 工 (杭径 φ800mm～φ1,200mm)																																																																						
3mを超え 4m未満	20																																																																						
4m以上 5m未満	17																																																																						
5m以上 6m未満	14																																																																						
6m以上 7m未満	13																																																																						
7m以上 9m未満	11																																																																						
8m以上 9m未満	11																																																																						
9m以上 10m以下	10																																																																						
積算上の注意事項			(控え頁) 2／7																																																																				

改 正 理 由		一 部 改 正		改 正		現 行		備 考																																																																									
現 行				改 正				備 考																																																																									
表 5. 4 1 日 当 り 杭 施 工 本 数 (N) (本 / 日) <table><tr><th>打 設 長 L (m)</th><th>単 軸 施 工 (杭 径 φ 2, 000mm)</th></tr><tr><td>3m を 短 え</td><td>4m 未 満</td></tr><tr><td>4m 以 上</td><td>5m 未 満</td></tr><tr><td>5m 以 上</td><td>6m 未 満</td></tr><tr><td>6m 以 上</td><td>7m 未 満</td></tr><tr><td>7m 以 上</td><td>9m 未 満</td></tr><tr><td>9m 以 上</td><td>13m 未 満</td></tr><tr><td>13m 以 上</td><td>17m 未 満</td></tr><tr><td>17m 以 上</td><td>22m 未 満</td></tr><tr><td>22m 以 上</td><td>27m 以 下</td></tr></table> (注) 1. 施 工 本 数 は 杭 間 の 移 動 (敷 設 板 の 設 置 ・ 撤 去 含 む) 、 位 置 決 め 、 貫 入 、 攪 拌 、 繰 り 返 し 、 引 抜 き ま で の 一 連 の 作 業 の も の で あ る 。 2. 現 場 内 移 動 に 伴 い 、 処 理 機 本 体 の 分 解 ・ 組 立 が 必 要 と な っ た 場 合 は 、 分 解 ・ 組 立 費 を 別 途 計 上 す る 。 3. ス ラ リ プ ラ ン ト の 現 場 内 移 動 は 、 「 5 - 4 ス ラ リ プ ラ ン ト 現 場 内 移 動 歩 操 」 に よ り 別 途 計 上 す る 。 4. 攪 拌 翼 の 貫 入 、 引 抜 き に 障 害 と な る 転 石 等 の 除 去 に つ い て は 、 「 5 - 5 そ の 他 (1) 」 に よ り 別 途 計 上 す る 。 5. 安 定 処 理 工 が 必 要 な 場 合 は 、 別 途 計 上 す る 。 表 5. 5 1 日 当 り 杭 施 工 本 数 (N) (本 / 日) <table><tr><th>打 設 長 L (m)</th><th>二 軸 施 工 (杭 径 φ 1, 000mm)</th></tr><tr><td>3m を 短 え</td><td>4m 未 満</td></tr><tr><td>4m 以 上</td><td>5m 未 満</td></tr><tr><td>5m 以 上</td><td>6m 未 満</td></tr><tr><td>6m 以 上</td><td>7m 未 満</td></tr><tr><td>7m 以 上</td><td>9m 未 満</td></tr><tr><td>9m 以 上</td><td>10m 未 満</td></tr><tr><td>10m 以 上</td><td>12m 未 満</td></tr><tr><td>13m 以 上</td><td>15m 未 満</td></tr><tr><td>15m 以 上</td><td>18m 未 満</td></tr><tr><td>18m 以 上</td><td>22m 未 満</td></tr><tr><td>22m 以 上</td><td>30m 未 満</td></tr><tr><td>30m 以 上</td><td>40m 以 下</td></tr></table> (注) 1. 施 工 本 数 は 杭 間 の 移 動 (敷 設 板 の 設 置 ・ 撤 去 含 む) 、 位 置 決 め 、 貫 入 、 攪 拌 、 繰 り 返 し 、 引 抜 き ま で の 一 連 の 作 業 の も の で あ る 。 2. 現 場 内 移 動 に 伴 い 、 処 理 機 本 体 の 分 解 ・ 組 立 が 必 要 と な っ た 場 合 は 、 分 解 ・ 組 立 費 を 別 途 計 上 す る 。 3. ス ラ リ プ ラ ン ト の 現 場 内 移 動 は 、 「 5 - 4 ス ラ リ プ ラ ン ト 現 場 内 移 動 歩 操 」 に よ り 別 途 計 上 す る 。 4. 攪 拌 翼 の 貫 入 、 引 抜 き に 障 害 と な る 転 石 等 の 除 去 に つ い て は 、 「 5 - 5 そ の 他 (1) 」 に よ り 別 途 計 上 す る 。 5. 安 定 処 理 工 が 必 要 な 場 合 は 、 別 途 計 上 す る 。 6. 二 軸 施 工 の 改 良 断 面 図 は 、 下 図 を 標 準 と す る 。  図 5-1 改 良 断 面 図 II - 2 - ① - 15				打 設 長 L (m)	単 軸 施 工 (杭 径 φ 2, 000mm)	3m を 短 え	4m 未 満	4m 以 上	5m 未 満	5m 以 上	6m 未 満	6m 以 上	7m 未 満	7m 以 上	9m 未 満	9m 以 上	13m 未 満	13m 以 上	17m 未 満	17m 以 上	22m 未 満	22m 以 上	27m 以 下	打 設 長 L (m)	二 軸 施 工 (杭 径 φ 1, 000mm)	3m を 短 え	4m 未 満	4m 以 上	5m 未 満	5m 以 上	6m 未 満	6m 以 上	7m 未 満	7m 以 上	9m 未 満	9m 以 上	10m 未 満	10m 以 上	12m 未 満	13m 以 上	15m 未 満	15m 以 上	18m 未 満	18m 以 上	22m 未 満	22m 以 上	30m 未 満	30m 以 上	40m 以 下	表 5. 5 1 日 当 り 杭 施 工 本 数 (N) (本 / 日) <table><tr><th>打 設 長 L (m)</th><th>二 軸 施 工 (杭 径 φ 1, 000mm)</th></tr><tr><td>3m を 短 え</td><td>4m 未 満</td></tr><tr><td>4m 以 上</td><td>5m 未 満</td></tr><tr><td>5m 以 上</td><td>7m 未 満</td></tr><tr><td>6m 以 上</td><td>7m 未 満</td></tr><tr><td>7m 以 上</td><td>9m 未 満</td></tr><tr><td>9m 以 上</td><td>10m 未 満</td></tr><tr><td>10m 以 上</td><td>12m 未 満</td></tr><tr><td>12m 以 上</td><td>15m 未 満</td></tr><tr><td>15m 以 上</td><td>18m 未 満</td></tr><tr><td>18m 以 上</td><td>22m 未 満</td></tr><tr><td>22m 以 上</td><td>30m 未 満</td></tr><tr><td>30m 以 上</td><td>40m 以 下</td></tr></table>				打 設 長 L (m)	二 軸 施 工 (杭 径 φ 1, 000mm)	3m を 短 え	4m 未 満	4m 以 上	5m 未 満	5m 以 上	7m 未 満	6m 以 上	7m 未 満	7m 以 上	9m 未 満	9m 以 上	10m 未 満	10m 以 上	12m 未 満	12m 以 上	15m 未 満	15m 以 上	18m 未 満	18m 以 上	22m 未 満	22m 以 上	30m 未 満	30m 以 上	40m 以 下	記載の修正	
打 設 長 L (m)	単 軸 施 工 (杭 径 φ 2, 000mm)																																																																																
3m を 短 え	4m 未 満																																																																																
4m 以 上	5m 未 満																																																																																
5m 以 上	6m 未 満																																																																																
6m 以 上	7m 未 満																																																																																
7m 以 上	9m 未 満																																																																																
9m 以 上	13m 未 満																																																																																
13m 以 上	17m 未 満																																																																																
17m 以 上	22m 未 満																																																																																
22m 以 上	27m 以 下																																																																																
打 設 長 L (m)	二 軸 施 工 (杭 径 φ 1, 000mm)																																																																																
3m を 短 え	4m 未 満																																																																																
4m 以 上	5m 未 満																																																																																
5m 以 上	6m 未 満																																																																																
6m 以 上	7m 未 満																																																																																
7m 以 上	9m 未 満																																																																																
9m 以 上	10m 未 満																																																																																
10m 以 上	12m 未 満																																																																																
13m 以 上	15m 未 満																																																																																
15m 以 上	18m 未 満																																																																																
18m 以 上	22m 未 満																																																																																
22m 以 上	30m 未 満																																																																																
30m 以 上	40m 以 下																																																																																
打 設 長 L (m)	二 軸 施 工 (杭 径 φ 1, 000mm)																																																																																
3m を 短 え	4m 未 満																																																																																
4m 以 上	5m 未 満																																																																																
5m 以 上	7m 未 満																																																																																
6m 以 上	7m 未 満																																																																																
7m 以 上	9m 未 満																																																																																
9m 以 上	10m 未 満																																																																																
10m 以 上	12m 未 満																																																																																
12m 以 上	15m 未 満																																																																																
15m 以 上	18m 未 満																																																																																
18m 以 上	22m 未 満																																																																																
22m 以 上	30m 未 満																																																																																
30m 以 上	40m 以 下																																																																																
積算上の注意事項				(控え頁) 3 / 7																																																																													

工 種	スラリー攪拌工
-----	---------

改 正 理 由	一部改正		改 正 現 行																																																	
現 行		改 正		備 考																																																
表 5. 6 1日当り杭施工本数(N) (本/日) <table><tr><th>打設長 L (m)</th><th>二軸施工 (変位低減型) (杭径 φ1,000mm)</th></tr><tr><td>3mを超え 3.5m未満</td><td>12</td></tr><tr><td>3.5m以上 4.5m未満</td><td>11</td></tr><tr><td>4.5m以上 5.5m未満</td><td>10</td></tr><tr><td>5.5m以上 7m未満</td><td>9</td></tr><tr><td>7m以上 9m未満</td><td>8</td></tr><tr><td>9m以上 11m未満</td><td>7</td></tr><tr><td>11m以上 14m未満</td><td>6</td></tr><tr><td>14m以上 19m未満</td><td>5</td></tr><tr><td>19m以上 26m未満</td><td>4</td></tr><tr><td>26m以上 39m未満</td><td>3</td></tr><tr><td>39m以上 40m以下</td><td>2</td></tr></table> (注) 1. 施工本数は杭間の移動(敷鉄板の設置・撤去含む)、位置決め、貫入、攪拌、繰り返し、引抜きまでの一連の作業のものである。また、排出土処理作業を含む。 2. 現場内移設に伴い、処理機本体の分解・組立が必要となった場合は、分解・組立費を別途計上する。 3. スラリプラントの現場内移設は、「5-4 スラリプラント現場内移設歩掛」により別途計上する。 4. 攪拌翼の貫入、引抜きに障害となる転石等の除去については、「5-5 その他(1)」により別途計上する。 5. 安定処理工が必要な場合は、別途計上する。 6. 二軸施工の改良断面図は、下図を標準とする。  図5-2 改良断面図 II-2-⑪-16		打設長 L (m)	二軸施工 (変位低減型) (杭径 φ1,000mm)	3mを超え 3.5m未満	12	3.5m以上 4.5m未満	11	4.5m以上 5.5m未満	10	5.5m以上 7m未満	9	7m以上 9m未満	8	9m以上 11m未満	7	11m以上 14m未満	6	14m以上 19m未満	5	19m以上 26m未満	4	26m以上 39m未満	3	39m以上 40m以下	2	表 5. 6 1日当り杭施工本数(N) (本/日) <table><tr><th>打設長 L (m)</th><th>二軸施工 (変位低減型) (杭径 φ1,000mm)</th></tr><tr><td>3mを超え 4.5m未満</td><td>11</td></tr><tr><td>3.5m以上 4.5m未満</td><td>11</td></tr><tr><td>4.5m以上 5.5m未満</td><td>10</td></tr><tr><td>5.5m以上 7m未満</td><td>9</td></tr><tr><td>7m以上 9m未満</td><td>8</td></tr><tr><td>9m以上 11m未満</td><td>7</td></tr><tr><td>11m以上 14m未満</td><td>6</td></tr><tr><td>14m以上 19m未満</td><td>5</td></tr><tr><td>19m以上 26m未満</td><td>4</td></tr><tr><td>26m以上 39m未満</td><td>3</td></tr><tr><td>39m以上 40m以下</td><td>2</td></tr></table> 現行どおり		打設長 L (m)	二軸施工 (変位低減型) (杭径 φ1,000mm)	3mを超え 4.5m未満	11	3.5m以上 4.5m未満	11	4.5m以上 5.5m未満	10	5.5m以上 7m未満	9	7m以上 9m未満	8	9m以上 11m未満	7	11m以上 14m未満	6	14m以上 19m未満	5	19m以上 26m未満	4	26m以上 39m未満	3	39m以上 40m以下	2	記載の修正
打設長 L (m)	二軸施工 (変位低減型) (杭径 φ1,000mm)																																																			
3mを超え 3.5m未満	12																																																			
3.5m以上 4.5m未満	11																																																			
4.5m以上 5.5m未満	10																																																			
5.5m以上 7m未満	9																																																			
7m以上 9m未満	8																																																			
9m以上 11m未満	7																																																			
11m以上 14m未満	6																																																			
14m以上 19m未満	5																																																			
19m以上 26m未満	4																																																			
26m以上 39m未満	3																																																			
39m以上 40m以下	2																																																			
打設長 L (m)	二軸施工 (変位低減型) (杭径 φ1,000mm)																																																			
3mを超え 4.5m未満	11																																																			
3.5m以上 4.5m未満	11																																																			
4.5m以上 5.5m未満	10																																																			
5.5m以上 7m未満	9																																																			
7m以上 9m未満	8																																																			
9m以上 11m未満	7																																																			
11m以上 14m未満	6																																																			
14m以上 19m未満	5																																																			
19m以上 26m未満	4																																																			
26m以上 39m未満	3																																																			
39m以上 40m以下	2																																																			
積算上の注意事項				(控え頁) 4/7																																																

工 種	スラリー攪拌工
-----	---------

改 正 理 由		一部改正		改 正		現 行																																																																																																																																																																																																
現 行				改 正				備 考																																																																																																																																																																																														
6. 単 価 表 (1) スラリー攪拌工杭長〇〇m 1 本当り単価表 <table><tr><th colspan="2">施工歩掛コード</th><th colspan="3">WB23210</th></tr><tr><th>名 称</th><th>規 格</th><th>単位</th><th>数量</th><th>摘 要</th></tr><tr><td>土 木 一 般 世 話 役</td><td></td><td>人</td><td>$\frac{1}{N} \times 1$</td><td>表4.1 表5.1～表5.7</td></tr><tr><td>特 殊 作 業 員</td><td></td><td>〃</td><td>$\frac{1}{N} \times 2 (3)$</td><td>表4.1 表5.1～表5.7</td></tr><tr><td>普 通 作 業 員</td><td></td><td>〃</td><td>$\frac{1}{N} \times 1$</td><td>表4.1 表5.1～表5.7</td></tr><tr><td>改 良 材</td><td></td><td>t</td><td>V</td><td>式5.1, 表5.8</td></tr><tr><td>深層混合処理機運転</td><td></td><td>日</td><td>$\frac{1}{N}$</td><td>表3.1～表3.3 表5.1～表5.7 機械損料</td></tr><tr><td>スラリプラント運転</td><td></td><td>〃</td><td>$\frac{1}{N}$</td><td>表3.1～表3.3 表5.1～表5.7 機械損料</td></tr><tr><td>諸 雑 費</td><td></td><td>式</td><td>1</td><td>表5.9</td></tr><tr><td>特 許 料 金</td><td></td><td>〃</td><td>1</td><td>必要に応じて計上</td></tr><tr><td>計</td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr></table> (注) N : 1 日当り杭施工本数 (本/日) V : 1 本当り改良材使用量 (t/本) () 書き : 二軸施工 (変位低減型) の場合に適用する。 (2) スラリプラント現場内移送 1 回当り単価表 <table><tr><th colspan="2">施工歩掛コード</th><th colspan="3">WB23230</th></tr><tr><th>名 称</th><th>規 格</th><th>単位</th><th>数量</th><th>摘 要</th></tr><tr><td>土 木 一 般 世 話 役</td><td></td><td>人</td><td></td><td>表5.10</td></tr><tr><td>特 殊 作 業 員</td><td></td><td>〃</td><td></td><td>〃</td></tr><tr><td>普 通 作 業 員</td><td></td><td>〃</td><td></td><td>〃</td></tr><tr><td>ラフテレーンクレーン</td><td>油圧伸縮ジブ型・ 排出ガス対策型(第2次基準値) 25t吊</td><td>日</td><td></td><td>表5.10 機械賃料</td></tr><tr><td>諸 雑 費</td><td></td><td>式</td><td>1</td><td></td></tr><tr><td>計</td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr></table>				施工歩掛コード		WB23210			名 称	規 格	単位	数量	摘 要	土 木 一 般 世 話 役		人	$\frac{1}{N} \times 1$	表4.1 表5.1～表5.7	特 殊 作 業 員		〃	$\frac{1}{N} \times 2 (3)$	表4.1 表5.1～表5.7	普 通 作 業 員		〃	$\frac{1}{N} \times 1$	表4.1 表5.1～表5.7	改 良 材		t	V	式5.1, 表5.8	深層混合処理機運転		日	$\frac{1}{N}$	表3.1～表3.3 表5.1～表5.7 機械損料	スラリプラント運転		〃	$\frac{1}{N}$	表3.1～表3.3 表5.1～表5.7 機械損料	諸 雑 費		式	1	表5.9	特 許 料 金		〃	1	必要に応じて計上	計					施工歩掛コード		WB23230			名 称	規 格	単位	数量	摘 要	土 木 一 般 世 話 役		人		表5.10	特 殊 作 業 員		〃		〃	普 通 作 業 員		〃		〃	ラフテレーンクレーン	油圧伸縮ジブ型・ 排出ガス対策型(第2次基準値) 25t吊	日		表5.10 機械賃料	諸 雑 費		式	1		計					6. 単 価 表 (1) スラリー攪拌工杭長〇〇m 1 本当り単価表 <table><tr><th colspan="2">施工歩掛コード</th><th colspan="3">WB23210</th></tr><tr><th>名 称</th><th>規 格</th><th>単位</th><th>数量</th><th>摘 要</th></tr><tr><td>土 木 一 般 世 話 役</td><td></td><td>人</td><td>$\frac{1}{N} \times 1$</td><td>表4.1 表5.1～表5.7</td></tr><tr><td>特 殊 作 業 員</td><td></td><td>〃</td><td>$\frac{1}{N} \times 1 (2)$</td><td>表4.1 表5.1～表5.7</td></tr><tr><td>普 通 作 業 員</td><td></td><td>〃</td><td>$\frac{1}{N} \times 1$</td><td>表4.1 表5.1～表5.7</td></tr><tr><td>改 良 材</td><td></td><td>t</td><td>V</td><td>式5.1, 表5.8</td></tr><tr><td>深層混合処理機運転</td><td></td><td>日</td><td>$\frac{1}{N}$</td><td>表3.1～表3.3 表5.1～表5.7 機械損料</td></tr><tr><td>スラリプラント運転</td><td></td><td>〃</td><td>$\frac{1}{N}$</td><td>表3.1～表3.3 表5.1～表5.7 機械損料</td></tr><tr><td>諸 雑 費</td><td></td><td>式</td><td>1</td><td>表5.9</td></tr><tr><td>特 許 料 金</td><td></td><td>〃</td><td>1</td><td>必要に応じて計上</td></tr><tr><td>計</td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr></table> (注) N : 1 日当り杭施工本数 (本/日) V : 1 本当り改良材使用量 (t/本) () 書き : 二軸施工 (変位低減型) の場合に適用する。 (2) スラリプラント現場内移送 1 回当り単価表 <table><tr><th colspan="2">施工歩掛コード</th><th colspan="3">WB23230</th></tr><tr><th>名 称</th><th>規 格</th><th>単位</th><th>数量</th><th>摘 要</th></tr><tr><td>土 木 一 般 世 話 役</td><td></td><td>人</td><td></td><td>表5.10</td></tr><tr><td>特 殊 作 業 員</td><td></td><td>〃</td><td></td><td>〃</td></tr><tr><td>普 通 作 業 員</td><td></td><td>〃</td><td></td><td>〃</td></tr><tr><td>ラフテレーンクレーン</td><td>油圧伸縮ジブ型・ 排出ガス対策型 (2014年規制) 25t吊</td><td>日</td><td></td><td>表5.10 機械賃料</td></tr><tr><td>諸 雑 費</td><td></td><td>式</td><td>1</td><td></td></tr><tr><td>計</td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr></table>				施工歩掛コード		WB23210			名 称	規 格	単位	数量	摘 要	土 木 一 般 世 話 役		人	$\frac{1}{N} \times 1$	表4.1 表5.1～表5.7	特 殊 作 業 員		〃	$\frac{1}{N} \times 1 (2)$	表4.1 表5.1～表5.7	普 通 作 業 員		〃	$\frac{1}{N} \times 1$	表4.1 表5.1～表5.7	改 良 材		t	V	式5.1, 表5.8	深層混合処理機運転		日	$\frac{1}{N}$	表3.1～表3.3 表5.1～表5.7 機械損料	スラリプラント運転		〃	$\frac{1}{N}$	表3.1～表3.3 表5.1～表5.7 機械損料	諸 雑 費		式	1	表5.9	特 許 料 金		〃	1	必要に応じて計上	計					施工歩掛コード		WB23230			名 称	規 格	単位	数量	摘 要	土 木 一 般 世 話 役		人		表5.10	特 殊 作 業 員		〃		〃	普 通 作 業 員		〃		〃	ラフテレーンクレーン	油圧伸縮ジブ型・ 排出ガス対策型 (2014年規制) 25t吊	日		表5.10 機械賃料	諸 雑 費		式	1		計					記載の修正
施工歩掛コード		WB23210																																																																																																																																																																																																				
名 称	規 格	単位	数量	摘 要																																																																																																																																																																																																		
土 木 一 般 世 話 役		人	$\frac{1}{N} \times 1$	表4.1 表5.1～表5.7																																																																																																																																																																																																		
特 殊 作 業 員		〃	$\frac{1}{N} \times 2 (3)$	表4.1 表5.1～表5.7																																																																																																																																																																																																		
普 通 作 業 員		〃	$\frac{1}{N} \times 1$	表4.1 表5.1～表5.7																																																																																																																																																																																																		
改 良 材		t	V	式5.1, 表5.8																																																																																																																																																																																																		
深層混合処理機運転		日	$\frac{1}{N}$	表3.1～表3.3 表5.1～表5.7 機械損料																																																																																																																																																																																																		
スラリプラント運転		〃	$\frac{1}{N}$	表3.1～表3.3 表5.1～表5.7 機械損料																																																																																																																																																																																																		
諸 雑 費		式	1	表5.9																																																																																																																																																																																																		
特 許 料 金		〃	1	必要に応じて計上																																																																																																																																																																																																		
計																																																																																																																																																																																																						
施工歩掛コード		WB23230																																																																																																																																																																																																				
名 称	規 格	単位	数量	摘 要																																																																																																																																																																																																		
土 木 一 般 世 話 役		人		表5.10																																																																																																																																																																																																		
特 殊 作 業 員		〃		〃																																																																																																																																																																																																		
普 通 作 業 員		〃		〃																																																																																																																																																																																																		
ラフテレーンクレーン	油圧伸縮ジブ型・ 排出ガス対策型(第2次基準値) 25t吊	日		表5.10 機械賃料																																																																																																																																																																																																		
諸 雑 費		式	1																																																																																																																																																																																																			
計																																																																																																																																																																																																						
施工歩掛コード		WB23210																																																																																																																																																																																																				
名 称	規 格	単位	数量	摘 要																																																																																																																																																																																																		
土 木 一 般 世 話 役		人	$\frac{1}{N} \times 1$	表4.1 表5.1～表5.7																																																																																																																																																																																																		
特 殊 作 業 員		〃	$\frac{1}{N} \times 1 (2)$	表4.1 表5.1～表5.7																																																																																																																																																																																																		
普 通 作 業 員		〃	$\frac{1}{N} \times 1$	表4.1 表5.1～表5.7																																																																																																																																																																																																		
改 良 材		t	V	式5.1, 表5.8																																																																																																																																																																																																		
深層混合処理機運転		日	$\frac{1}{N}$	表3.1～表3.3 表5.1～表5.7 機械損料																																																																																																																																																																																																		
スラリプラント運転		〃	$\frac{1}{N}$	表3.1～表3.3 表5.1～表5.7 機械損料																																																																																																																																																																																																		
諸 雑 費		式	1	表5.9																																																																																																																																																																																																		
特 許 料 金		〃	1	必要に応じて計上																																																																																																																																																																																																		
計																																																																																																																																																																																																						
施工歩掛コード		WB23230																																																																																																																																																																																																				
名 称	規 格	単位	数量	摘 要																																																																																																																																																																																																		
土 木 一 般 世 話 役		人		表5.10																																																																																																																																																																																																		
特 殊 作 業 員		〃		〃																																																																																																																																																																																																		
普 通 作 業 員		〃		〃																																																																																																																																																																																																		
ラフテレーンクレーン	油圧伸縮ジブ型・ 排出ガス対策型 (2014年規制) 25t吊	日		表5.10 機械賃料																																																																																																																																																																																																		
諸 雑 費		式	1																																																																																																																																																																																																			
計																																																																																																																																																																																																						
								記載の修正																																																																																																																																																																																														
積算上の注意事項								(控え頁) 6/7																																																																																																																																																																																														

工 種	スラリー攪拌工
-----	---------

改 正 理 由	一部改正	改 正 現 行																													
現 行		改 正	備 考																												
(3) 機械運転単価表 <table><tr><th>機 械 名</th><th>規 格</th><th>適用単価表</th><th>指 定 事 項</th></tr><tr><td rowspan="3">深層混合処理機 (スラリー式)</td><td rowspan="3">表3.1</td><td rowspan="3">機-18</td><td>単軸 運転労務数量→1.00 燃料消費量→27.4kN・m →35 →90kw×1 20m →52 →90kw×1 30m →52 →90kw×2 →83 機械損料数量→1.61</td></tr><tr><td>二軸 運転労務数量→1.00 燃料消費量→45kw×2 →59 →60kw×2 →48 →90kw×2 →77 機械損料数量→1.61</td></tr><tr><td>三軸 運転労務数量→1.00 燃料消費量→45kw×2 →55 →60kw×2 →45 →75kw×2 →55 →90kw×2 →72 →L≦10m機 →55 →L≦20m機 →55 →L≦26m機 →72 →L≦36m機 →72 機械損料数量→1.61</td></tr><tr><td>スラリプラント</td><td>表3.1～表3.3</td><td>機-25</td><td>機械損料数量→1.61</td></tr></table> II-2-①-20		機 械 名	規 格	適用単価表	指 定 事 項	深層混合処理機 (スラリー式)	表3.1	機-18	単軸 運転労務数量→1.00 燃料消費量→27.4kN・m →35 →90kw×1 20m →52 →90kw×1 30m →52 →90kw×2 →83 機械損料数量→1.61	二軸 運転労務数量→1.00 燃料消費量→45kw×2 →59 →60kw×2 →48 →90kw×2 →77 機械損料数量→1.61	三軸 運転労務数量→1.00 燃料消費量→45kw×2 →55 →60kw×2 →45 →75kw×2 →55 →90kw×2 →72 →L≦10m機 →55 →L≦20m機 →55 →L≦26m機 →72 →L≦36m機 →72 機械損料数量→1.61	スラリプラント	表3.1～表3.3	機-25	機械損料数量→1.61	(3) 機械運転単価表 <table><tr><th>機 械 名</th><th>規 格</th><th>適用単価表</th><th>指 定 事 項</th></tr><tr><td rowspan="3">深層混合処理機 (スラリー式)</td><td rowspan="3">表3.1</td><td rowspan="3">機-18</td><td>単軸 運転労務数量→1.00 燃料消費量→27.4kN・m →35 →90kw×1 20m →52 →90kw×1 30m →52 →90kw×2 →83 機械損料数量→1.61</td></tr><tr><td>二軸 運転労務数量→1.00 燃料消費量→45kw×2 →59 →60kw×2 →48 →90kw×2 →77 機械損料数量→1.61</td></tr><tr><td>三軸 運転労務数量→1.00 燃料消費量→45kw×2 →55 →60kw×2 →45 →75kw×2 →55 →90kw×2 →72 →L≦10m機 →55 →L≦20m機 →55 →L≦26m機 →72 →L≦36m機 →72 機械損料数量→1.61</td></tr><tr><td>スラリプラント</td><td>表3.1～表3.3</td><td>機-25</td><td>機械損料数量→1.61</td></tr></table>	機 械 名	規 格	適用単価表	指 定 事 項	深層混合処理機 (スラリー式)	表3.1	機-18	単軸 運転労務数量→1.00 燃料消費量→27.4kN・m →35 →90kw×1 20m →52 →90kw×1 30m →52 →90kw×2 →83 機械損料数量→1.61	二軸 運転労務数量→1.00 燃料消費量→45kw×2 →59 →60kw×2 →48 →90kw×2 →77 機械損料数量→1.61	三軸 運転労務数量→1.00 燃料消費量→45kw×2 →55 →60kw×2 →45 →75kw×2 →55 →90kw×2 →72 →L≦10m機 →55 →L≦20m機 →55 →L≦26m機 →72 →L≦36m機 →72 機械損料数量→1.61	スラリプラント	表3.1～表3.3	機-25	機械損料数量→1.61	記載の修正
機 械 名	規 格	適用単価表	指 定 事 項																												
深層混合処理機 (スラリー式)	表3.1	機-18	単軸 運転労務数量→1.00 燃料消費量→27.4kN・m →35 →90kw×1 20m →52 →90kw×1 30m →52 →90kw×2 →83 機械損料数量→1.61																												
			二軸 運転労務数量→1.00 燃料消費量→45kw×2 →59 →60kw×2 →48 →90kw×2 →77 機械損料数量→1.61																												
			三軸 運転労務数量→1.00 燃料消費量→45kw×2 →55 →60kw×2 →45 →75kw×2 →55 →90kw×2 →72 →L≦10m機 →55 →L≦20m機 →55 →L≦26m機 →72 →L≦36m機 →72 機械損料数量→1.61																												
スラリプラント	表3.1～表3.3	機-25	機械損料数量→1.61																												
機 械 名	規 格	適用単価表	指 定 事 項																												
深層混合処理機 (スラリー式)	表3.1	機-18	単軸 運転労務数量→1.00 燃料消費量→27.4kN・m →35 →90kw×1 20m →52 →90kw×1 30m →52 →90kw×2 →83 機械損料数量→1.61																												
			二軸 運転労務数量→1.00 燃料消費量→45kw×2 →59 →60kw×2 →48 →90kw×2 →77 機械損料数量→1.61																												
			三軸 運転労務数量→1.00 燃料消費量→45kw×2 →55 →60kw×2 →45 →75kw×2 →55 →90kw×2 →72 →L≦10m機 →55 →L≦20m機 →55 →L≦26m機 →72 →L≦36m機 →72 機械損料数量→1.61																												
スラリプラント	表3.1～表3.3	機-25	機械損料数量→1.61																												
積算上の注意事項			(控え頁) 7/7																												

工 種	中層混合処理工
-----	---------

改 正 理 由	一部改正		改 正 現 行	
現 行		改 正		備 考
⑪-6 中層混合処理工 1. 適用範囲 本資料は、粘性土、砂質土、シルト及び有機質土等の軟弱地盤を対象として行う中層混合処理工に適用する。 施工方式はスラリー噴射方式の機械攪拌混合とする。 改良形式は全面改良とし、改良深度2mを超え1.3m以下の陸上施工に適用する。 2. 施工概要 施工フローは、下記を標準とする。 (注) 本歩掛で対応しているのは、実線部分である。 図2-1 施工フロー II-2-⑪-45		⑪-5 中層混合処理工 1. 適用範囲 本資料は、粘性土、砂質土、シルト及び有機質土等の軟弱地盤を対象として行う中層混合処理工に適用する。 施工方式はスラリー噴射方式の機械攪拌混合とする。 改良形式は全面改良とし、改良深度2mを超え1.3m以下の陸上施工に適用する。 2. 施工概要 施工フローは、下記を標準とする。 (注) 本歩掛で対応しているのは、実線部分である。 図2-1 施工フロー		記載の修正
積算上の注意事項				(控え頁) 1/4

工 種	中層混合処理工
-----	---------

改 正 理 由		一部改正				改 正 現 行																																																																																									
現 行						改 正			備 考																																																																																						
3. 機 種 の 選 定 機械・規格は、次表を標準とする。						3. 機 種 の 選 定 機械・規格は、次表を標準とする。			記載の修正																																																																																						
表3. 1 機種の選定						表3. 1 機種の選定																																																																																									
<table><tr><th rowspan="2">機 械 名</th><th rowspan="2">規 格</th><th rowspan="2">単 位</th><th colspan="4">数 量</th></tr><tr><th>改良深(L) 2m<L≦5m</th><th>改良深(L) 5m<L≦8m</th><th>改良深(L) 8m<L≦10m</th><th>改良深(L) 10m<L≦13m</th></tr><tr><td rowspan="4">中層混合処理機 (トレンチャ式)</td><td>[ベースマン]20t(山積0.8m3)級ベックお [攪拌混合装置]改良深度(標準)5m [施工管理装置]1ベースマン用</td><td>台</td><td>1</td><td>—</td><td>—</td><td>—</td></tr><tr><td>[ベースマン]30t(山積1.4m3)級ベックお [攪拌混合装置]改良深度(標準)8m [施工管理装置]1ベースマン用</td><td>〃</td><td>—</td><td>1</td><td>—</td><td>—</td></tr><tr><td>[ベースマン]40t(山積1.9m3)級ベックお [攪拌混合装置]改良深度(標準)10m [施工管理装置]1ベースマン用</td><td>〃</td><td>—</td><td>—</td><td>1</td><td>—</td></tr><tr><td>[ベースマン]40t(山積1.9m3)級ベックお (2ベースマン) [攪拌混合装置]改良深度(標準)13m [施工管理装置]2ベースマン用</td><td>〃</td><td>—</td><td>—</td><td>—</td><td>1</td></tr><tr><td>深層混合処理機 (スラリー式)</td><td>スラリープラント (全自動) 能力20m³/h</td><td>〃</td><td colspan="4">1</td></tr></table>						機 械 名	規 格	単 位		数 量				改良深(L) 2m<L≦5m	改良深(L) 5m<L≦8m	改良深(L) 8m<L≦10m	改良深(L) 10m<L≦13m	中層混合処理機 (トレンチャ式)	[ベースマン]20t(山積0.8m3)級ベックお [攪拌混合装置]改良深度(標準)5m [施工管理装置]1ベースマン用	台	1	—	—	—	[ベースマン]30t(山積1.4m3)級ベックお [攪拌混合装置]改良深度(標準)8m [施工管理装置]1ベースマン用	〃	—	1	—	—	[ベースマン]40t(山積1.9m3)級ベックお [攪拌混合装置]改良深度(標準)10m [施工管理装置]1ベースマン用	〃	—	—	1	—	[ベースマン]40t(山積1.9m3)級ベックお (2ベースマン) [攪拌混合装置]改良深度(標準)13m [施工管理装置]2ベースマン用	〃	—	—	—	1	深層混合処理機 (スラリー式)	スラリープラント (全自動) 能力20m³/h	〃	1				<table><tr><th rowspan="2">機 械 名</th><th rowspan="2">規 格</th><th rowspan="2">単 位</th><th colspan="4">数 量</th></tr><tr><th>改良深(L) 2m<L≦5m</th><th>改良深(L) 5m<L≦8m</th><th>改良深(L) 8m<L≦10m</th><th>改良深(L) 10m<L≦13m</th></tr><tr><td rowspan="4">中層混合処理機 (トレンチャ式)</td><td>[ベースマン]20t(山積0.8m3)級ベックお [攪拌混合装置]改良深度(標準)5m [施工管理装置]1ベースマン用</td><td>台</td><td>1</td><td>—</td><td>—</td><td>—</td></tr><tr><td>[ベースマン]30t(山積1.4m3)級ベックお [攪拌混合装置]改良深度(標準)8m [施工管理装置]1ベースマン用</td><td>〃</td><td>—</td><td>1</td><td>—</td><td>—</td></tr><tr><td>[ベースマン]40t(山積1.9m3)級ベックお [攪拌混合装置]改良深度(標準)10m [施工管理装置]1ベースマン用</td><td>〃</td><td>—</td><td>—</td><td>1</td><td>—</td></tr><tr><td>[ベースマン]40t(山積1.9m3)級ベックお (2ベースマン) [攪拌混合装置]改良深度(標準)13m [施工管理装置]2ベースマン用</td><td>〃</td><td>—</td><td>—</td><td>—</td><td>1</td></tr><tr><td>深層混合処理機 (スラリー式)</td><td>スラリープラント (全自動) 能力20m³/h</td><td>〃</td><td colspan="4">1</td></tr></table>			機 械 名	規 格	単 位	数 量				改良深(L) 2m<L≦5m	改良深(L) 5m<L≦8m	改良深(L) 8m<L≦10m	改良深(L) 10m<L≦13m	中層混合処理機 (トレンチャ式)	[ベースマン]20t(山積0.8m3)級ベックお [攪拌混合装置]改良深度(標準)5m [施工管理装置]1ベースマン用	台	1	—	—	—	[ベースマン]30t(山積1.4m3)級ベックお [攪拌混合装置]改良深度(標準)8m [施工管理装置]1ベースマン用	〃	—	1	—	—	[ベースマン]40t(山積1.9m3)級ベックお [攪拌混合装置]改良深度(標準)10m [施工管理装置]1ベースマン用	〃	—	—	1	—	[ベースマン]40t(山積1.9m3)級ベックお (2ベースマン) [攪拌混合装置]改良深度(標準)13m [施工管理装置]2ベースマン用	〃	—	—	—	1	深層混合処理機 (スラリー式)	スラリープラント (全自動) 能力20m³/h	〃	1			
機 械 名	規 格	単 位	数 量																																																																																												
			改良深(L) 2m<L≦5m	改良深(L) 5m<L≦8m	改良深(L) 8m<L≦10m	改良深(L) 10m<L≦13m																																																																																									
中層混合処理機 (トレンチャ式)	[ベースマン]20t(山積0.8m3)級ベックお [攪拌混合装置]改良深度(標準)5m [施工管理装置]1ベースマン用	台	1	—	—	—																																																																																									
	[ベースマン]30t(山積1.4m3)級ベックお [攪拌混合装置]改良深度(標準)8m [施工管理装置]1ベースマン用	〃	—	1	—	—																																																																																									
	[ベースマン]40t(山積1.9m3)級ベックお [攪拌混合装置]改良深度(標準)10m [施工管理装置]1ベースマン用	〃	—	—	1	—																																																																																									
	[ベースマン]40t(山積1.9m3)級ベックお (2ベースマン) [攪拌混合装置]改良深度(標準)13m [施工管理装置]2ベースマン用	〃	—	—	—	1																																																																																									
深層混合処理機 (スラリー式)	スラリープラント (全自動) 能力20m³/h	〃	1																																																																																												
機 械 名	規 格	単 位	数 量																																																																																												
			改良深(L) 2m<L≦5m	改良深(L) 5m<L≦8m	改良深(L) 8m<L≦10m	改良深(L) 10m<L≦13m																																																																																									
中層混合処理機 (トレンチャ式)	[ベースマン]20t(山積0.8m3)級ベックお [攪拌混合装置]改良深度(標準)5m [施工管理装置]1ベースマン用	台	1	—	—	—																																																																																									
	[ベースマン]30t(山積1.4m3)級ベックお [攪拌混合装置]改良深度(標準)8m [施工管理装置]1ベースマン用	〃	—	1	—	—																																																																																									
	[ベースマン]40t(山積1.9m3)級ベックお [攪拌混合装置]改良深度(標準)10m [施工管理装置]1ベースマン用	〃	—	—	1	—																																																																																									
	[ベースマン]40t(山積1.9m3)級ベックお (2ベースマン) [攪拌混合装置]改良深度(標準)13m [施工管理装置]2ベースマン用	〃	—	—	—	1																																																																																									
深層混合処理機 (スラリー式)	スラリープラント (全自動) 能力20m³/h	〃	1																																																																																												
4. 編 成 人 員 中層混合処理工の日当り編成人員は、次表を標準とする。						4. 編 成 人 員 中層混合処理工の日当り編成人員は、次表を標準とする。			記載の修正																																																																																						
表4. 1 編成人員 (人／日)						表4. 1 編成人員 (人／日)																																																																																									
<table><tr><th>工 法</th><th>土木一般世話役</th><th>特殊作業員</th><th>普通作業員</th></tr><tr><td>中層混合処理工</td><td>1</td><td>1</td><td>2</td></tr></table>						工 法	土木一般世話役	特殊作業員		普通作業員	中層混合処理工	1	1	2	<table><tr><th>工 法</th><th>土木一般世話役</th><th>特殊作業員</th><th>普通作業員</th></tr><tr><td>中層混合処理工</td><td>1</td><td>1</td><td>2</td></tr></table>			工 法	土木一般世話役	特殊作業員	普通作業員	中層混合処理工	1	1	2																																																																						
工 法	土木一般世話役	特殊作業員	普通作業員																																																																																												
中層混合処理工	1	1	2																																																																																												
工 法	土木一般世話役	特殊作業員	普通作業員																																																																																												
中層混合処理工	1	1	2																																																																																												
(注) 編成人員には、スラリープラントの管理運転労務を含む。						(注) 編成人員には、スラリープラントの管理運転労務を含む。																																																																																									
積算上の注意事項		II-2-⑪-46							(控え頁) 2／4																																																																																						

工 種	中層混合処理工
-----	---------

改 正 理 由	一部改正	改 正 現 行																							
現 行		改 正	備 考																						
5-3 諸雑費 諸雑費は、足場材（敷鉄板（中層混合処理機用・スラリープラント用））の賃料及び設置・撤去・移設に要する費用（バックホウ運転費用）、攪拌混合装置の損耗材料費（チェーン、攪拌翼、切削刃、ガイドローラ、スプロケット、アイドラーの各部品費）、空気圧縮機の賃料及び運転経費、電力に関する経費等の費用及び改良後の整地に要する費用であり、労務費、機械損料及び運転経費の合計額に次表の率を乗じた金額を上限として計上する。 表5. 4 諸雑費率(%) <table><tr><td rowspan="5">諸 雑 費 率 (%)</td><td>改良深度 L (m)</td><td>諸雑費率</td></tr><tr><td>2 m < L ≦ 5 m</td><td>3 2</td></tr><tr><td>5 m < L ≦ 8 m</td><td>2 3</td></tr><tr><td>8 m < L ≦ 1 0 m</td><td>2 4</td></tr><tr><td>1 0 m < L ≦ 1 3 m</td><td>2 4</td></tr></table> 5-4 そ の 他 (1) 次の条件等により攪拌翼が貫入出来ない場合は、バックホウによる先掘りを行うものとし、「第Ⅱ編第1章②土工」による。 1) 表層に転石等が多い地盤 2) 表層に障害物等のある地盤 (2) 中層混合処理工は、特許を有する工法の場合もあるので、特許料が必要な場合は別途計上する。 (3) 中層混合処理機の分解・組立及び輸送については、「第1編第2章②間接工事費 2-2 運搬費(5) 重建設機械分解・組立」を適用する。 (4) スラリープラントを中心に半径約2 0 0 mを超える場合、揚程が5 mを超える場合、又は同一現場内に施工箇所が2箇所以上あり、スラリープラントを移設しなければならない場合は、「第Ⅱ編第2章⑩ 軟弱地盤処理工 ⑩-3 スラリー攪拌工」の「5-4 スラリープラント現場内移設歩掛」を適用する。 (5) 汚泥土の処分が必要な場合は、別途計上する。 (6) 注入材配合用水、機器洗浄等に用いる上水道等必要な場合は、別途計上する。 Ⅱ-2-⑩-48		諸 雑 費 率 (%)	改良深度 L (m)	諸雑費率	2 m < L ≦ 5 m	3 2	5 m < L ≦ 8 m	2 3	8 m < L ≦ 1 0 m	2 4	1 0 m < L ≦ 1 3 m	2 4	5-3 諸雑費 諸雑費は、足場材（敷鉄板（中層混合処理機用・スラリープラント用））の賃料及び設置・撤去・移設に要する費用（バックホウ運転費用）、攪拌混合装置の損耗材料費（チェーン、攪拌翼、切削刃、ガイドローラ、スプロケット、アイドラーの各部品費）、空気圧縮機の賃料及び運転経費、電力に関する経費等の費用及び改良後の整地に要する費用であり、労務費、機械損料及び運転経費の合計額に次表の率を乗じた金額を上限として計上する。 表5. 4 諸雑費率(%) <table><tr><td rowspan="5">諸 雑 費 率 (%)</td><td>改良深度 L (m)</td><td>諸雑費率</td></tr><tr><td>2 m < L ≦ 5 m</td><td>2 9</td></tr><tr><td>5 m < L ≦ 8 m</td><td>2 6</td></tr><tr><td>8 m < L ≦ 1 0 m</td><td>2 7</td></tr><tr><td>1 0 m < L ≦ 1 3 m</td><td>2 6</td></tr></table> 5-4 そ の 他 (1) 次の条件等により攪拌翼が貫入出来ない場合は、バックホウによる先掘りを行うものとし、「第Ⅱ編第1章②土工」による。 1) 表層に転石等が多い地盤 2) 表層に障害物等のある地盤 (2) 中層混合処理工は、特許を有する工法の場合もあるので、特許料が必要な場合は別途計上する。 (3) 中層混合処理機の分解・組立及び輸送については、「第1編第2章②間接工事費 2-2 運搬費(5) 重建設機械分解・組立」を適用する。 (4) スラリープラントを中心に半径約2 0 0 mを超える場合、揚程が5 mを超える場合、又は同一現場内に施工箇所が2箇所以上あり、スラリープラントを移設しなければならない場合は、「第Ⅱ編第2章⑩ 軟弱地盤処理工 ⑩-2 スラリー攪拌工の」5-4 スラリープラント現場内移設歩掛」を適用する。 (5) 汚泥土の処分が必要な場合は、別途計上する。 (6) 注入材配合用水、機器洗浄等に用いる上水道等必要な場合は、別途計上する。 (7) プラント設備の防寒設備が必要な場合は、別途計上する。	諸 雑 費 率 (%)	改良深度 L (m)	諸雑費率	2 m < L ≦ 5 m	2 9	5 m < L ≦ 8 m	2 6	8 m < L ≦ 1 0 m	2 7	1 0 m < L ≦ 1 3 m	2 6	記載の修正
諸 雑 費 率 (%)	改良深度 L (m)		諸雑費率																						
	2 m < L ≦ 5 m		3 2																						
	5 m < L ≦ 8 m		2 3																						
	8 m < L ≦ 1 0 m		2 4																						
	1 0 m < L ≦ 1 3 m	2 4																							
諸 雑 費 率 (%)	改良深度 L (m)	諸雑費率																							
	2 m < L ≦ 5 m	2 9																							
	5 m < L ≦ 8 m	2 6																							
	8 m < L ≦ 1 0 m	2 7																							
	1 0 m < L ≦ 1 3 m	2 6																							
積算上の注意事項			(控え頁) 3 / 4																						

工 種	中層混合処理工(ICT)
-----	--------------

改 正 理 由	新規	改 正 現 行	
現 行	改 正	備 考	
現行なし	⑪-6 中層混合処理工 (ICT) 1. 適 用 範 囲 本資料は、I C Tによる地盤改良工のうち、粘性土、砂質土、シルト及び有機質土等の軟弱地盤を対象として行う中層混合処理工 (I C T)に適用する。 施工方式は、スラリー噴射方式の機械攪拌混合とする。 改良形式は全面改良とし、改良深度 2 mを概 1.3 m以下の陸上施工に適用する。 2. 施 工 概 要 中層混合処理工 (I C T)は、中層混合処理機 (I C T)にて、軟弱地盤をスラリー噴射式の機械攪拌混合とする工法である。 施工フローは、下記を標準とする。 運搬 敷鉄板設置 組立 位置決め スラリー噴射攪拌 仮転圧・整正 移動 分解 敷鉄板撤去 運搬 次の区画へ スラリプラント現場内移設 (注) 本歩掛で対応しているのは、実線部分のみである。 図2-1 施工フロー		
積算上の注意事項			(控え頁) 1／7